

平成 30 年度の就学前教育・保育施設の整備と定員について

1. 特定教育・保育施設、地域型保育事業

区域	施設類型	施設名	設置主体	内容	認定区分別定員数（人）			開設・増員日程
					1号	2号	3号	
川西南 中学校区	幼保連携型 認定こども園	加茂こども園	川西市	創設（一体化）	170 (170)	33 (45)	27 (15)	平成 31 年 4 月 1 日
川西南 中学校区	小規模保育事業 A 型	(仮称)アップル保育園久代	株式会社 KEG キャリア・アカデミー	創設	-	-	19	平成 31 年 4 月 1 日
川西南 中学校区	幼保連携型 認定こども園	あおい宙川西	社会福祉法人友朋会	増改築による 定員増	15 (3)	75 (53)	43 (42)	平成 31 年 4 月 1 日
川西 中学校区	幼保連携型 認定こども園	(仮称)幼保連携型認定こども園 かわにしひよし	学校法人成城学園	増改築による 定員増	10 (0)	80 (60)	60 (60)	平成 31 年 4 月 1 日

括弧内は整備前定員。なお、加茂こども園については一体化前の施設である加茂幼稚園と加茂保育所の定員を記載

2. 企業主導型保育事業

区域	施設名	設置主体	定員数（人）	開設日程
川西中学校区	ちびっこ保育園キセラ	社会福祉法人寿楽福祉会	145 (地域枠 72)	平成 31 年 4 月 1 日

地域枠の児童の受け入れは、企業枠の入園児童数と同数が上限であり、上記の地域枠の人数は定員の 50% 以下である最大数を記載。なお、初年度の定員は 50 人としており、当該年度の地域枠は 25 人

市立認定こども園の整備にかかる進捗状況について

1、施設整備

牧の台みどりこども園（東谷中学校区） 開園：平成 30 年 4 月 1 日

加茂こども園（川西南中学校区） 開園：平成 31 年 4 月 1 日予定

経過：平成 29 年 7 月～ 駐車場・加茂ふれあい会館等事前工事着手（10 月竣工）

10 月 加茂こども園説明会（加茂幼稚園・加茂保育所）
認定こども園工事説明会

11 月～ 周辺工事・旧加茂小学校校舎解体工事着手

平成 30 年 1 月～ 加茂こども園整備工事着手

平成 30 年 10 月～ 入園児童の募集開始

平成 31 年 3 月竣工

（仮称）川西こども園（川西中学校区） 開園：平成 32 年 4 月 1 日予定

経過：平成 29 年 7 月～ 設計業者の選定に係るプロポーザル開始

9 月～ 川西保育所仮設園舎、認定こども園の設計着手

平成 30 年 6 月 （仮称）川西こども園の基本設計及び川西保育所仮設園舎についての説明会（川西幼稚園・川西保育所）

平成 30 年 9 月 川西小学校区地域説明会（幼稚園、保育所の説明会の内容と同じ）

平成 30 年 9 月 川西保育所仮設園舎工事着手

平成 30 年 12 月 川西保育所仮設園舎竣工、12 月末に引越

平成 31 年 1 月 認定こども園工事説明会

平成 31 年 3 月～ 川西保育所解体工事、認定こども園整備工事着手
（平成 32 年 1 月竣工予定）

（仮称）川西北こども園（川西中学校区） 開園：平成 34 年 4 月 1 日予定

経過：平成 31 年 7 月 （仮称）川西北こども園説明会（川西北幼稚園・川西北保育所）

平成 31 年度から設計業者の選定等の事務を開始予定

2、教育・保育

市立幼稚園及び保育所の一体化に関する検討会議 幹事会（月 1,2 回）

平成 30 年 4 月に牧の台みどりこども園を開設し、幼保の一体化に一定の目途が立ったことから施設整備検討部会、教育・保育検討部会、幼保一体化調整部会を廃止し、検討組織は幹事会と全体会議に集約を図りました。

幹事会構成員：こども未来部副部長、幼児教育保育課・牧の台みどりこども園・加茂幼稚園・加茂保育所・こども支援課職員

検討内容：平成 31 年度こども園の受け入れ児童人数、園児以外の一時預かり事業、幼保一体化に係る行事实施について、開園に向けたスケジュールなど

平成30年8月29日	加茂幼稚園	保護者・地域説明会	資料
平成30年8月30日	加茂保育所	保護者・地域説明会	資料

川西市教育委員会こども未来部

加茂こども園の概要について

1. 名称

川西市立加茂こども園

2. 開設予定日

平成31年4月1日

3. 所在地

川西市加茂3丁目13番22号

4. 定員

230人〔1号認定園児170人、2号・3号認定園児60人〕

*内訳

【参考】H30.8.1時点入園・入所人数

クラス年齢	1号	2号・3号	合計
0歳	-	6	6
1歳	-	10	10
2歳	-	11	11
3歳	50	11	61
4歳	60	11	71
5歳	60	11	71
合計	170	60	230

年齢	加茂幼稚園 (1号)	加茂保育所 (2号・3号)
0歳	-	-
1歳	-	7
2歳	-	5
3歳	49	15
4歳	45	17

*開園当初の入園は、加茂幼稚園、加茂保育所からの入園希望園児・児童を、原則としてすべて受け入れますので、このモデル定員どおりにならない見込みです。

0歳児は生後57日目から受け入れます。

教育委員会が必要と認めたときは、施設の設備及び人員等の最低基準の範囲内で、定員を超えて受け入れることがあり、また、応募の状況によっては、1号認定園児は抽選、2号・3号園児は選考により入園児を決定する場合があります。

5. 開設時間、保育時間

(1) 開設時間

7時～20時(18時～20時は延長保育)

(2) 保育時間

1号認定園児 教育標準時間認定 8時45分～13時30分

2号・3号認定園児 保育標準時間認定 7時～18時

保育短時間認定 8時30分～16時30分

(3) 休業日(変更の場合あり)

- 1号認定園児 土曜日、日曜日、祝休日、夏季・冬季・春季休業日
 2号・3号認定園児 日曜日、祝休日、年末年始(12月29日~1月3日)

(4) 一時預かり保育(1号認定園児を対象)

通常期間

- <早朝> 7時~8時45分 1回あたり 200円
 <午後> 13時30分~16時 1回あたり 300円

長期休業期間(土曜日の預かり保育は実施しません)

- <早朝> 7時~8時45分 1回あたり 200円
 <日中> 8時45分~13時30分 1回あたり 500円
 <午後> 13時30分~16時 1回あたり 300円

- *原則として、8時45分から13時30分の保育を利用することを条件とします。
 *給食代(220円)、おやつ代(70円)を別途徴収します。
 *保護者の就労形態等の変更を伴わない認定の変更(1号 2号への変更など)は、原則として認められません。
 *16時以降の利用はできません。

(5) 延長保育(2号・3号認定園児を対象)

	利用時間	延長保育料(月額)	延長保育料(日額)
1	19時まで	3,800円	500円
2	19時30分まで	5,800円	750円
3	20時まで	8,100円	1,000円
4	7時~8時30分まで(保育短時間認定児童)		200円

4を利用する同日に1~3の時間帯のいずれかを利用する場合は、4の「200円」は不要です。
 保育短時間認定園児については、月額設定はありません。

6. 保育料

(1) 保育料

- 1号認定園児 公立幼稚園保育料表を適用
 2号・3号認定園児 保育所の保育料表(公立・私立共通)を適用

(2) 実費徴収

- ・保護者に購入をお願いする物品(例)
 カラー帽子、名札、紺ズボン、ハサミ、上靴、出席ノートなど
- ・その他
 遠足の際の交通費
 卒業アルバム作成関係費
 保護者会費(保護者会が徴収)
 日本スポーツ振興センター保護者負担金(200円/年) など

7. 給食

(1) 1号認定園児

- ・月曜日から金曜日まで給食を提供します。(原則として弁当の持参はできません)
- ・給食代は1食あたり220円(平成30年度)
この費用を、各月の保育予定日数に応じて徴収します。

例： 4月 保育日数10日×@220円=2,200円

5月 保育日数20日×@220円=4,400円

- * 当該月の保育料と合わせて徴収します。8月の給食費の徴収はありません。
 - * 遠足等園の行事などにより給食を提供しない場合は給食費を徴収しません。
- ただし、病気等により個人の都合で喫食しなかった場合の返金はありません。

(2) 2号・3号認定園児

- ・月曜日から土曜日まで給食を提供します。(ただし、保育を必要とする場合)
- ・2号認定園児からは主食代実費として月額1,000円を徴収します。
- ・3号認定園児については徴収しません。(毎月の保育料に含まれています)

8. 一日の流れ(モデル例)

* 網掛け部分が1号認定園児・2号認定園児共通時間

3・4・5歳児		概ねの時間	1・2歳児	0歳児
1号認定園児	2号認定園児		3号認定園児	
登園・健康観察	登園・健康観察 (随時)	7:00	登園・健康観察 (随時)	登園・健康観察 (随時)
好きな遊び・クラス活動・ 学年活動など 【保育室、園庭等】		8:45	おやつ 好きな遊び・ クラス活動など 【保育室、園庭等】	午前食
給食		11:30 12:00	給食	一人一人の 生活リズムに あわせた保育 【保育室、園庭等】
降園	お昼寝	13:30	お昼寝	午後食
(16:00まで 一時預かり保育)	おやつ	15:00	おやつ	
	異年齢をベースに した保育など 【保育室、園庭等】			
	延長保育	18:00	延長保育	延長保育
	おやつ		おやつ	ミルクまたはおやつ
		20:00		

9. その他

(1) 行事について

- ・入園式、運動会、生活発表会、卒園式、参観日
健康診断（内科健診・歯科検診・耳鼻科検診・眼科検診）
その他の行事については、保育計画に基づき年度初めに職員で調整します。

(2) 制服について

- ・制服は設けていません。
- ・紺ズボン・白ポロシャツを基準服とします。

(3) 保護者会について

- ・1号～3号認定園児の保護者による単一の保護者会を設ける予定です。

(4) 園区について

- ・1号認定園児については、加茂幼稚園の園区を引き継ぎます。園区外の方でも入園申込みは可能ですが、定員を超える申込みとなった場合の抽選においては、園区内のお住まいの方が優先されることとなります。園区は下記のとおりです。

南花屋敷1～4丁目、加茂1～6丁目、下加茂1丁目(1、2番除く)、2丁目

- ・2号・3号認定園児については、園区は定めません。

(5) 車での送迎について

- ・駐車場は、こども園とふれあい会館、グランド使用者共用で使します。
園区内の方については、原則徒歩・自転車での送迎をお願いします。

(6) 入園申込み等について

- ・1号認定で入園希望の方は、加茂幼稚園に願書提出をお願いします。
募集説明会 平成30年10月3日(水) 15時～
願書配布 平成30年10月3日(水)・4日(木) 15時～16時30分
願書受付 平成30年10月10日(水)・11日(木) ～16時30分まで
- ・2号認定、3号認定での入園希望の方は、市役所での保育認定申請手続きが必要となりますので、市役所幼児教育保育課での手続きをお願いします。
書類配布開始 平成30年9月3日(月)～
申込み受付期間 平成30年10月1日(月)～11月15日(木)
- ・入園内定後の説明会・面談の日程について
新入園1号・2号園児説明会 平成31年1月29日(火)午後...加茂幼稚園にて
2号園児面談 同日 午後...加茂幼稚園にて
新入園3号園児説明会・面談 平成31年3月1日(金)午後...加茂保育所にて
全(在園・新入園)園児説明会 平成31年3月下旬予定...加茂こども園にて
- ・現在保育を受けておられる1号・2号・3号園児の継続手続き、説明会については、園所を通して、別途案内をします。

川西市子ども・子育て計画策定に係る ニーズ調査（案）

【結果報告書】

平成31年2月

川 西 市

目 次

・ 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査概要	1
3 報告書の見方	1
・ 調査結果（就学前児童調査・小学生児童調査）	2
1 お子さんご家族の状況について	2
2 子どもの育ちをめぐる環境について	7
3 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について（就学前児童）	22
4 地域の子育て支援サービスの利用状況について	31
5 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について（就学前児童）	39
6 病気の際の対応について（平日の教育・保育サービスを利用する方のみ）	41
7 不定期の教育・保育サービスや宿泊を伴う一時預かり等の利用について	43
8 小学校就学後の放課後の過ごし方について	48
9 保護者の就労状況について	56
10 仕事と子育ての両立支援について（就学前児童）	59
11 地域における子育て支援について	65
・ 追加分析	71
就学前児童調査	71
小学生児童調査	78

調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「川西市子ども・子育て計画」の策定にあたり、保育ニーズや川西市の子育て支援サービスの利用状況や利用意向、また、子育て世帯の生活実態、要望・意見などを把握することを目的に、市民意向調査（アンケート調査）として実施しました。

2 調査概要

調査地域：川西市全域

調査対象者：川西市内在住の「就学前児童」のいる世帯・保護者（就学前児童調査）

川西市内在住の「小学生」のいる世帯・保護者（小学生児童調査）

調査期間：平成30年10月24日（水）～平成30年11月14日（水）

調査方法：郵送配付・回収

調査票	調査対象者数 (配布数)	有効回収数	有効回収率
就学前児童	1,500	1,059	70.6%
小学生児童	1,500	951	63.4%
合計	3,000	2,010	67.0%

3 報告書の見方

回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。

複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は設問ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

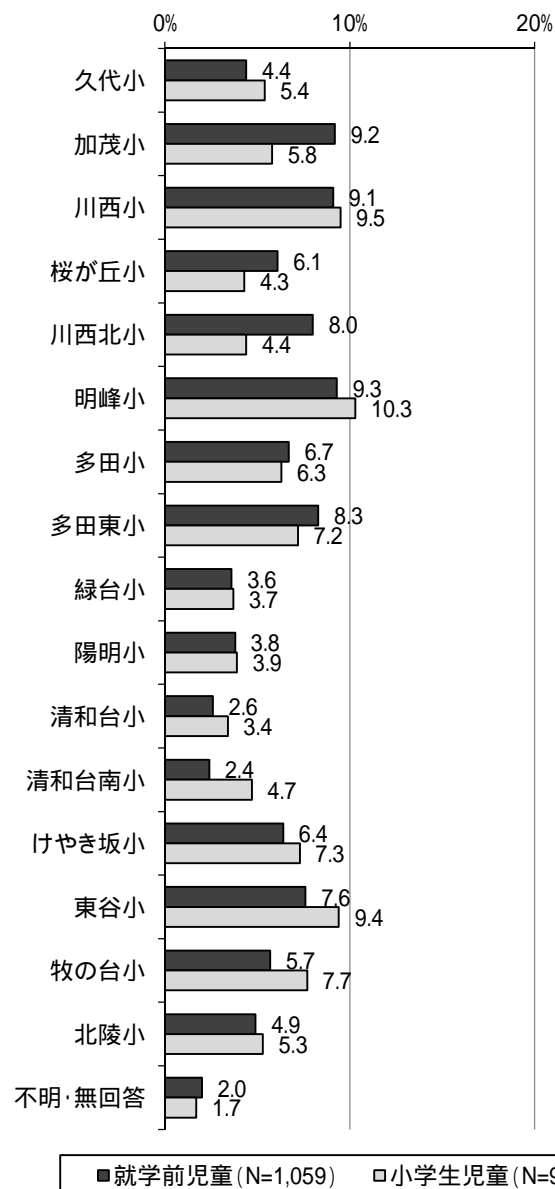
本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

調査結果（就学前児童調査・小学生児童調査）

1 お子さんのご家族の状況について

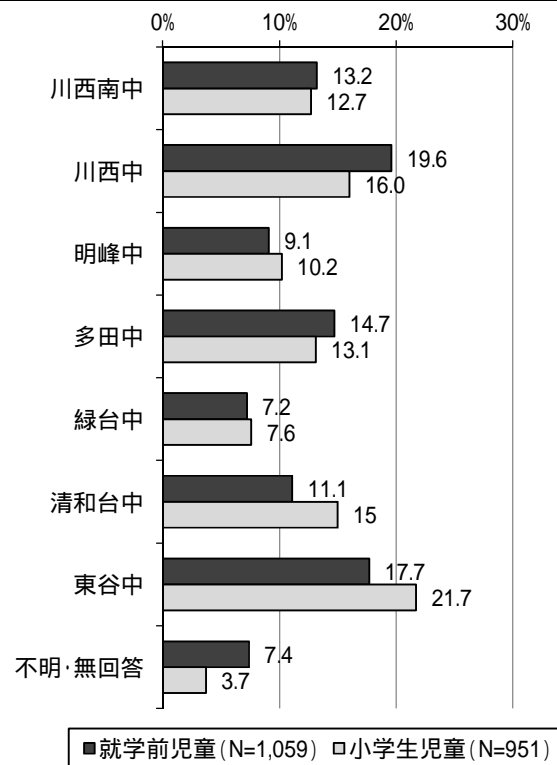
(1) 小学校区 単数回答（就学前児童調査...問1-1、小学生児童調査...問1-1）

小学校区についてみると、「明峰小学校区」が就学前児童で9.3%、小学生児童で10.3%と最も高くなっています。



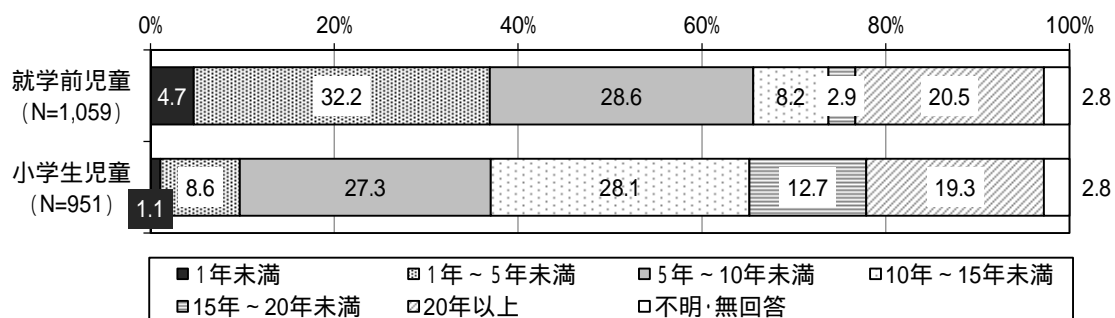
(2) 中学校区 単数回答 (就学前児童調査...問1 - 2、小学生児童調査...問1 - 2)

中学校区についてみると、就学前児童では「川西中学校区」が 19.6%、小学生児童では「東谷中学校区」が 21.7%と最も高くなっています。



(3) 居住年数 単数回答 (就学前児童調査...問1-3、小学生児童調査...問1-3)

川西市の居住年数についてみると、就学前児童は「1～5年未満」が 32.2%で最も高く、次いで「5～10年未満」が 28.6%となっています。小学生児童は「10～15年」が 28.1%で最も高く、次いで「5～10年未満」が 27.3%となっています。

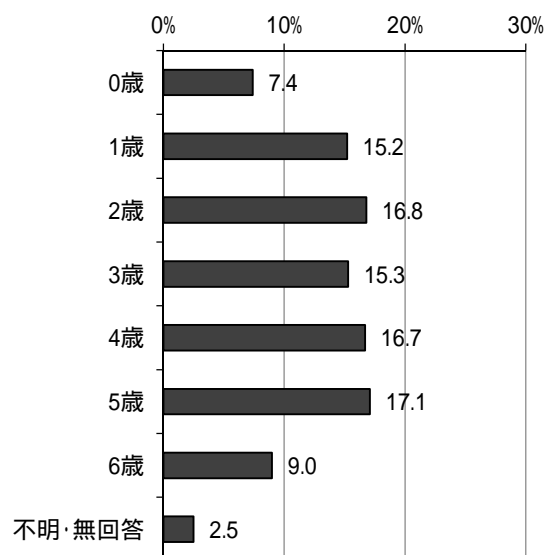


(4) 子どもの年齢・学年(調査時点) 数量回答

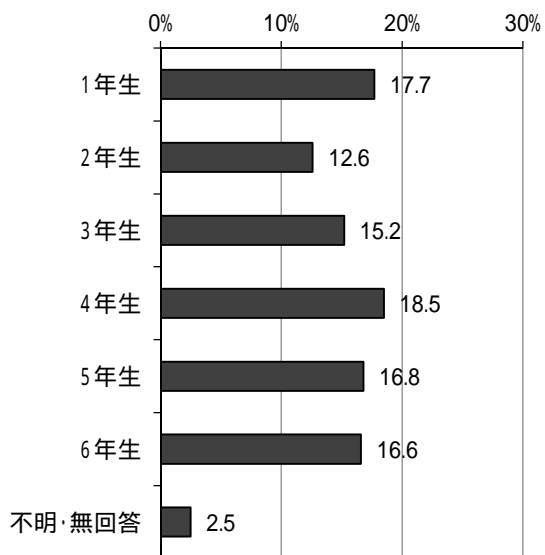
[就学前児童調査...問2-1、小学生児童調査...問2-1]

就学前児童の年齢についてみると、「5歳」が17.1%、「2歳」が16.8%、「4歳」が16.7%となっています。小学生児童の学年についてみると、「4年生」が18.5%、「1年生」が17.7%、「5年生」が16.8%となっています。

就学前児童(N=1,059)



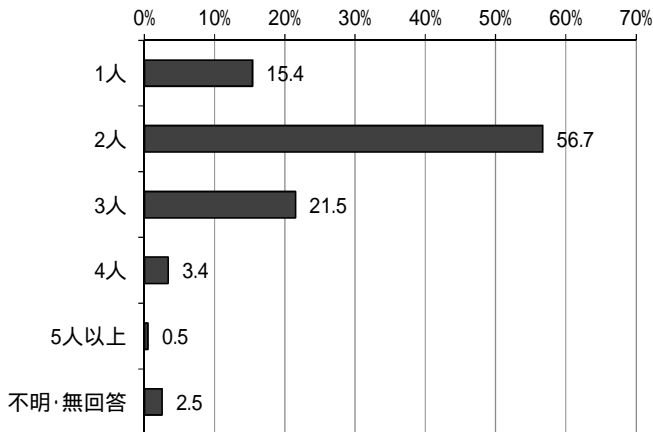
小学生児童(N=951)



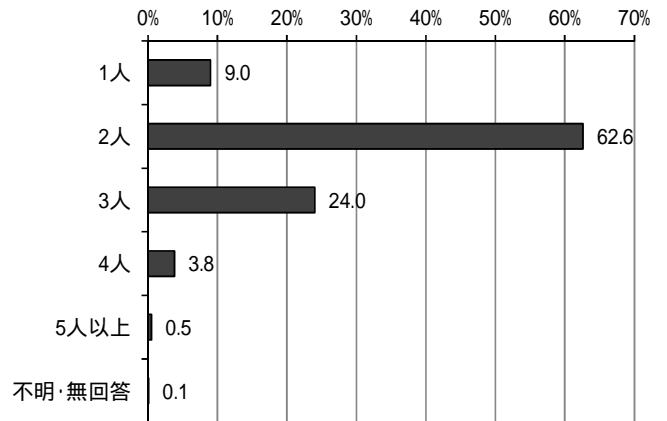
(5) 子どもの人数 数量回答 (就学前児童調査...問2 - 1、小学生児童調査...問2 - 1)

子どもの人数についてみると、「2人」が就学前児童で56.7%、小学生児童で62.6%と最も高く、次いで「3人」が就学前児童で21.5%、小学生児童で24.0%となっています。

就学前児童(N=1,059)



小学生児童(N=951)

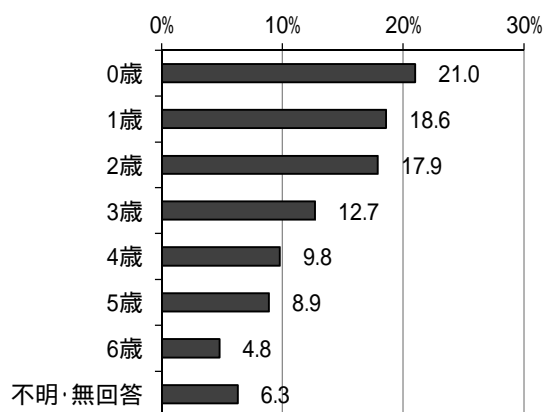


(5) で子どもの人数が「2人」以上の方

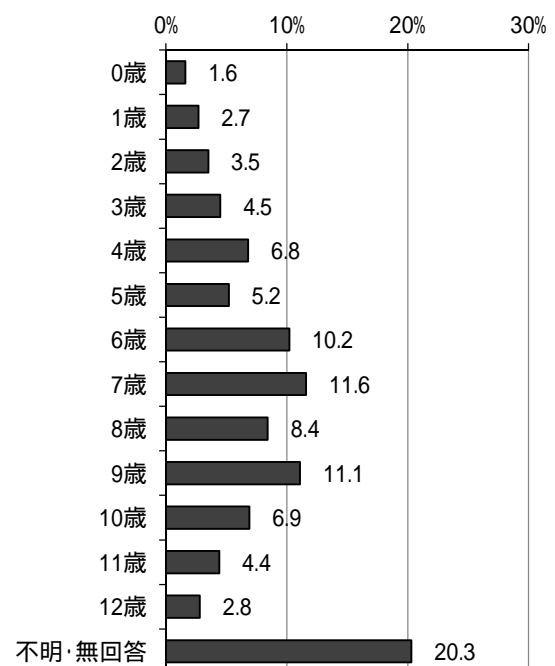
(6) 末子の年齢 数量回答 (就学前児童調査...問2 - 1、小学生児童調査...問2 - 1)

子どもの人数が2人以上の方の末子の年齢についてみると、就学前児童では「0歳」が21.0%、小学生児童では「7歳」が11.6%と最も高くなっています。

就学前児童
(N=727)

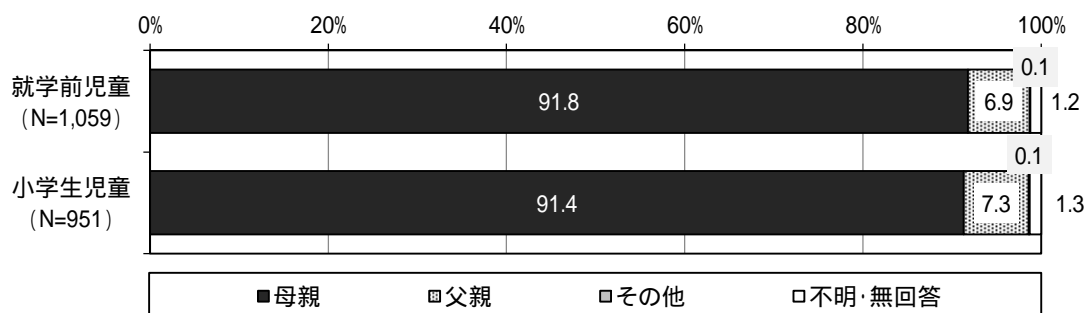


小学生児童
(N=864)



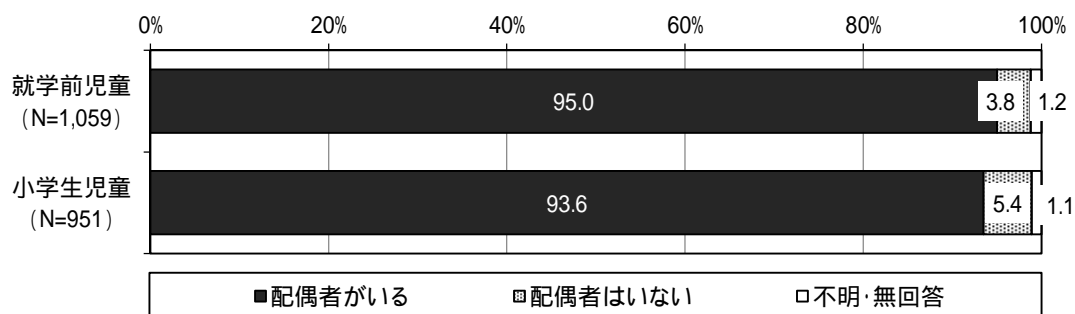
(7) 調査票の回答者 単数回答 (就学前児童調査...問2 - 2、小学生児童調査...問2 - 2)

回答者についてみると、「母親」が就学前児童で91.8%、小学生児童で91.4%となっています。



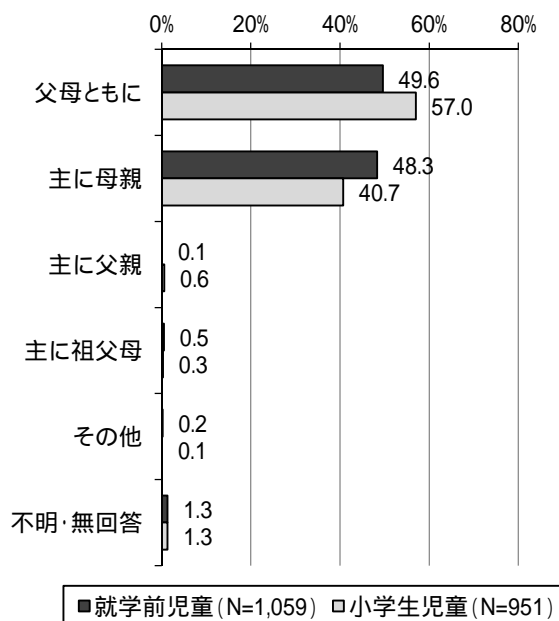
(8) 調査票の回答者の配偶関係 単数回答 (就学前児童調査...問2 - 3、小学生児童調査...問2 - 3)

回答者の配偶関係についてみると、「配偶者がいる」が就学前児童で95.0%、小学生児童で93.6%となっています。



(9) 子育てを主に行っている方 単数回答 (就学前児童調査...問2 - 4、小学生児童調査...問2 - 4)

子育てを主に行っている方についてみると、「父母ともに」が就学前児童で49.6%、小学生児童で57.0%と最も高く、次いで「主に母親」が就学前児童で48.3%、小学生児童で40.7%となっています。



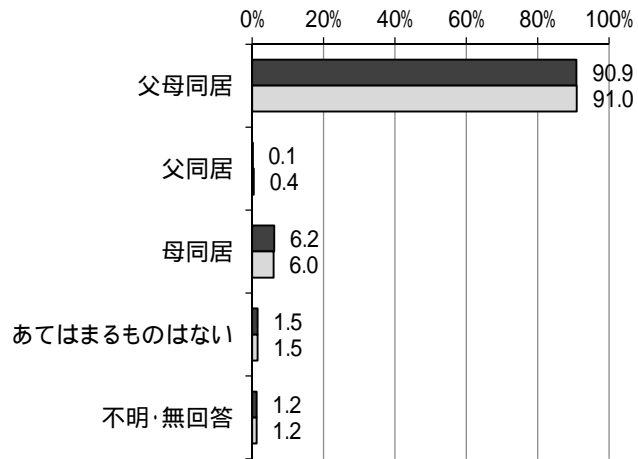
2 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 同居・近居の状況 単数回答 [就学前児童調査...問3-1、小学生児童調査...問3-1]

父母との同居・近居の状況をみると、「父母同居」が就学前児童で90.9%、小学生児童で91.0%となっています。

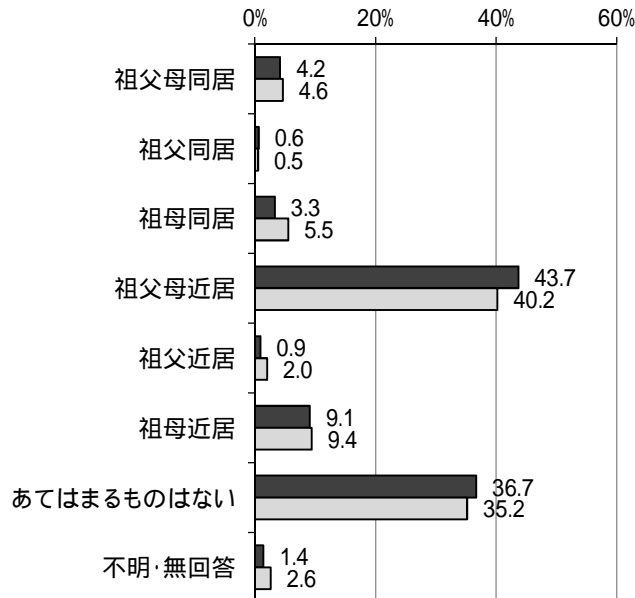
祖父母との同居・近居の状況をみると、「祖父母近居」が就学前児童で43.7%、小学生児童で40.2%と最も高くなっています。次いで、「あてはまるものはない」が就学前児童で36.7%、小学生児童で35.2%となっています。

父・母について



■就学前児童(N=1,059) □小学生児童(N=951)

祖父母について

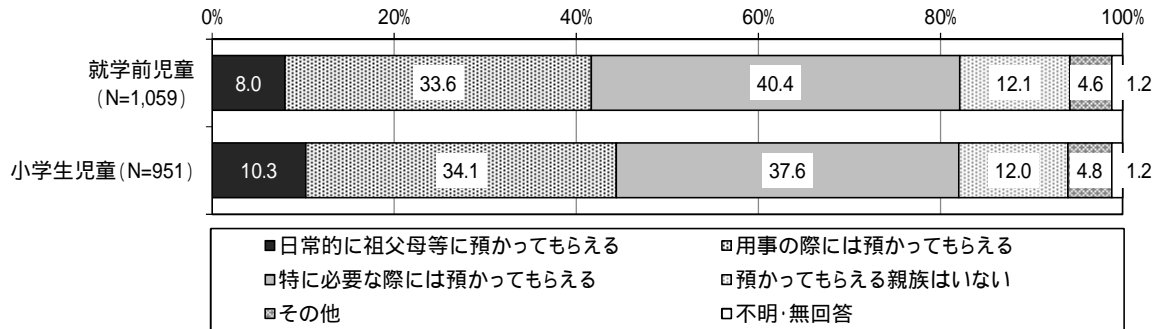


■就学前児童(N=1,059) □小学生児童(N=951)

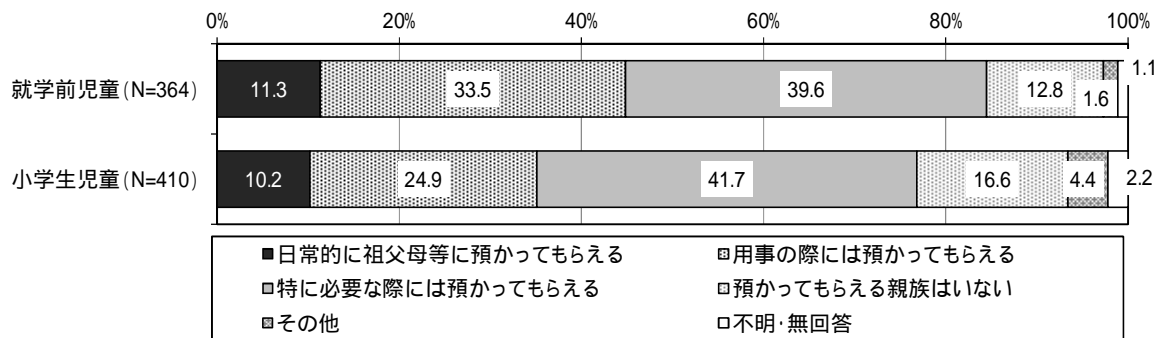
(2) 子どもを親族等に預かってもらっている状況 単数回答

[就学前児童調査...問3-2、小学生児童調査...問3-2]

子どもを親族等に預かってもらっている状況についてみると、「特に必要な際には預かってもらえる」が就学前児童で40.4%、小学生児童で37.6%と最も高くなっています。次いで、「用事の際には預かってもらえる」が就学前児童で33.6%、小学生児童で34.1%となっています。



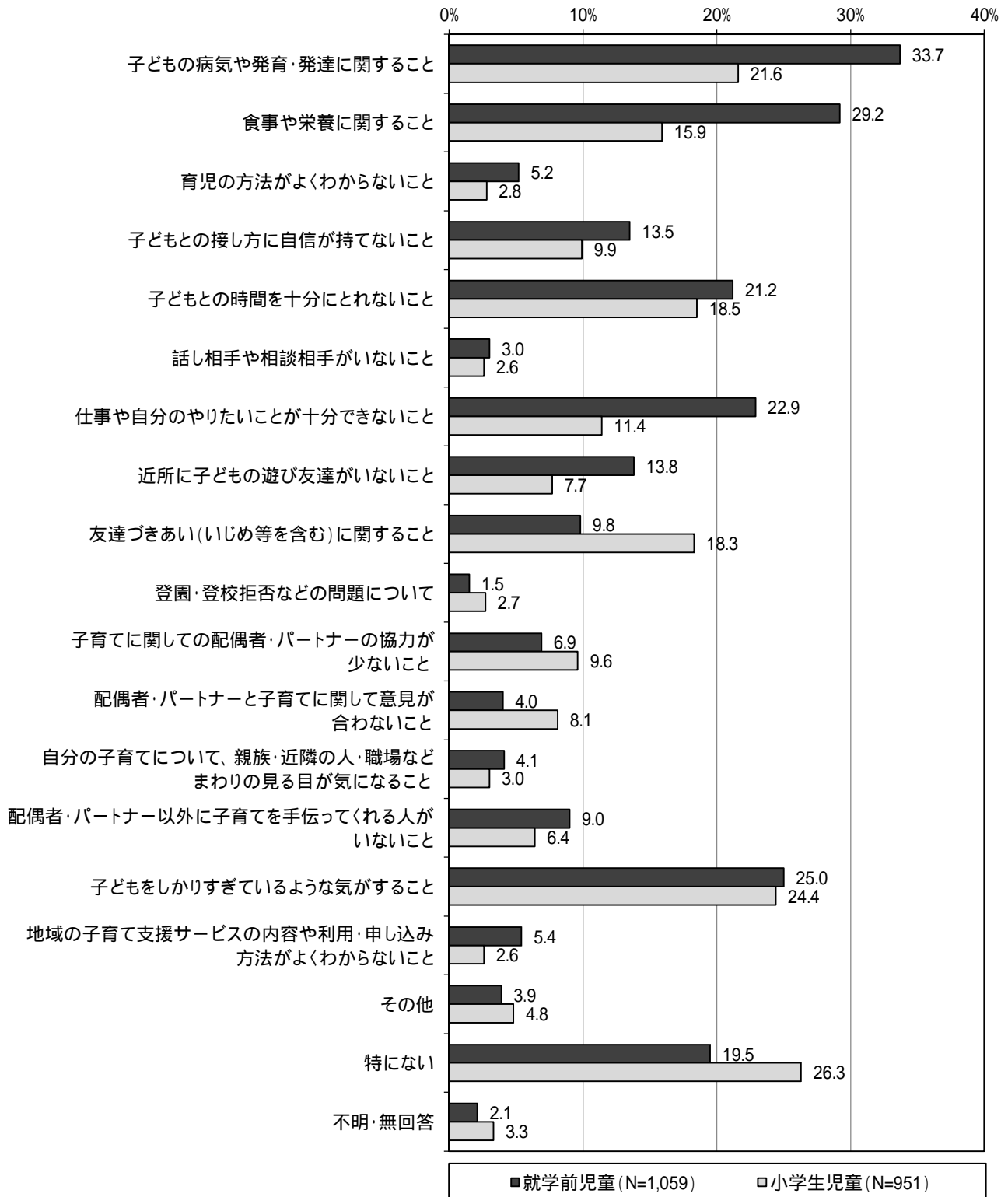
[平成25年度調査結果との比較]



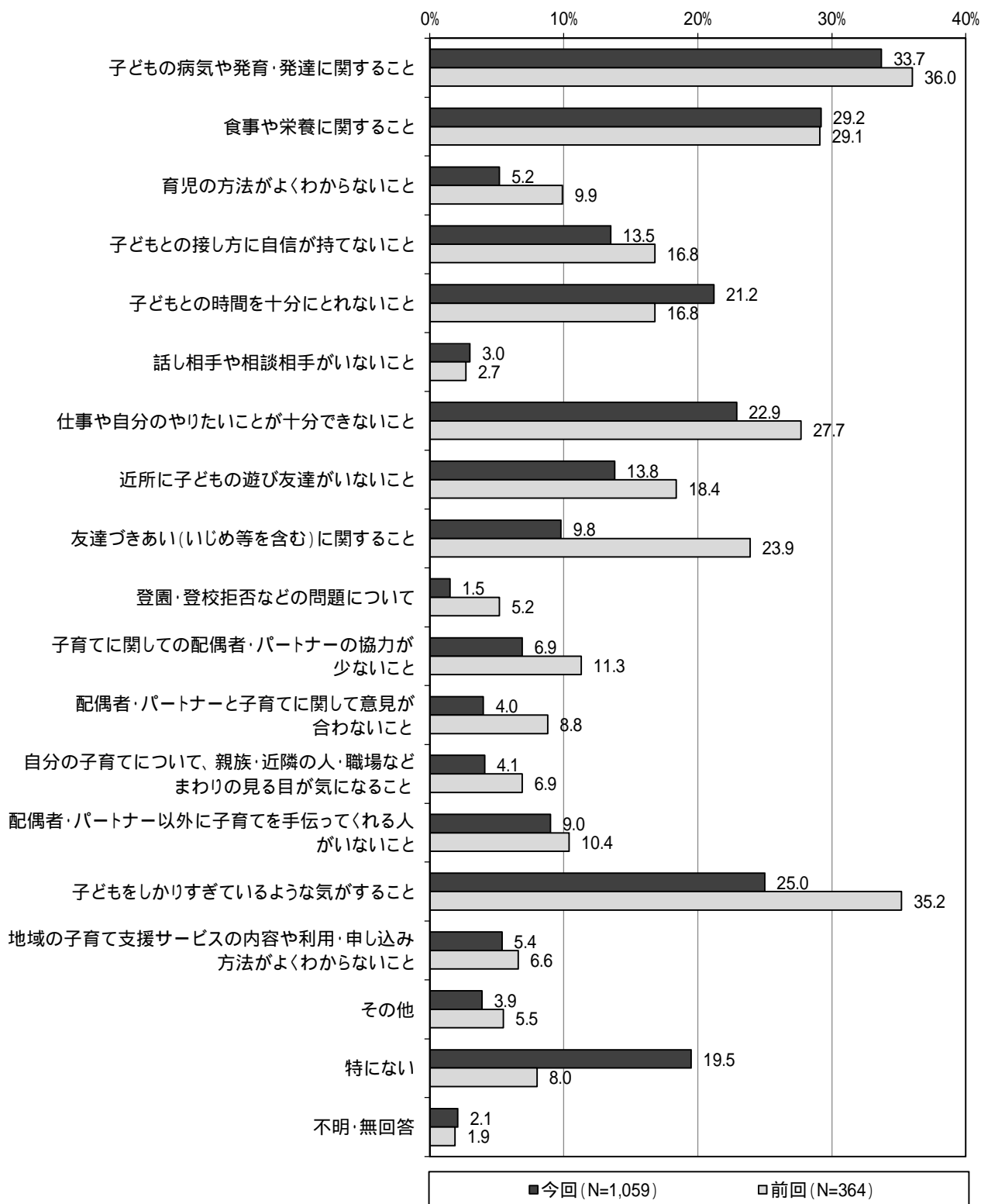
(3) 子育てについて日ごろ悩んでいること 複数回答

[就学前児童調査...問3-3、小学生児童調査...問3-3]

子育てについて日ごろ悩んでいることについてみると、就学前児童では「子どもの病気や発育・発達に関すること」が33.7%と最も高く、次いで「食事や栄養に関すること」が29.2%となっています。小学生児童では「特にない」が26.3%と最も高く、次いで「子どもをしかりすぎているような気がする」が24.4%となっています。



【平成 25 年度調査結果との比較】 就学前児童調査



〔年齢別〕就学前児童

子育てについて日ごろ悩んでいることについて年齢別にみると、就学前児童では0歳児、2歳児は「食事や栄養に関すること」、1歳児、4歳児、5歳児は「子どもの病気や発育・発達に関すること」、3歳児は「子どもをしかりすぎているような気がする」とが最も高くなっています。

子育てに関する悩みや気になること 就学前児童(N=1,059)	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児 (年少)		4歳児 (年中)		5歳児 (年長)		不明・無回答	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
子どもの病気や発育・発達に関すること	61	38.6	57	33.9	58	33.7	49	30.2	56	29.9	63	34.1	13	48.1
食事や栄養に関すること	67	42.4	54	32.1	60	34.9	35	21.6	42	22.5	41	22.2	10	37.0
育児の方法がよくわからないこと	7	4.4	8	4.8	11	6.4	10	6.2	7	3.7	7	3.8	5	18.5
子どもとの接し方に自信が持てないこと	19	12.0	14	8.3	32	18.6	25	15.4	23	12.3	21	11.4	9	33.3
子どもとの時間を十分にとれないこと	21	13.3	27	16.1	35	20.3	40	24.7	41	21.9	48	25.9	13	48.1
話し相手や相談相手がいないこと	7	4.4	3	1.8	3	1.7	7	4.3	3	1.6	6	3.2	3	11.1
仕事や自分のやりたいことが十分できないこと	40	25.3	42	25.0	39	22.7	42	25.9	35	18.7	37	20.0	8	29.6
近所に子どもの遊び友達がいないこと	29	18.4	22	13.1	29	16.9	21	13.0	18	9.6	24	13.0	3	11.1
友達つきあい(いじめ等を含む)に関する こと	10	6.3	8	4.8	12	7.0	14	8.6	22	11.8	37	20.0	1	3.7
登園・登校拒否などの問題について	2	1.3	1	0.6	0	0.0	4	2.5	3	1.6	6	3.2	0	0.0
子育てに関する配偶者・パートナーの 協力が少ないこと	15	9.5	8	4.8	12	7.0	9	5.6	12	6.4	15	8.1	2	7.4
配偶者・パートナーと子育てに関して意見 が合わないこと	6	3.8	2	1.2	10	5.8	9	5.6	4	2.1	10	5.4	1	3.7
自分の子育てについて、親族・近隣の人・ 職場などまわりの見る目が気になること	7	4.4	4	2.4	5	2.9	10	6.2	7	3.7	8	4.3	2	7.4
配偶者・パートナー以外に子育てを手 伝ってくれる人がいないこと	15	9.5	14	8.3	19	11.0	17	10.5	12	6.4	12	6.5	6	22.2
子どもをしかりすぎているような気がする こと	24	15.2	33	19.6	44	25.6	59	36.4	48	25.7	51	27.6	6	22.2
地域の子育て支援サービスの内容や利用・ 申し込み方法がよくわからないこと	16	10.1	10	6.0	9	5.2	7	4.3	10	5.3	5	2.7	0	0.0
その他	8	5.1	7	4.2	6	3.5	6	3.7	4	2.1	9	4.9	1	3.7
特になし	29	18.4	36	21.4	32	18.6	27	16.7	47	25.1	33	17.8	3	11.1
不明・無回答	6	3.8	2	1.2	3	1.7	3	1.9	5	2.7	3	1.6	0	0.0

〔学年別〕小学生児童

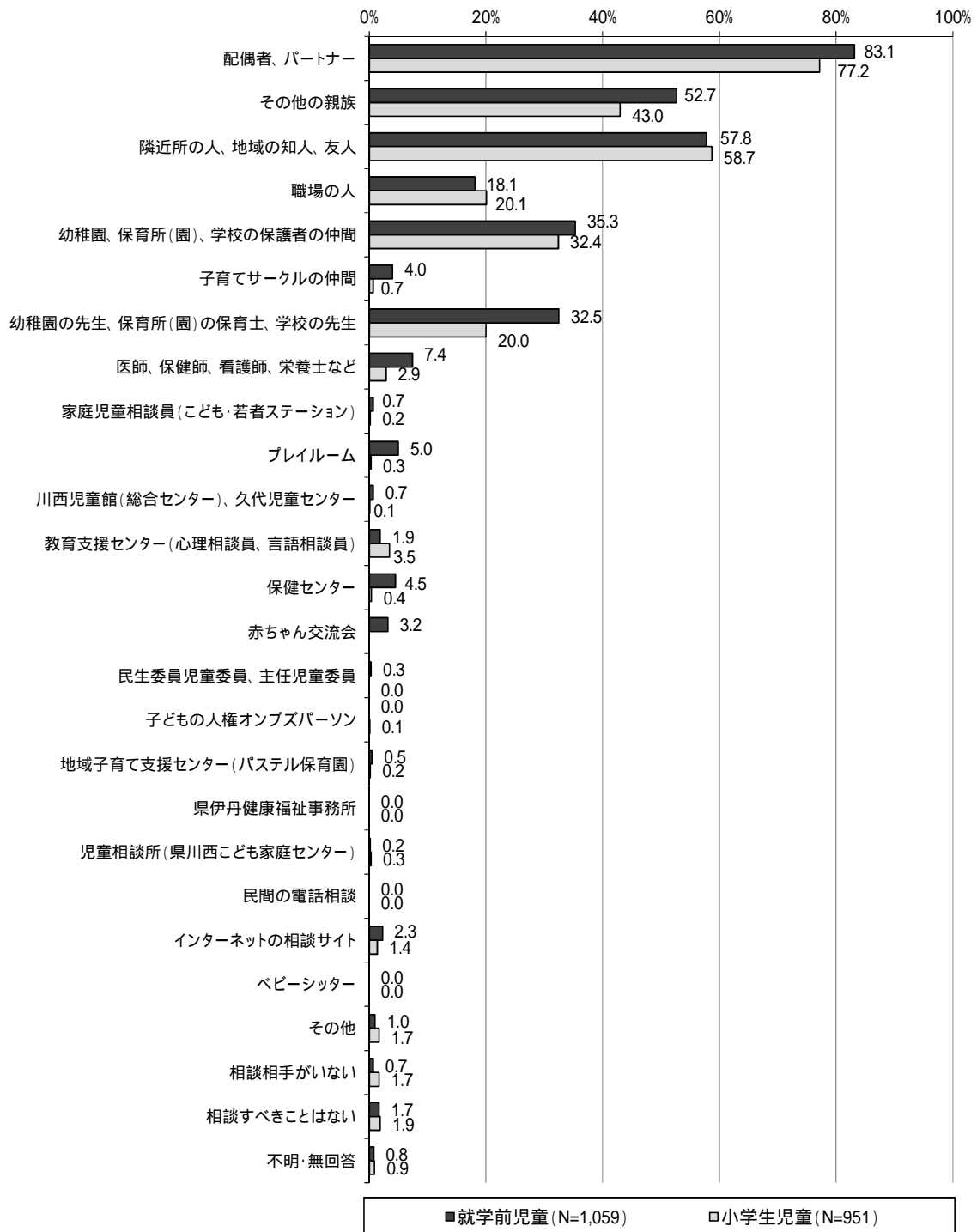
子育てについて日ごろ悩んでいることについて年齢別にみると、小学生児童では1年生、2年生、4年生は「子どもを
しかりすぎているような気がする」と、3年生、5年生、6年生は「特にない」が最も高くなっています。

子育てに関する悩みや気になること 小学生児童(N=951)	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		不明・無回答	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
子どもの病気や発育・発達に関すること	39	23.2	34	28.3	31	21.4	37	21.0	34	21.3	26	16.5	4	16.7
食事や栄養に関すること	25	14.9	24	20.0	26	17.9	37	21.0	22	13.8	14	8.9	3	12.5
育児の方法がよくわからないこと	6	3.6	6	5.0	5	3.4	4	2.3	4	2.5	2	1.3	0	0.0
子どもとの接し方に自信が持てないこと	18	10.7	14	11.7	15	10.3	14	8.0	15	9.4	14	8.9	4	16.7
子どもとの時間を十分にとれないこと	32	19.0	20	16.7	28	19.3	41	23.3	25	15.6	25	15.8	5	20.8
話し相手や相談相手がいないこと	1	0.6	5	4.2	4	2.8	6	3.4	3	1.9	5	3.2	1	4.2
仕事や自分のやりたいことが十分できないこと	23	13.7	16	13.3	18	12.4	19	10.8	17	10.6	14	8.9	1	4.2
近所に子どもの遊び友達がいないこと	12	7.1	5	4.2	7	4.8	16	9.1	16	10.0	14	8.9	3	12.5
友達つきあい(いじめ等を含む)に関する こと	26	15.5	23	19.2	24	16.6	37	21.0	34	21.3	26	16.5	4	16.7
登園・登校拒否などの問題について	2	1.2	4	3.3	6	4.1	7	4.0	4	2.5	3	1.9	0	0.0
子育てに関する配偶者・パートナーの 協力が少ないこと	15	8.9	13	10.8	14	9.7	16	9.1	9	5.6	22	13.9	2	8.3
配偶者・パートナーと子育てに関して意見 が合わないこと	12	7.1	6	5.0	13	9.0	16	9.1	12	7.5	16	10.1	2	8.3
自分の子育てについて、親族・近隣の人・ 職場などまわりの見る目が気になること	2	1.2	3	2.5	6	4.1	4	2.3	7	4.4	7	4.4	0	0.0
配偶者・パートナー以外に子育てを手 伝ってくれる人がいないこと	16	9.5	6	5.0	9	6.2	13	7.4	12	7.5	3	1.9	2	8.3
子どもをしかりすぎているような気がする こと	50	29.8	34	28.3	30	20.7	46	26.1	36	22.5	32	20.3	4	16.7
地域の子育て支援サービスの内容や利用・ 申し込み方法がよくわからないこと	4	2.4	0	0.0	3	2.1	7	4.0	7	4.4	3	1.9	1	4.2
その他	10	6.0	4	3.3	5	3.4	13	7.4	7	4.4	5	3.2	2	8.3
特にない	37	22.0	29	24.2	37	25.5	43	24.4	41	25.6	57	36.1	6	25.0
不明・無回答	5	3.0	6	5.0	5	3.4	2	1.1	6	3.8	5	3.2	2	8.3

(4) 子育てに関する悩みや不安などの相談先<複数回答>

[就学前児童調査...問3 - 4、小学生児童調査...問3 - 4]

子育てに関する悩みや不安などの相談先についてみると、「配偶者、パートナー」が就学前児童で 83.1%、小学生児童で 77.2%と最も高くなっています。次いで、「隣近所の人、地域の知人、友人」が就学前児童で 57.8%、小学生児童で 58.7%となっています。



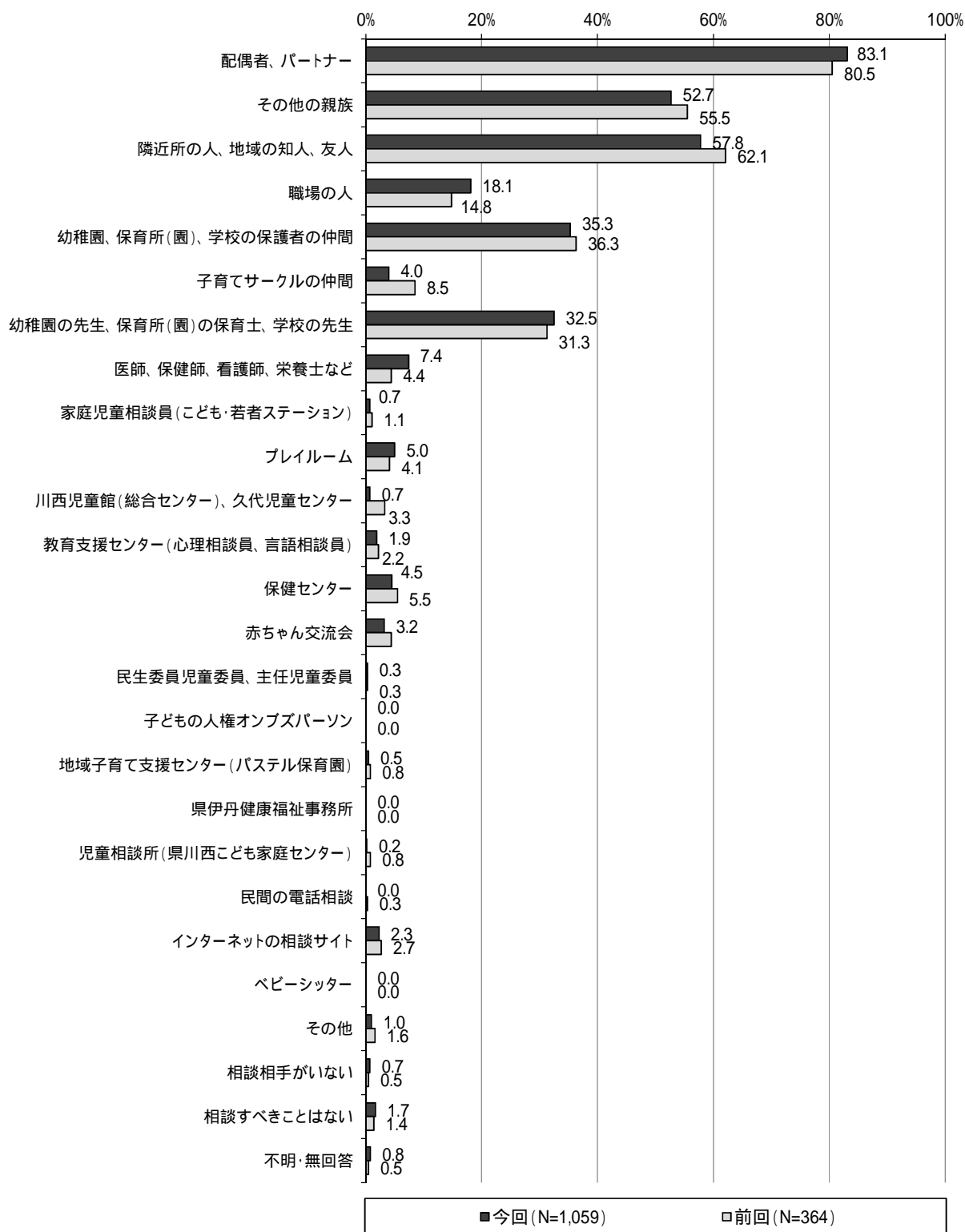
〔年齢別〕就学前児童

子育てに関する相談先 就学前児童(N=1,059)	0 歳児		1 歳児		2 歳児		3 歳児		4 歳児		5 歳児		不明・無回答	
	N=158		N=168		N=172		N=162		N=187		N=185		N=27	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
配偶者、パートナー	142	89.9	147	87.5	144	83.7	135	83.3	145	77.5	145	78.4	22	81.5
その他の親族	95	60.1	99	58.9	103	59.9	77	47.5	89	47.6	86	46.5	9	33.3
隣近所の人、地域の知人、友人	88	55.7	102	60.7	98	57.0	87	53.7	112	59.9	108	58.4	17	63.0
職場の人	26	16.5	36	21.4	30	17.4	26	16.0	35	18.7	34	18.4	5	18.5
幼稚園、保育所(園)、 学校の保護者の仲間	30	19.0	32	19.0	42	24.4	59	36.4	99	52.9	102	55.1	10	37.0
子育てサークルの仲間	11	7.0	12	7.1	6	3.5	6	3.7	3	1.6	3	1.6	1	3.7
幼稚園の先生、保育所(園)の 保育士、学校の先生	38	24.1	43	25.6	47	27.3	61	37.7	79	42.2	68	36.8	8	29.6
医師、保健師、看護師、栄養士 など	15	9.5	13	7.7	8	4.7	14	8.6	9	4.8	13	7.0	6	22.2
家庭児童相談員 (こども・若者ステーション)	2	1.3	0	0.0	1	0.6	1	0.6	1	0.5	2	1.1	0	0.0
プレイルーム	22	13.9	12	7.1	9	5.2	6	3.7	2	1.1	1	0.5	1	3.7
川西児童館(総合センター)、 久代児童センター	3	1.9	0	0.0	2	1.2	0	0.0	0	0.0	2	1.1	0	0.0
教育支援センター (心理相談員、言語相談員)	0	0.0	1	0.6	1	0.6	6	3.7	5	2.7	7	3.8	0	0.0
保健センター	11	7.0	9	5.4	10	5.8	10	6.2	4	2.1	1	0.5	3	11.1
赤ちゃん交流会	23	14.6	4	2.4	3	1.7	2	1.2	1	0.5	0	0.0	1	3.7
民生委員児童委員、 主任児童委員	1	0.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	1.1	0	0.0
子どもの人権オンブズパーソン	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
地域子育て支援センター (パステル保育園)	4	2.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.5	0	0.0
県伊丹健康福祉事務所	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
児童相談所 (県川西こども家庭センター)	0	0.0	0	0.0	1	0.6	0	0.0	0	0.0	1	0.5	0	0.0
民間の電話相談	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
インターネットの相談サイト	6	3.8	3	1.8	7	4.1	2	1.2	2	1.1	4	2.2	0	0.0
ベビーシッター	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	1	0.6	3	1.8	2	1.2	1	0.6	3	1.6	0	0.0	1	3.7
相談相手がいない	1	0.6	0	0.0	3	1.7	0	0.0	0	0.0	3	1.6	0	0.0
相談すべきことはない	2	1.3	3	1.8	3	1.7	2	1.2	5	2.7	3	1.6	0	0.0
不明・無回答	1	0.6	0	0.0	1	0.6	2	1.2	3	1.6	2	1.1	0	0.0

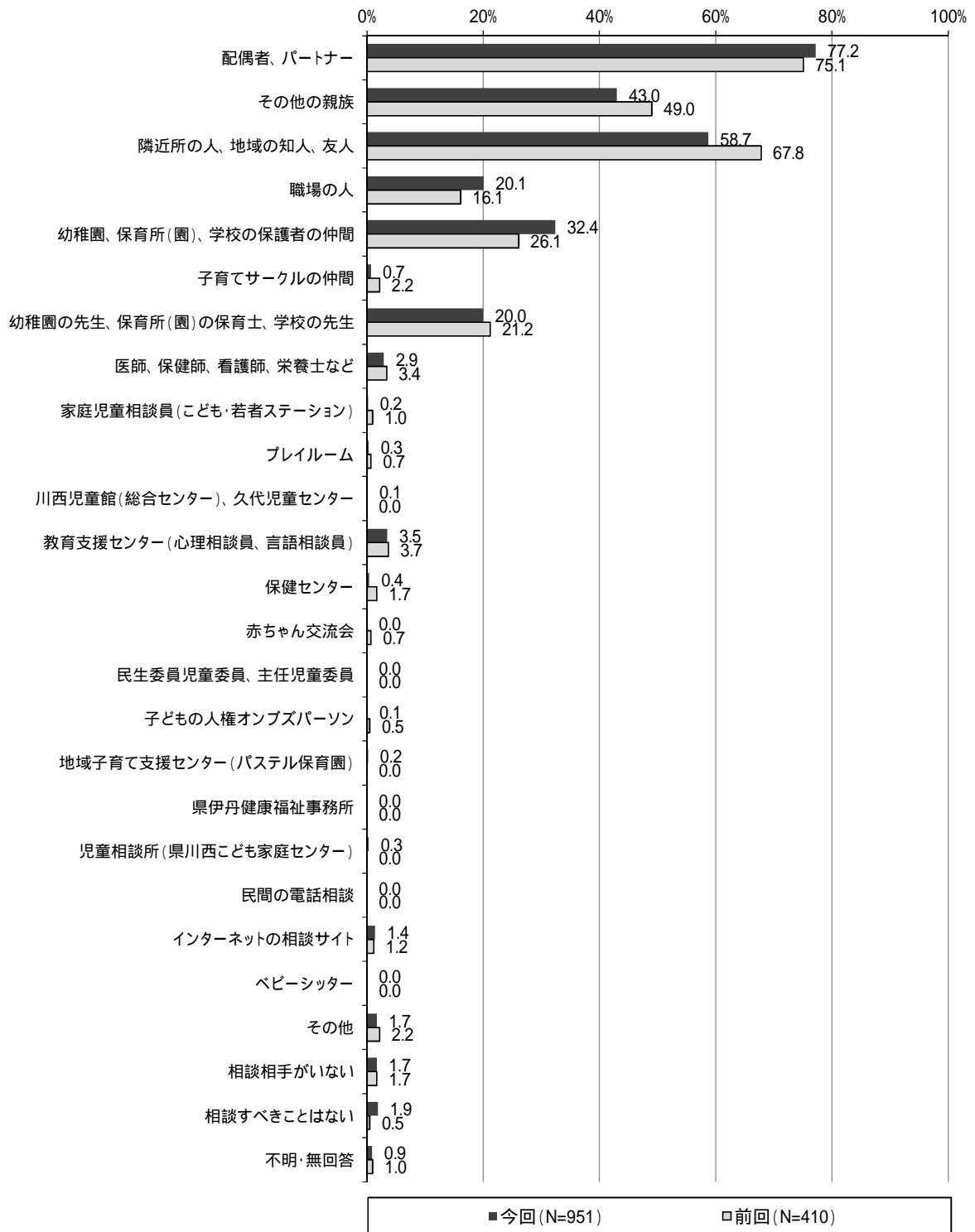
〔学年別〕小学生児童

子育てに関する相談先 小学生児童(N=951)	1 年 生		2 年 生		3 年 生		4 年 生		5 年 生		6 年 生		不 明 ・ 無 回 答	
	N=168		N=120		N=145		N=176		N=160		N=158		N=24	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
配偶者、パートナー	139	82.7	96	80.0	112	77.2	134	76.1	124	77.5	113	71.5	16	66.7
その他の親族	76	45.2	48	40.0	64	44.1	73	41.5	70	43.8	66	41.8	12	50.0
隣近所の人、地域の知人、友人	102	60.7	73	60.8	87	60.0	98	55.7	89	55.6	96	60.8	13	54.2
職場の人	29	17.3	20	16.7	28	19.3	36	20.5	29	18.1	44	27.8	5	20.8
幼稚園、保育所(園)、 学校の保護者の仲間	65	38.7	40	33.3	50	34.5	55	31.3	57	35.6	37	23.4	4	16.7
子育てサークルの仲間	2	1.2	0	0.0	2	1.4	1	0.6	2	1.3	0	0.0	0	0.0
幼稚園の先生、保育所(園)の 保育士、学校の先生	49	29.2	31	25.8	25	17.2	33	18.8	34	21.3	15	9.5	3	12.5
医師、保健師、看護師、栄養士 など	4	2.4	6	5.0	3	2.1	8	4.5	6	3.8	1	0.6	0	0.0
家庭児童相談員 (こども・若者ステーション)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.6	1	0.6	0	0.0
プレイルーム	0	0.0	1	0.8	1	0.7	0	0.0	1	0.6	0	0.0	0	0.0
川西児童館(総合センター)、 久代児童センター	0	0.0	0	0.0	1	0.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
教育支援センター (心理相談員、言語相談員)	7	4.2	6	5.0	3	2.1	5	2.8	9	5.6	3	1.9	0	0.0
保健センター	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.6	2	1.3	0	0.0	1	4.2
赤ちゃん交流会	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
民生委員児童委員、 主任児童委員	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
子どもの人権オンブズパーソン	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.6	0	0.0	0	0.0
地域子育て支援センター (パステル保育園)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.6	1	0.6	0	0.0
県伊丹健康福祉事務所	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
児童相談所 (県川西こども家庭センター)	1	0.6	1	0.8	0	0.0	0	0.0	1	0.6	0	0.0	0	0.0
民間の電話相談	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
インターネットの相談サイト	2	1.2	2	1.7	2	1.4	3	1.7	2	1.3	1	0.6	1	4.2
ベビーシッター	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	3	1.8	3	2.5	2	1.4	1	0.6	3	1.9	2	1.3	2	8.3
相談相手がない	3	1.8	0	0.0	4	2.8	1	0.6	4	2.5	4	2.5	0	0.0
相談すべきことはない	1	0.6	3	2.5	1	0.7	6	3.4	3	1.9	4	2.5	0	0.0
不明・無回答	0	0.0	2	1.7	2	1.4	0	0.0	2	1.3	2	1.3	1	4.2

〔平成 25 年度調査結果との比較〕 就学前児童



〔平成 25 年度調査結果との比較〕小学生児童

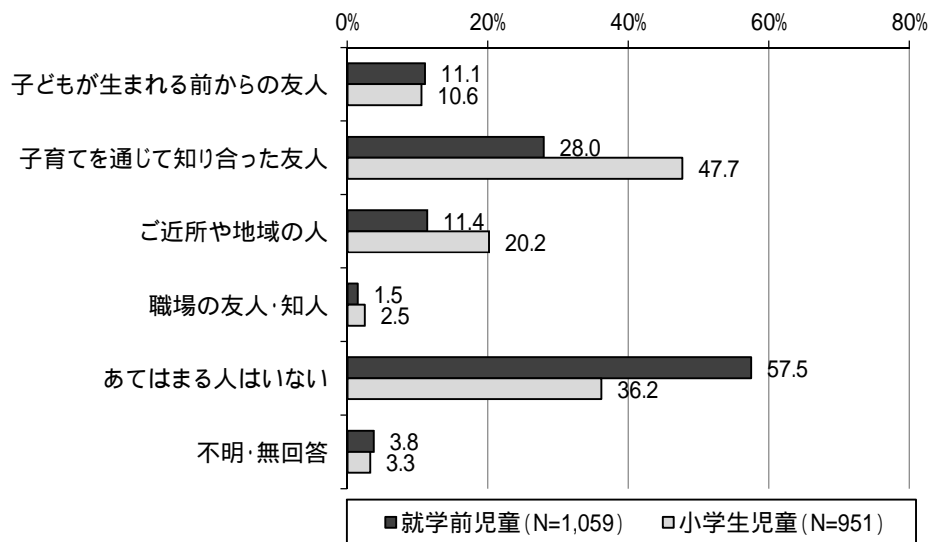


(5) 家族・親族以外で付き合いのできる人の有無 複数回答

[就学前児童調査...問3 - 5、小学生児童調査...問3 - 5]

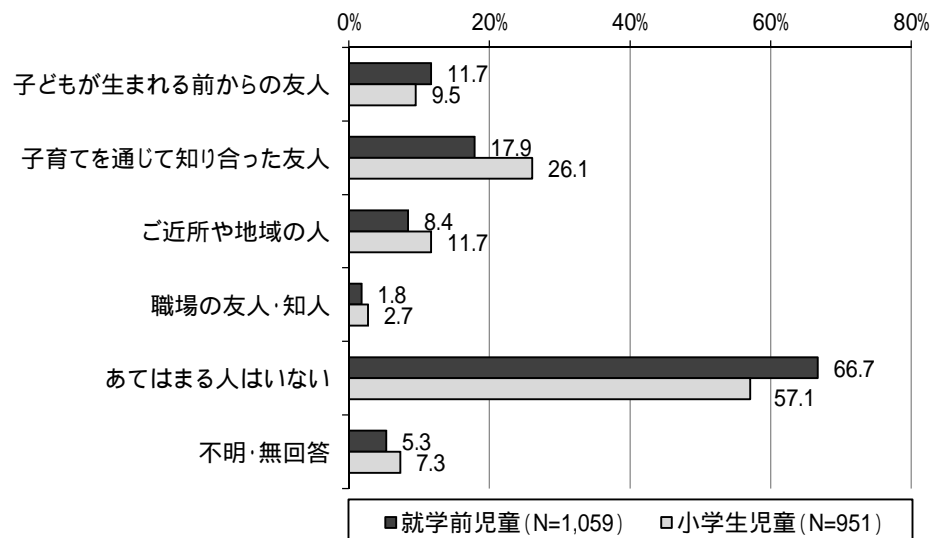
子どもを預け合える

子どもを預け合える人の有無についてみると、就学前児童では「あてはまる人がいない」が57.5%で最も高く、小学生児童では「子育てを通じて知り合った友人」が47.7%で最も高くなっています。



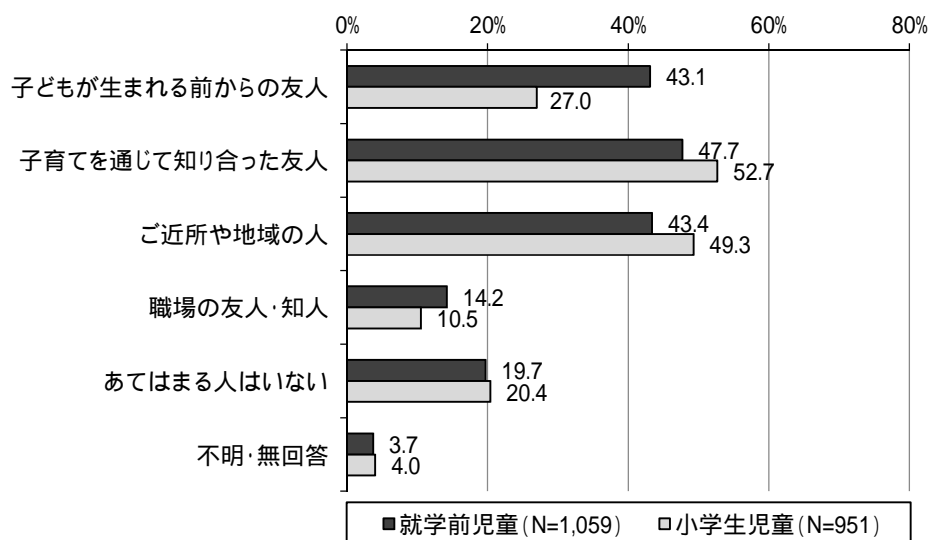
家事・育児のサポートができる

家事・育児のサポートができる人の有無についてみると、「あてはまる人はいない」が就学前児童で66.7%、小学生児童で57.1%と最も高く、次いで、「子育てを通じて知り合った友人」が就学前児童で17.9%、小学生児童で26.1%となっています。



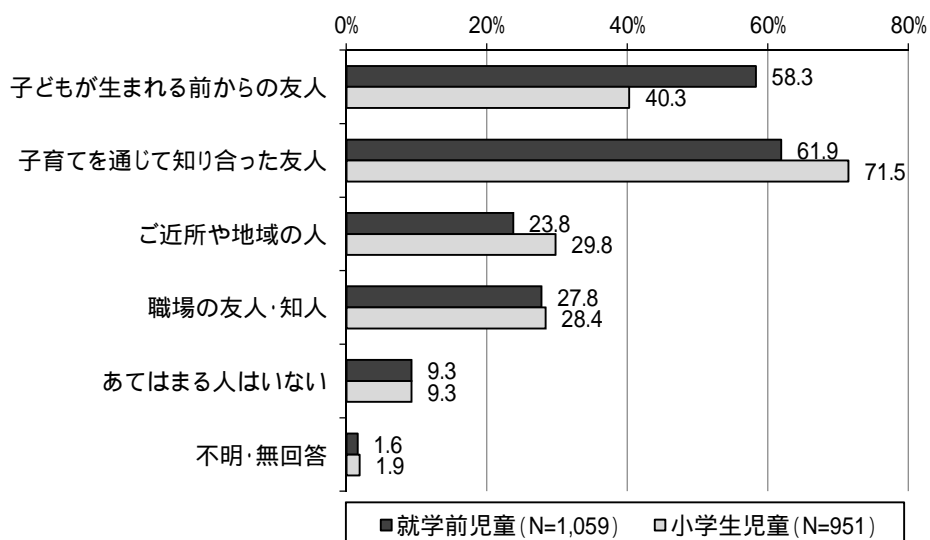
子どもの成長を見守ってくれる

子どもの成長を見守ってくれる人の有無についてみると、「子育てを通じて知り合った友人」が就学前児童で 47.7%、小学生児童で 52.7%と最も高く、次いで、「ご近所や地域の人」が就学前児童で 43.4%、小学生児童で 49.3%と高くなっています。



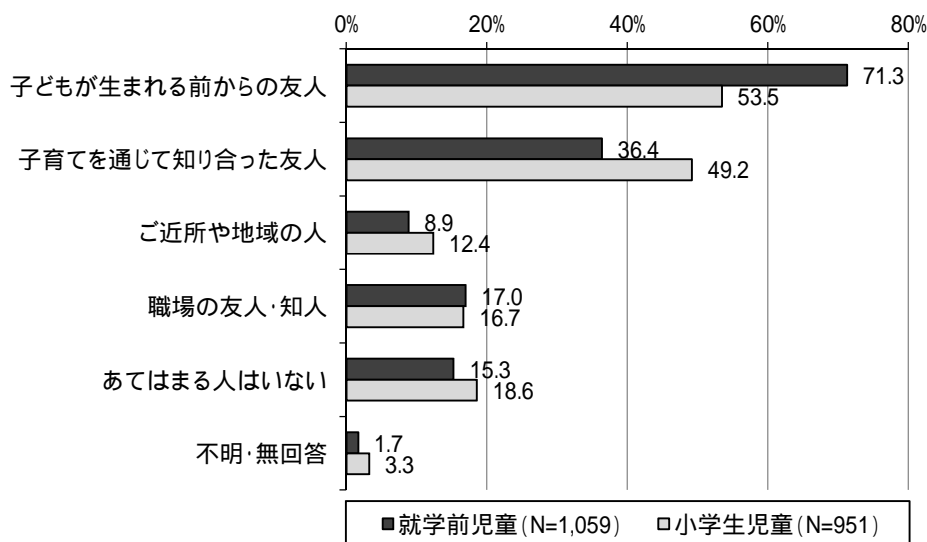
子育ての相談ができる

子育ての相談ができる人の有無についてみると、「子育てを通じて知り合った友人」が就学前児童で 61.9%、小学生児童で 71.5%と最も高く、次いで、「子どもが生まれる前からの友人」が就学前児童で 58.3%、小学生児童で 40.3%となっています。



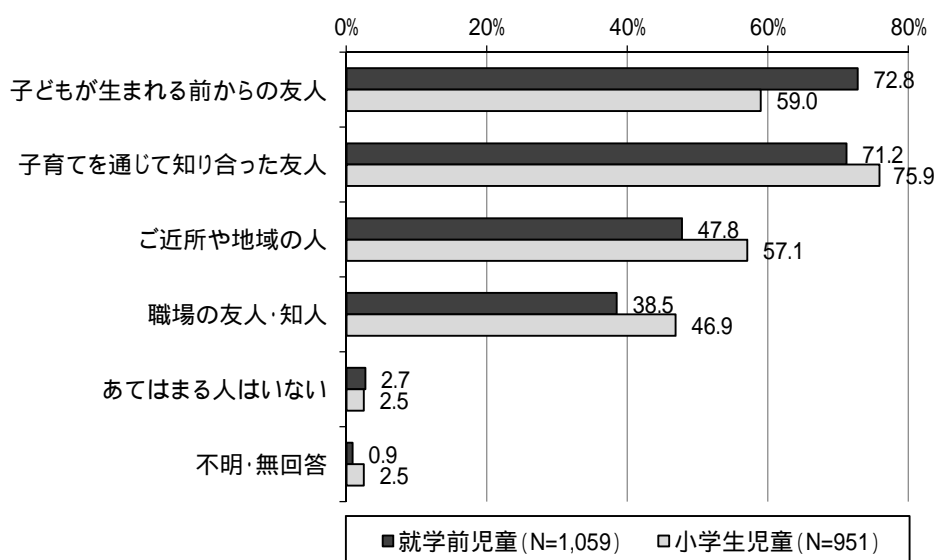
本音で話し合える

本音で話し合える人の有無についてみると、「子どもが生まれる前からの友人」が就学前児童で 71.3%、小学生児童で 53.5%と最も高く、次いで、「子育てを通じて知り合った友人」が就学前児童で 36.4%、小学生児童で 49.2%となっています。



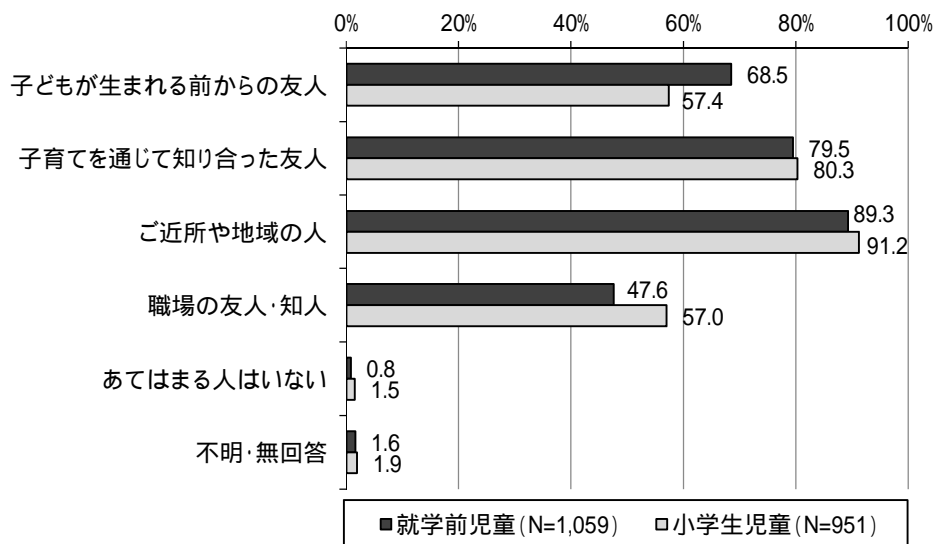
気軽なおしゃべりができる

気軽なおしゃべりができる人の有無についてみると、就学前児童では「子どもが生まれる前からの友人」が 72.8%で最も高く、小学生児童では「子育てを通じて知り合った友人」が 75.9%で最も高くなっています。



あいさつをする

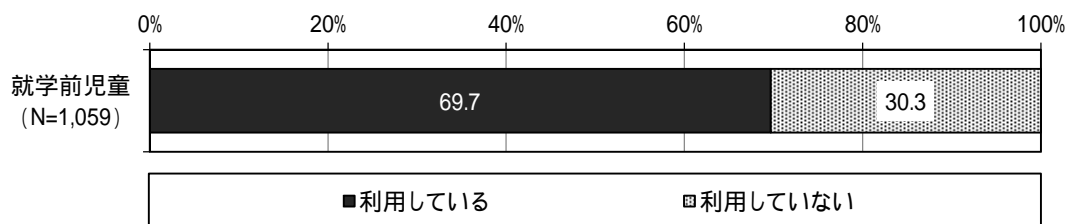
あいさつをする人の有無についてみると、「ご近所や地域の人」が就学前児童で 89.3%、小学生児童で 91.2%と最も高く、次いで、「子育てを通じて知り合った友人」が就学前児童で 79.5%、小学生児童で 80.3%と高くなっています。



3 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について（就学前児童）

（1）平日の定期的な教育・保育サービスの利用の有無 単数回答〔就学前児童調査…問4-1〕

平日の定期的な教育・保育サービスの利用の有無についてみると、「利用している」が69.7%と多数を占め、「利用していない」は30.3%となっています。

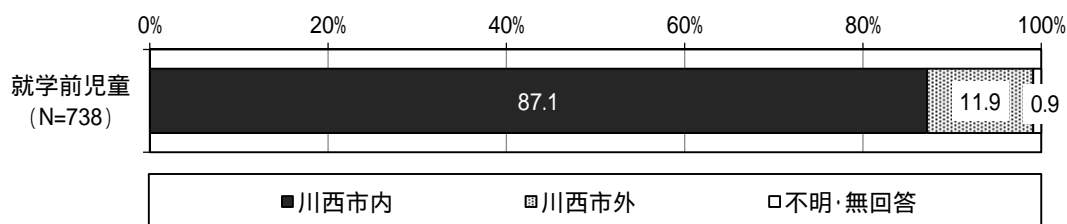


*ここでいう「定期的な教育・保育サービス」とは、月単位で定期的に利用しているサービスを指す。具体的には、幼稚園や保育所(園)など、問4-4に示すサービスが含まれる。

（1）で「利用している」を選んだ方

（2）平日に利用している教育・保育サービスの実施場所 単数回答〔就学前児童調査…問4-2〕

平日に利用している教育・保育サービスの実施場所についてみると、「川西市内」が87.1%となっています。

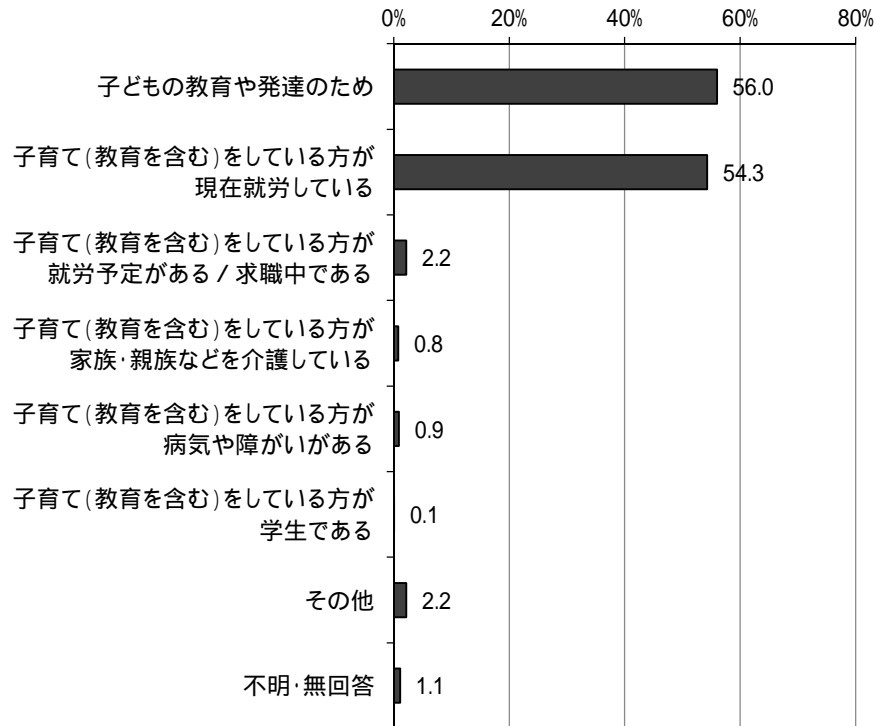


(1)で「利用している」を選んだ方

(3) 平日に教育・保育サービスを利用する主な理由 複数回答 (就学前児童調査...問4-3)

平日に教育・保育サービスを利用する主な理由についてみると、「子どもの教育や発達のため」が56.0%と最も高く、次いで「子育て(教育を含む)をしている方が、現在就労している」が54.3%となっています。

就学前児童(N=738)



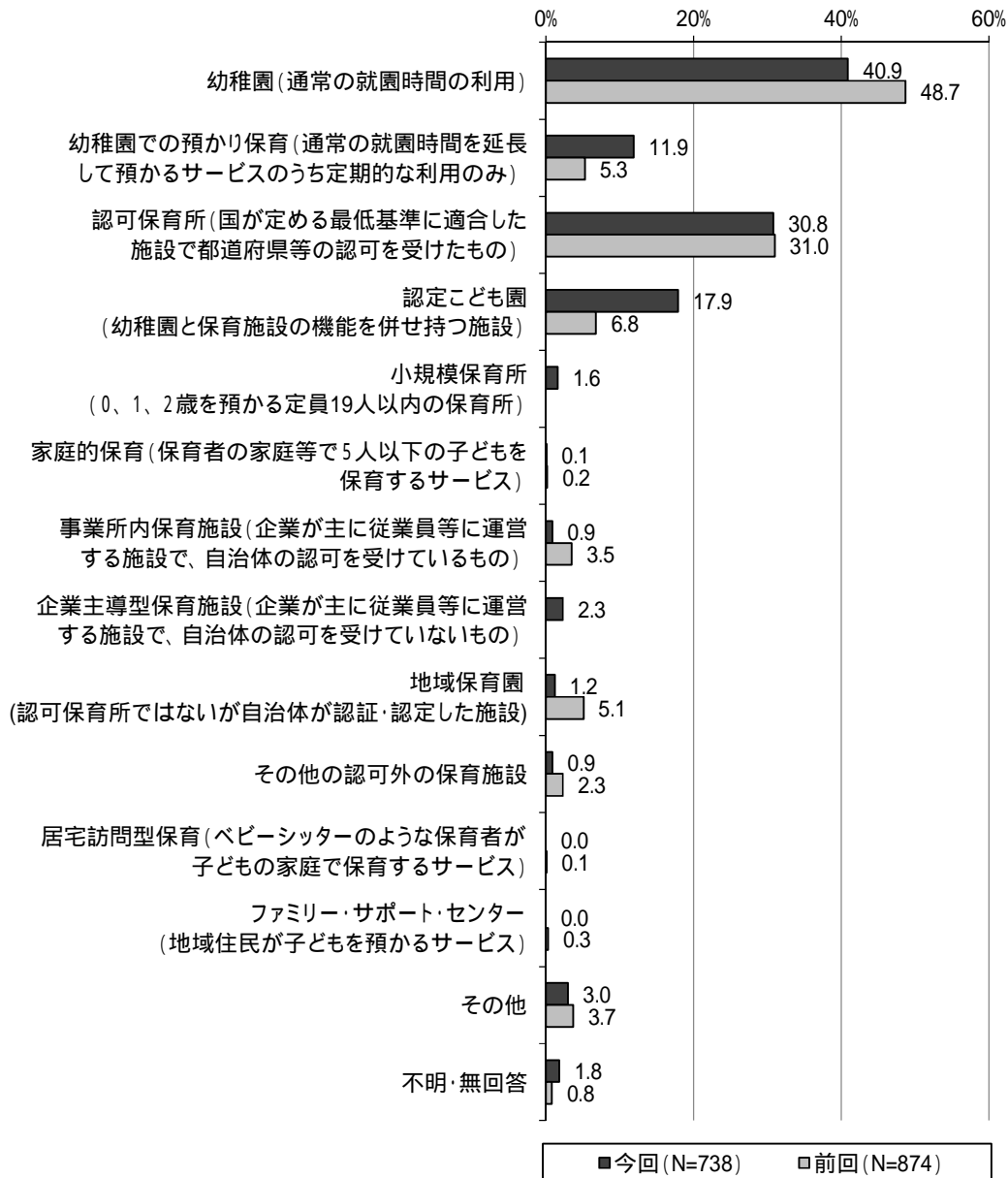
(1)で「利用している」を選んだ方

(4) 平日に利用している教育・保育サービス 複数回答 [就学前児童調査...問4 - 4]

平日に利用している教育・保育サービスについてみると、「幼稚園」が40.9%（前回63.3%）で最も高く、次いで「認可保育所」が30.8%（前回32.3%）、「認定こども園」が17.9%（前回24.0%）となっています。

平日に主として利用している教育・保育サービスについてみると、「幼稚園」が30.8%と最も高くなっています。

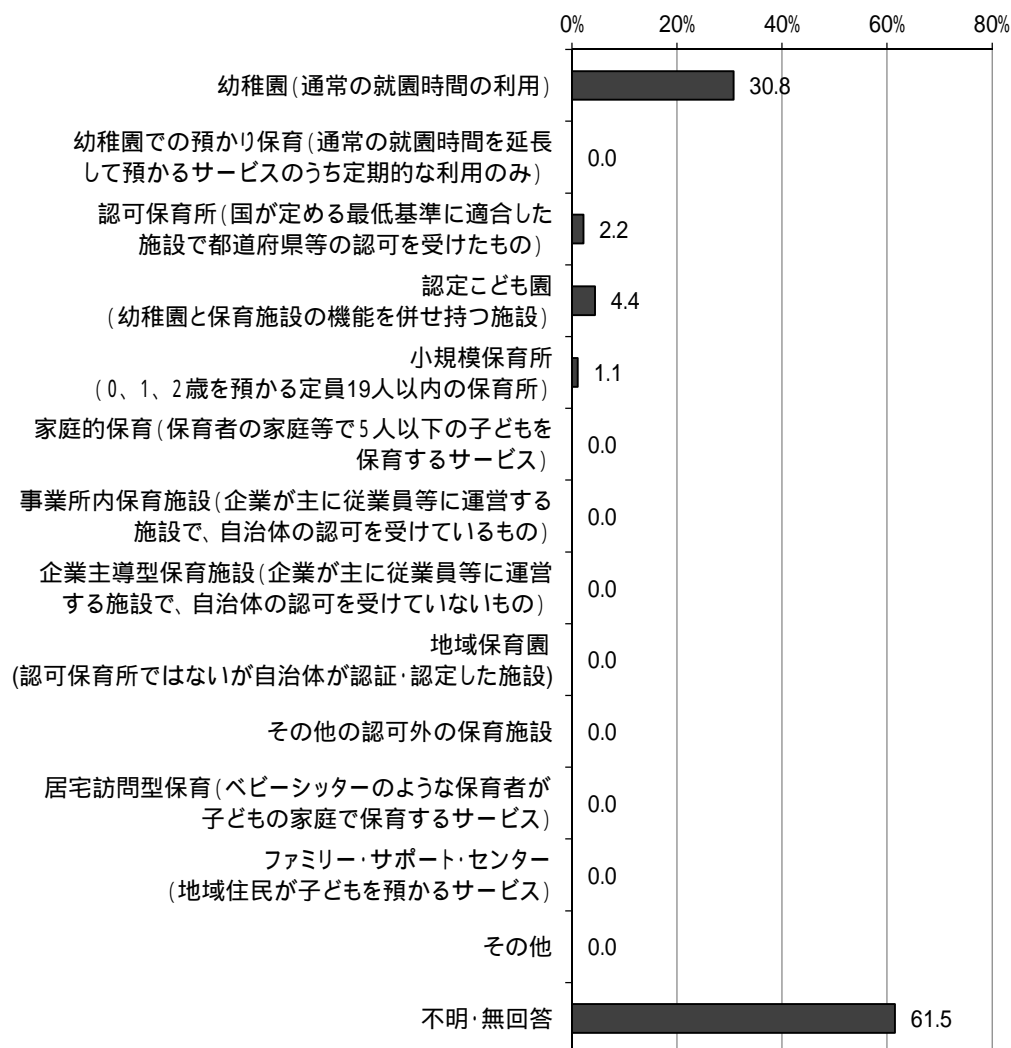
[平成25年度調査結果との比較] 就学前児童



小規模保育所、企業主導型保育は今回調査（平成30年度）のみの項目です。

平日に最もよく利用している教育・保育サービス 単数回答 (問 4-4 で複数のサービスを答えた方)

就学前児童 (N=91)



(1)で「利用している」を選んだ方

(5) 平日に利用している教育・保育サービスの現在の利用状況と利用希望

数量回答 (就学前児童調査...問4 - 5)

平日に利用している教育・保育サービスの現在の利用状況と利用希望についてみると、1週あたりの利用日数では、現在、希望ともに「5日」が最も高く、それぞれ82.2%、62.5%となっています。

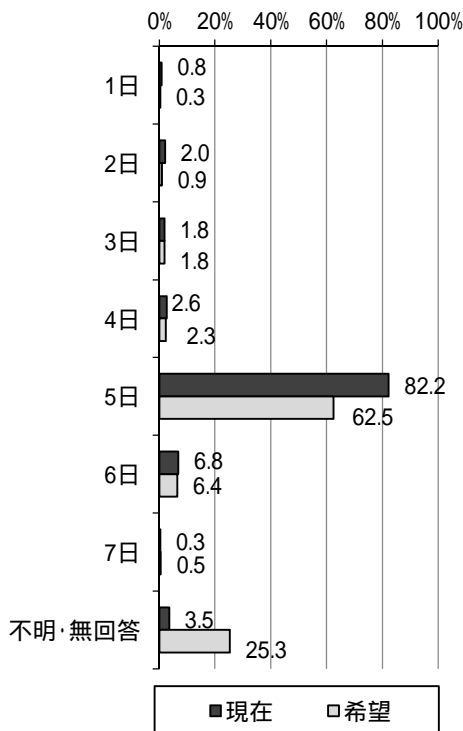
また、1日あたりの利用時間では、現在は「5時間」が24.3%で最も高くなっています。希望は「10時間以上」が18.8%と最も高くなっています。

利用開始時間についてみると、現在、希望ともに「9時台」が最も高く、それぞれ44.6%、32.9%となっています。

また、利用終了時間についてみると、現在では「14時台」が28.2%で最も高く、希望では「15時台」が15.7%と最も高くなっています。

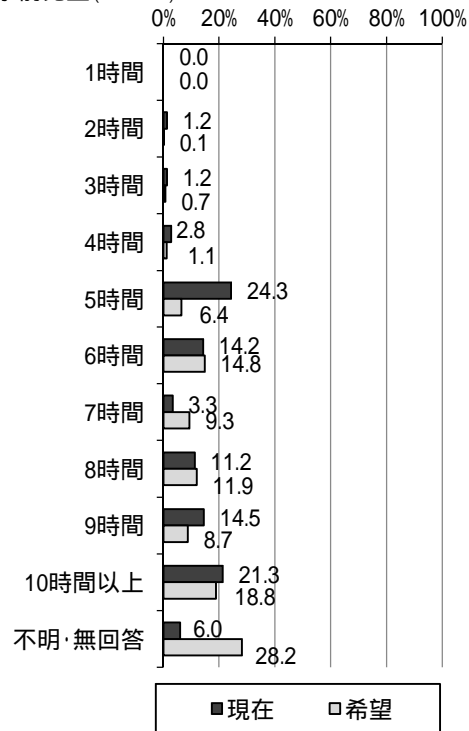
1週あたりの利用日数

就学前児童(N=738)



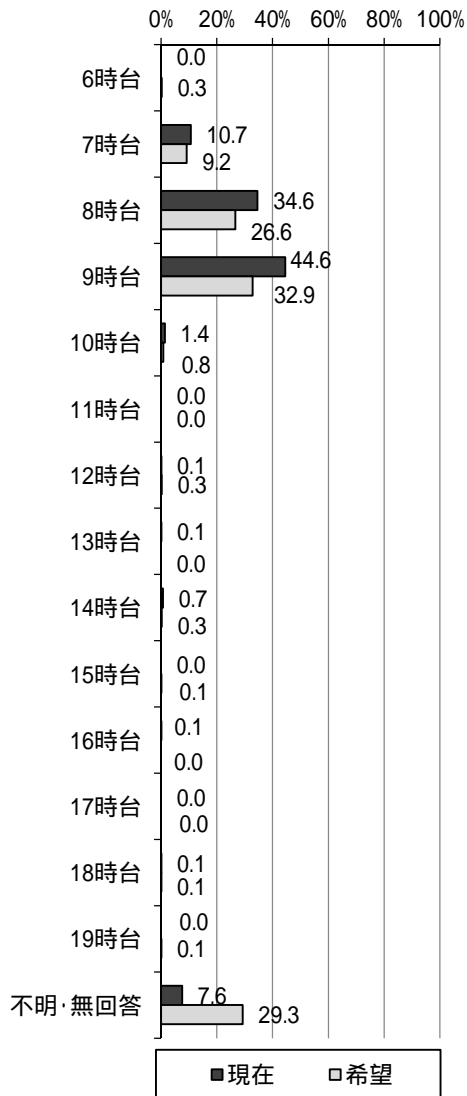
1日あたりの利用時間

就学前児童(N=738)



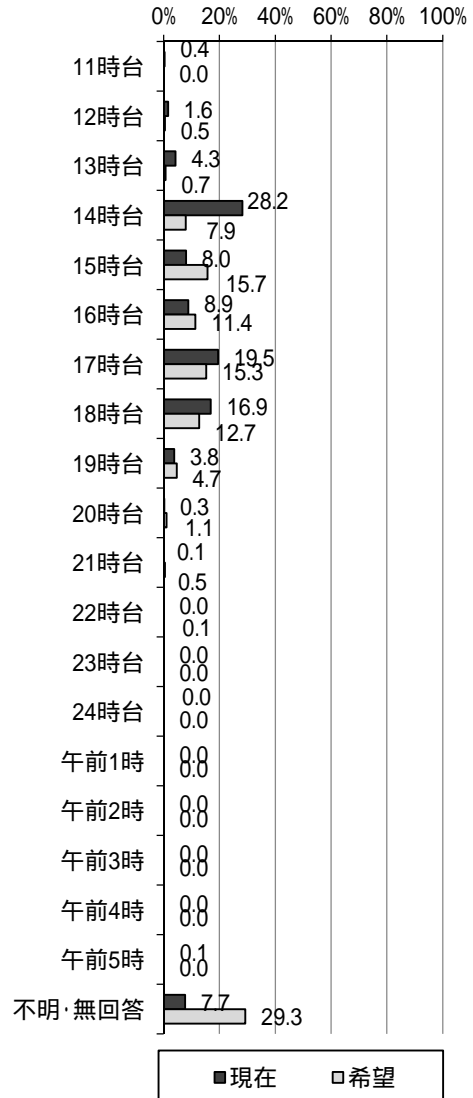
利用開始時間 数量回答

就学前児童(N=738)



利用終了時間 数量回答

就学前児童(N=738)



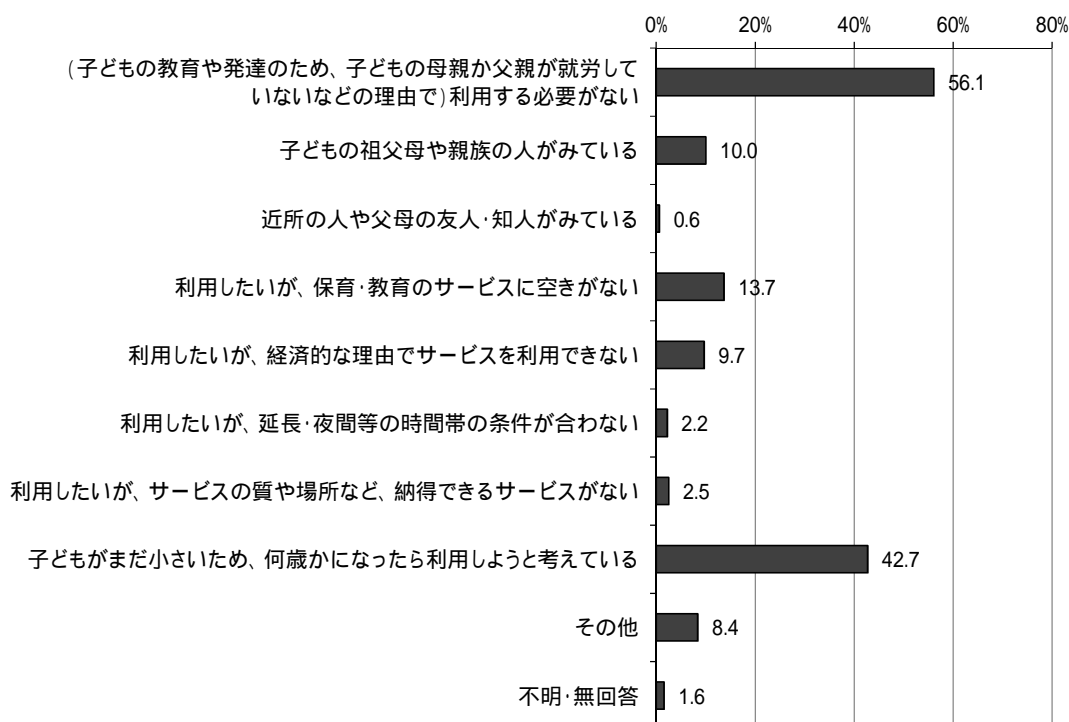
(1)で「利用していない」を選んだ方

(6)利用していない主な理由 複数回答 [就学前児童調査...問4 - 6]

平日に教育・保育サービスを利用していない理由についてみると、「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない」が56.1%で最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため何歳かになったら利用しようと考えている」が42.7%となっています。

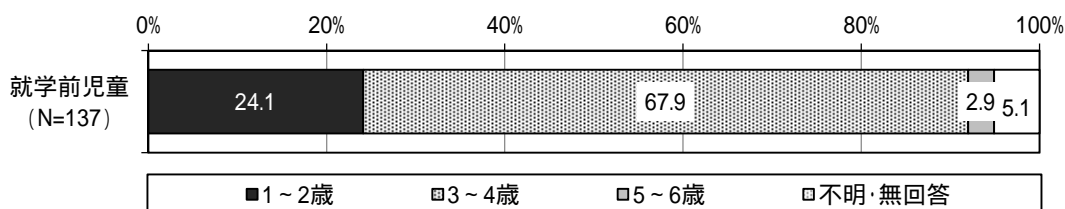
また、子どもが何歳くらいになったら利用しようと考えているかについてみると、「3～4歳」が67.9%と最も高くなっています。

就学前児童(N=321)



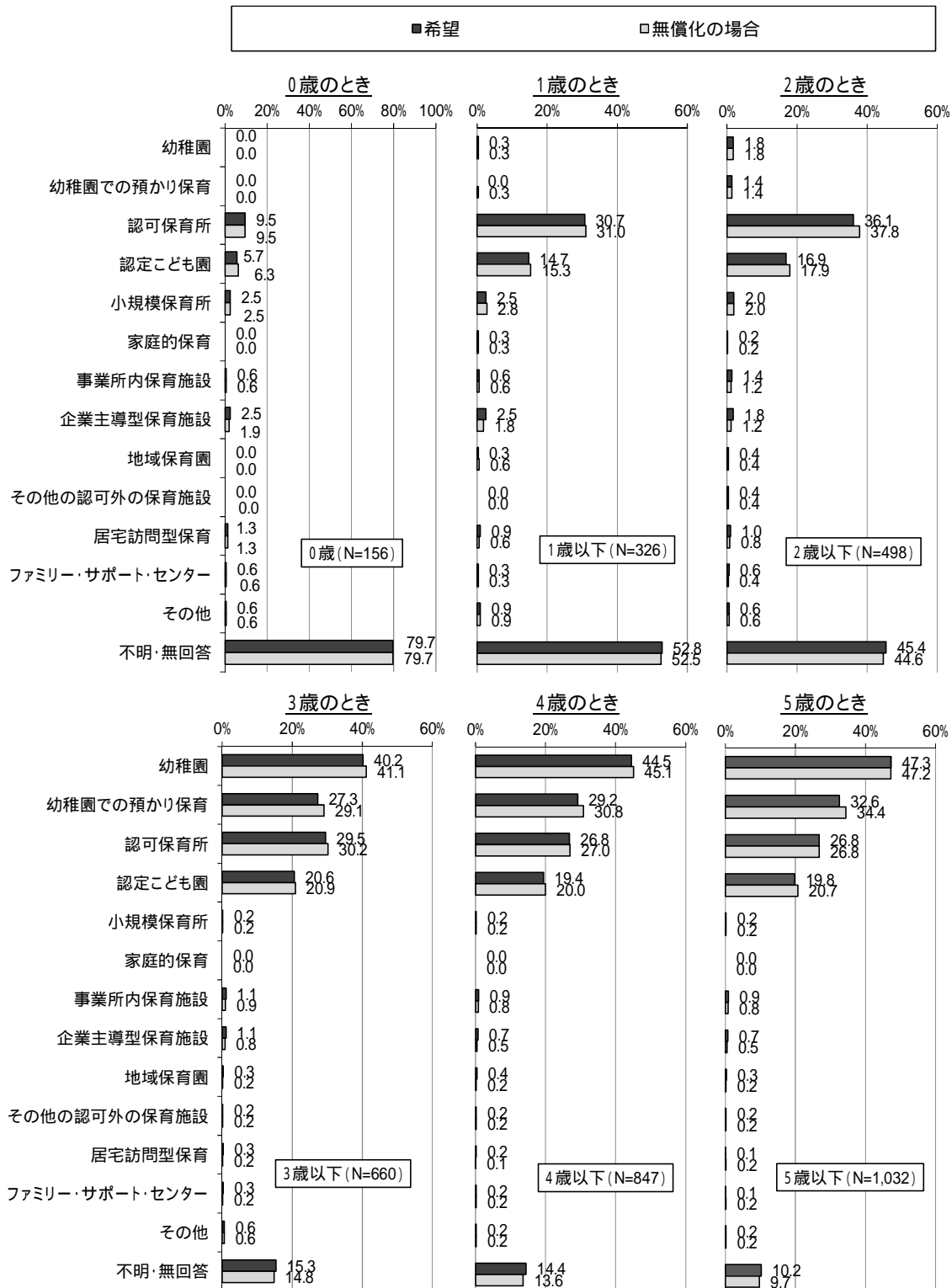
何歳くらいになったら利用しようと考えているか 数量回答

(問4 - 6で「子どもがまだ小さいため」と答えた方)



(7) 定期的に利用したい教育・保育サービス 複数回答 [就学前児童調査...問4-7]

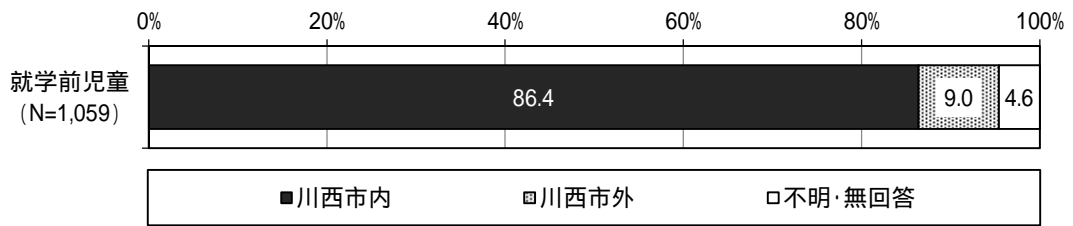
定期的にご利用したい教育・保育サービスを年齢別にみると、「希望」については、0～2歳では「認可保育所」が最も高く、それぞれ9.5%、30.7%、36.1%となっており、3～5歳では「幼稚園」が最も高く、それぞれ40.2%、44.5%、47.3%となっています。無償化の場合の希望についてもおおむね同様の傾向ですが、2歳においては「認可保育所」「認定こども園」、3～5歳においては「幼稚園の預かり保育」が若干高くなっていることがわかります。



「希望」については、無償化の有無にかかわらず、「第1希望」として挙げられた項目です。

(8) 教育・保育サービスを利用したい場所 単数回答 (就学前児童調査...問4 - 8)

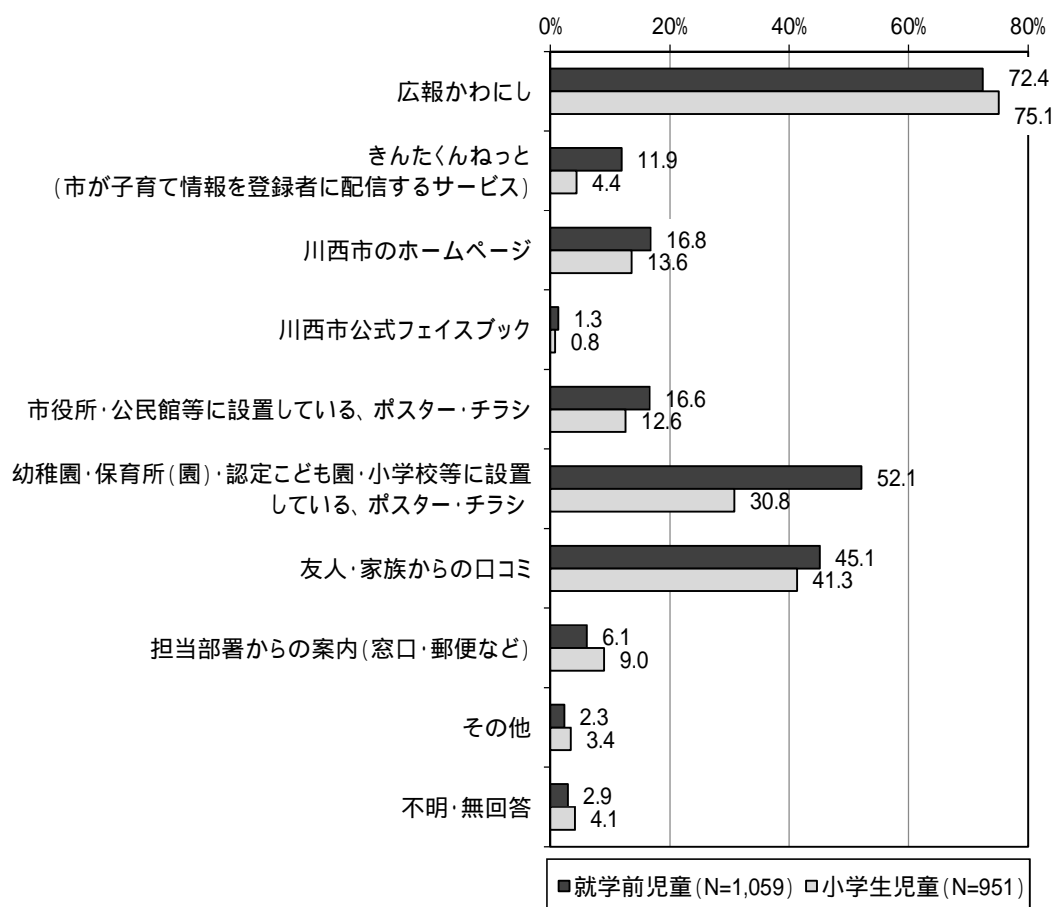
教育・保育サービスを利用したい場所についてみると、「川西市内」が86.4%となっています。



4 地域の子育て支援サービスの利用状況について

(1) 川西市が実施している子育て支援サービスについて、どのような方法で情報を入手しているか 複数回答 (就学前児童調査...問6-1、小学生児童調査...問5-1)

川西市が実施している子育て支援サービスについて、どのような方法で情報を得ているかについてみると、「広報かわにし」が就学前児童で72.4%、小学生児童で75.1%と最も高くなっています。次いで、就学前児童では「幼稚園・保育所(園)・認定こども園・小学校等に設置している、ポスター・チラシ」が52.1%、小学生児童では「友人・家族からの口コミ」が41.3%となっています。

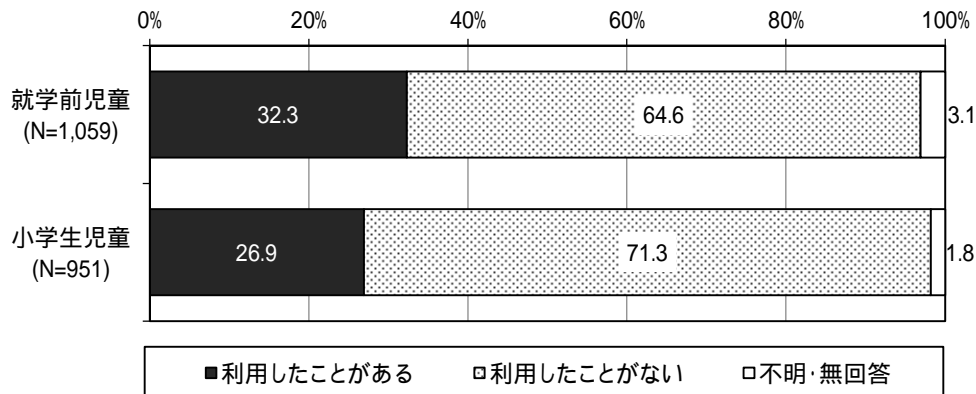


(2) 川西児童館(総合センター)・久代児童センターの利用状況

[就学前児童調査...問6-2A、小学生児童調査...問5-2A]

現在の利用状況 単数回答

川西児童館(総合センター)・久代児童センターの利用状況についてみると、就学前児童、小学生児童ともに「利用したことがない」が高く、それぞれ64.6%、71.3%となっています。

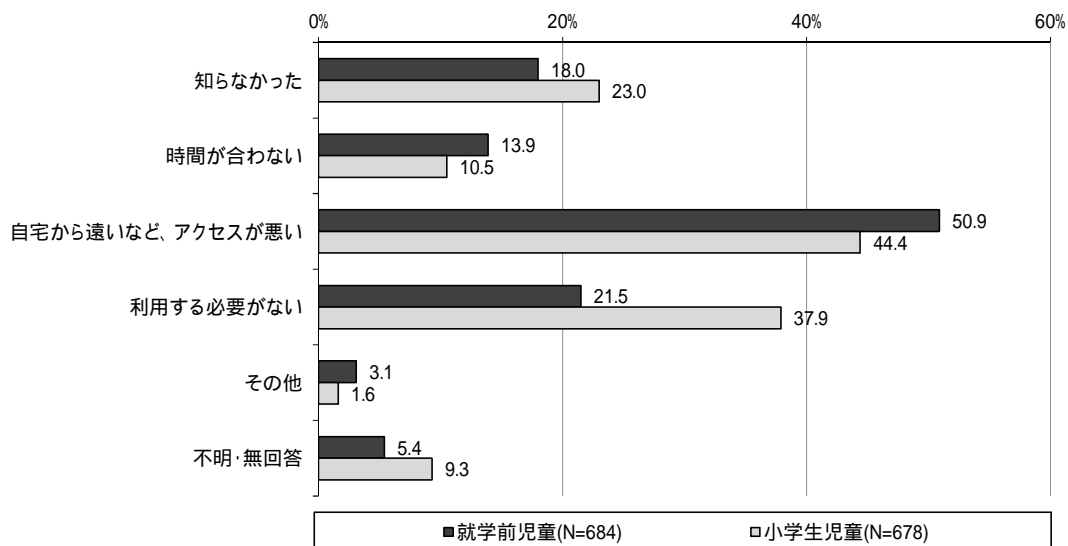


月あたりの利用回数 数量回答 (現在の利用状況で「利用したことがある」と答えた方)

	就学前児童 (N=342)			小学生児童 (N=256)	
	件数	%		件数	%
1回	163	47.7	1回	102	39.8
2回	39	11.4	2回	26	10.2
3回	28	8.2	3回	11	4.3
4回	21	6.1	4回	13	5.1
5回	10	2.9	5回以上	11	4.3
6回	1	0.3	不明・無回答	93	36.3
7回	1	0.3			
8回	1	0.3			
9回	0	0.0			
10回以上	2	0.6			
不明・無回答	76	22.2			

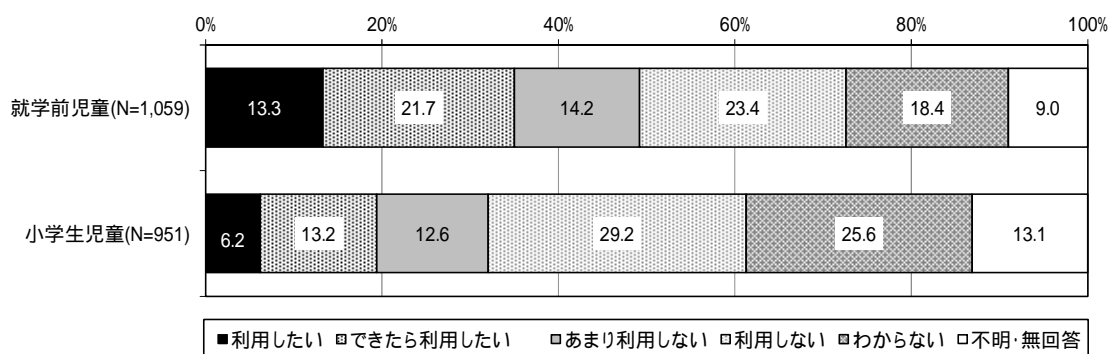
利用したことがない理由 複数回答 (現在の利用状況で「利用したことがない」と答えた方)

川西児童館(総合センター)・久代児童センターの利用したことがない理由についてみると、就学前児童、小学生児童ともに「自宅から遠いなお、アクセスが悪い」がもっとも高く、それぞれ50.9%、44.4%となっています。小学生児童の方が、「知らなかった」「利用する必要がない」と答えた割合が高くなっています。



今後の利用希望 単数回答

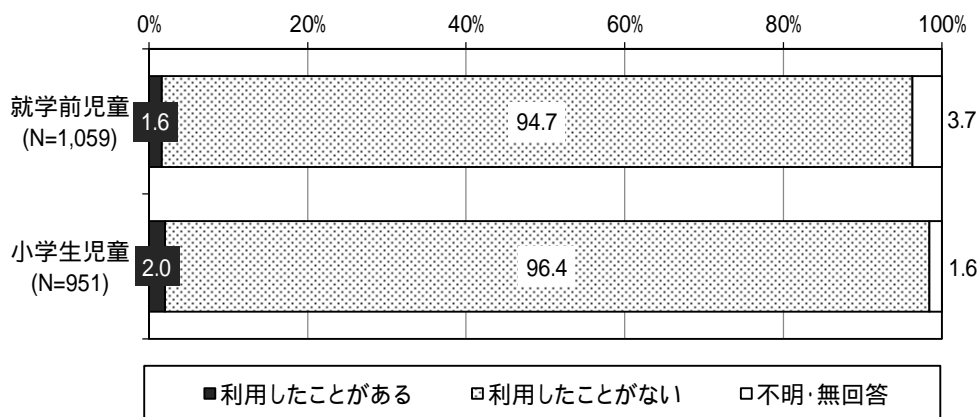
川西児童館(総合センター)・久代児童センターの今後の利用希望についてみると、就学前児童、小学生児童ともに、「利用しない」が最も高くなっています。



(3) 家庭児童相談室の利用状況 [就学前児童調査...問6-2C、小学生児童調査...問5-2B]

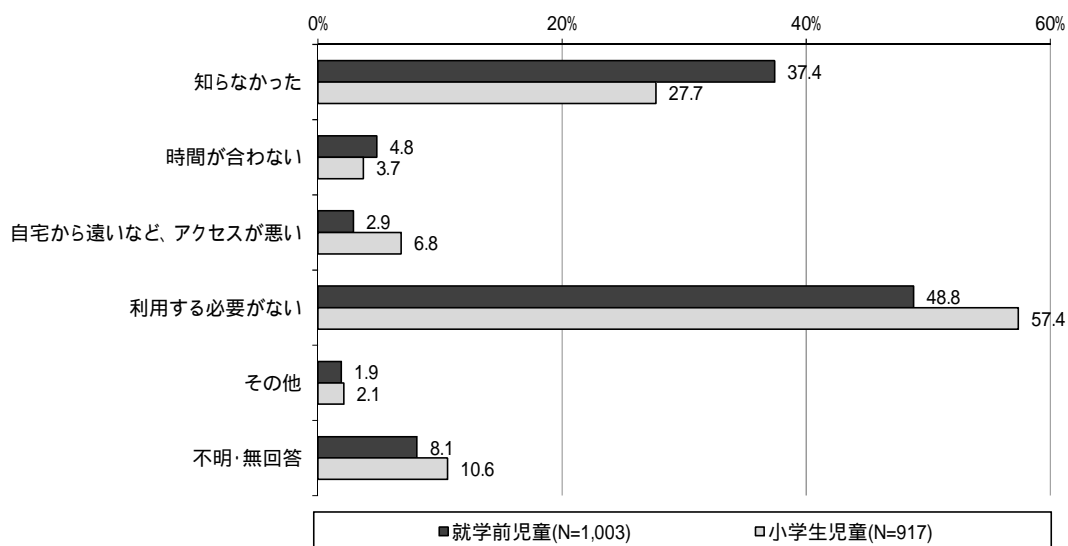
現在の利用状況 単数回答

家庭児童相談室の利用状況についてみると、就学前児童、小学生児童ともに「利用したことがない」が高く、それぞれ94.7%、96.4%となっています。



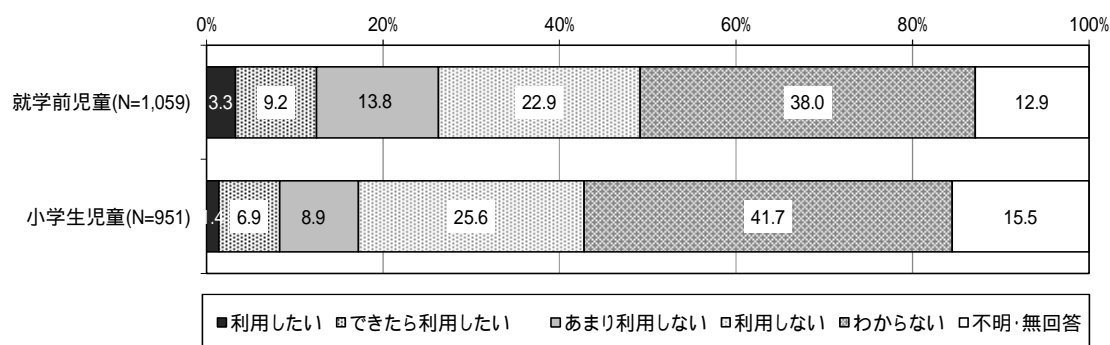
利用したことがない理由 複数回答 (現在の利用状況で「利用したことがない」と答えた方)

家庭児童相談室を利用したことがない理由についてみると、就学前児童、小学生児童ともに「利用する必要がある」がもっとも高く、それぞれ48.8%、57.4%となっています。小学生児童の方が、「利用する必要がある」と答えた割合が高くなっています。



今後の利用希望 単数回答

家庭児童相談室の今後の利用希望についてみると、就学前児童、小学生児童ともに、「わからない」が最も高くなっています。

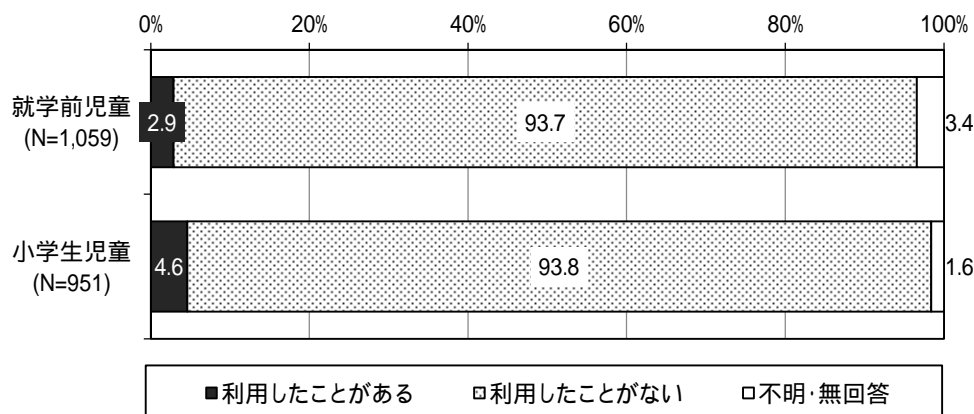


(4) かわにしファミリーサポートセンターの利用状況

(就学前児童調査...問6-2D、小学生児童調査...問5-2C)

現在の利用状況 単数回答

かわにしファミリーサポートセンターの利用状況についてみると、就学前児童、小学生児童ともに「利用したことがある」が高く、それぞれ93.7%、93.8%となっています。

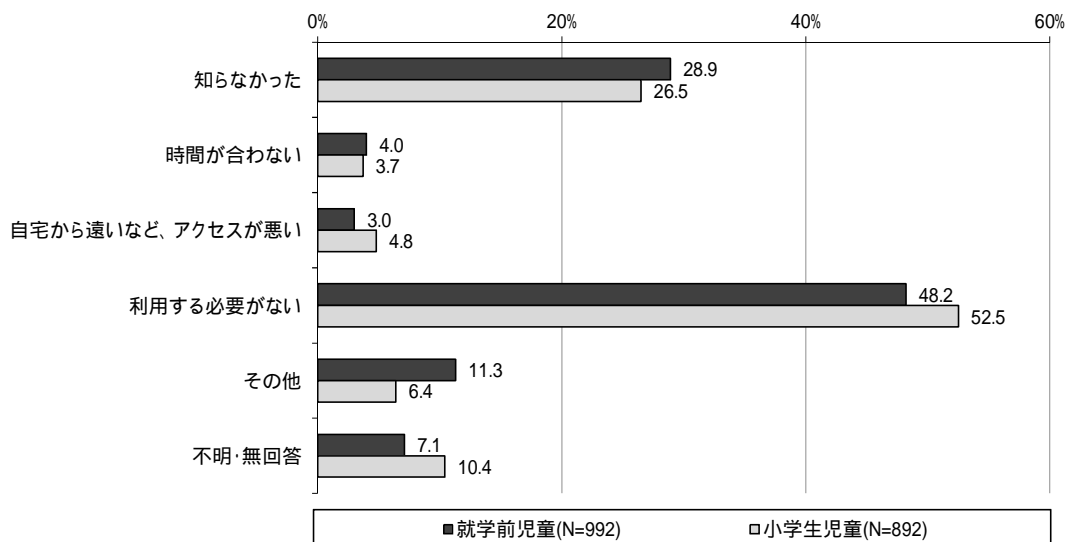


月あたりの利用回数 数量回答 (現在の利用状況で「利用したことがある」と答えた方)

	就学前児童 (N=31)		小学生児童 (N=43)	
	件数	%	件数	%
1回	9	29.0	9	20.5
2回	4	12.9	6	13.6
3回	0	0.0	1	2.3
4回	3	9.7	4	9.1
5回	0	0.0	4	9.1
6回	0	0.0	20	45.5
7回	0	0.0		
8回	0	0.0		
9回	0	0.0		
10回以上	2	6.5		
不明・無回答	13	41.9		

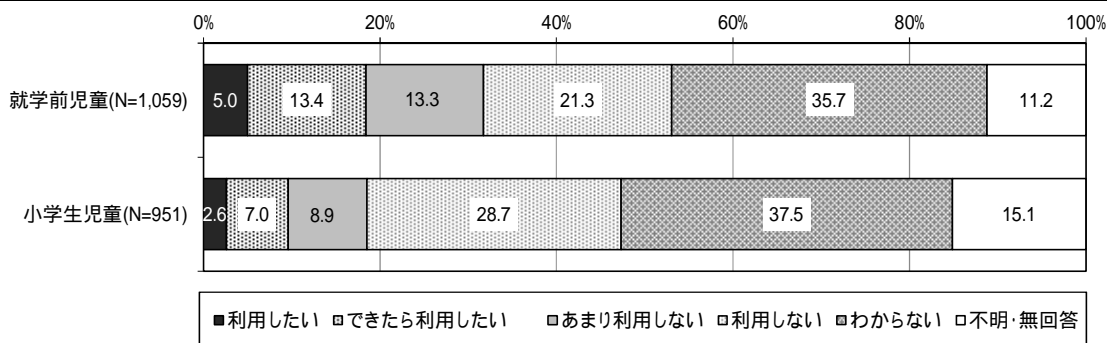
利用したことがない理由 複数回答 (現在の利用状況で「利用したことがない」と答えた方)

かわにしファミリーサポートセンターを利用したことがない理由についてみると、就学前児童、小学生児童ともに「利用する必要がない」がもっとも高く、それぞれ 48.2%、52.5%となっています。小学生児童の方が、「利用する必要がない」と答えた割合が高くなっています。



今後の利用希望 単数回答

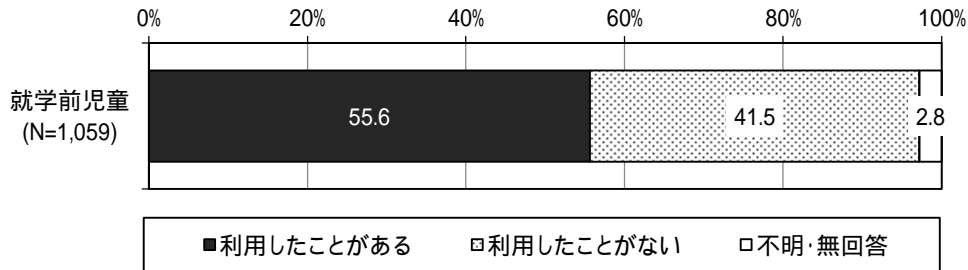
かわにしファミリーサポートセンターの今後の利用希望についてみると、就学前児童、小学生児童ともに、「わからない」が最も高くなっています。小学生児童の方が、「利用しない」と答えた割合が高くなっています。



(5) 地域子育て支援拠点の利用状況 (就学前児童調査...問6-2B)

現在の利用状況 単数回答

地域子育て支援拠点の利用状況についてみると「利用したことがある」が高く、55.6%となっています。

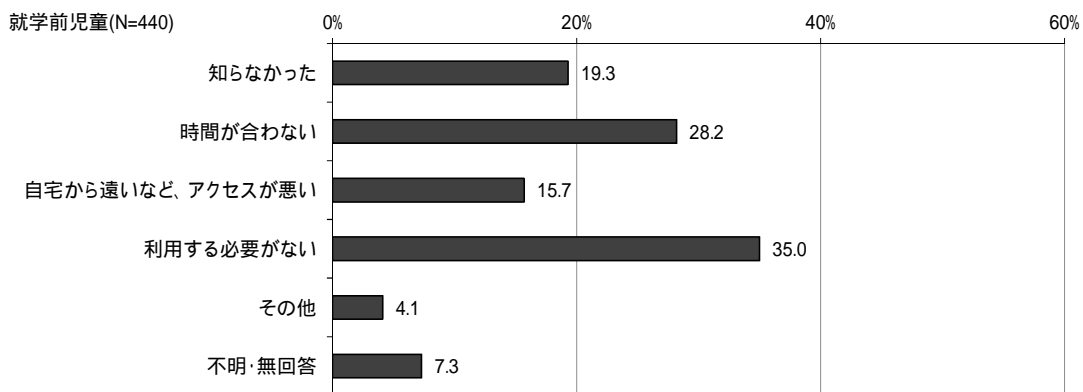


月あたりの利用回数 数量回答 (現在の利用状況で「利用したことがある」と答えた方)

	就学前児童 (N=589)	
	件数	%
1回	257	43.6
2回	86	14.6
3回	33	5.6
4回	48	8.1
5回	13	2.2
6回	8	1.4
7回	0	0.0
8回	14	2.4
9回	1	0.2
10回以上	15	2.5
不明・無回答	589	100.0

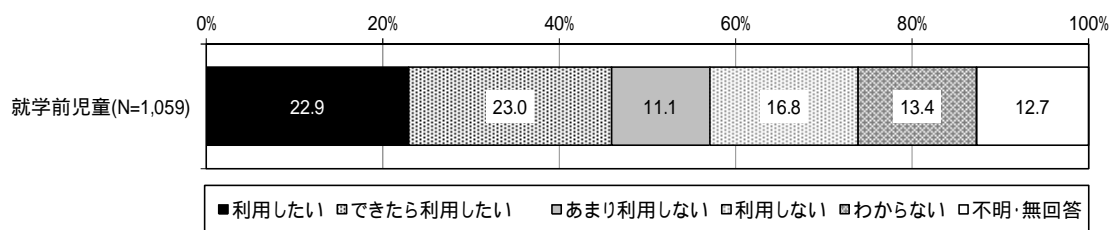
利用したことがない理由 複数回答 (現在の利用状況で「利用したことがない」と答えた方)

地域子育て支援拠点を利用したことがない理由についてみると、「利用する必要がない」がもっとも高く、35.0%となっています。



今後の利用希望 単数回答

地域子育て支援拠点の今後の利用希望についてみると、「利用したい」「できれば利用したい」がそれぞれ高く、合わせて45.9%となっています。



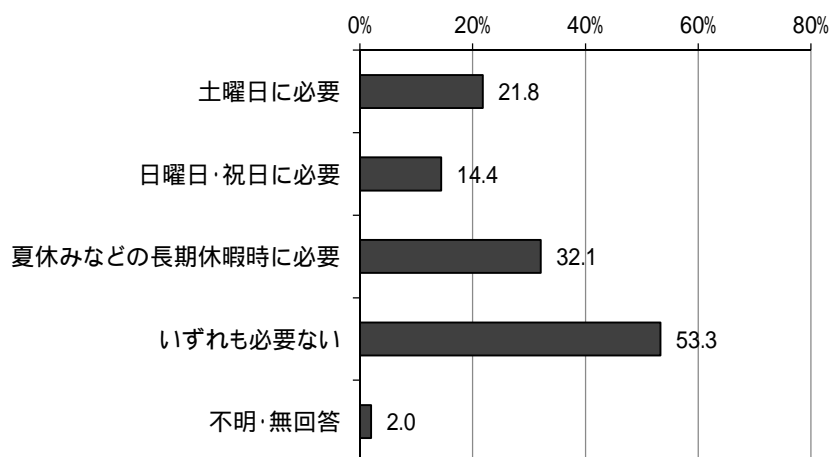
5 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について（就学前児童）

（１）土曜日と日曜日・祝日の教育・保育サービスの利用希望（一時的な利用は除く）

複数回答（就学前児童調査...問7 - 1）

土曜日と日曜日・祝日の教育・保育サービスの利用希望についてみると、「いずれも必要ない」が 53.3%と最も高く、次いで「夏休みなどの長期休暇時に必要」が 32.1%となっています。

就学前児童 (N=1,059)



* 事業の利用には一定の利用者負担が発生する

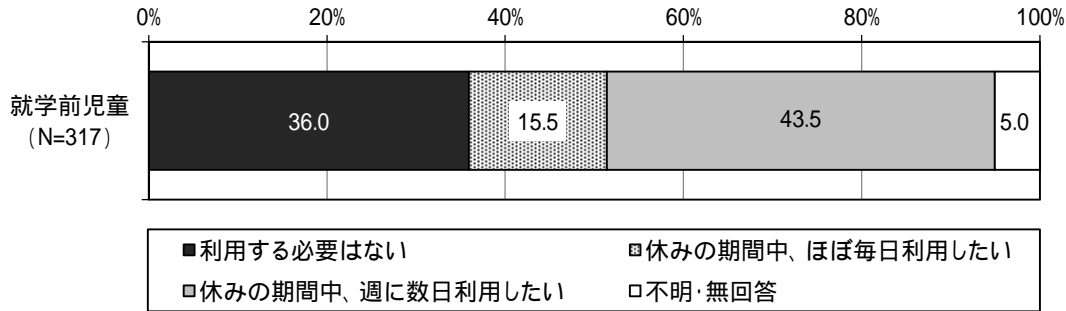
「幼稚園」を利用されている方

(2) 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育サービスの利用希望 単数回答

〔就学前児童調査...問7-2〕

夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育サービスの利用希望についてみると、「休みの期間中、週に数日利用したい」が43.5%となっています。

利用したい方の希望利用時間帯をみると、開始時間では「9時」が47.3%で最も高く、次いで「8時」が32.6%となっています。終了時刻では「17時」が21.6%で最も高く、次いで「15時」、「18時」がともに20.4%となっています。



*事業の利用には一定の利用者負担が発生する

希望する利用時間帯 数量回答 《「ほぼ毎日利用したい」「週に数日利用したい」を選んだ方》

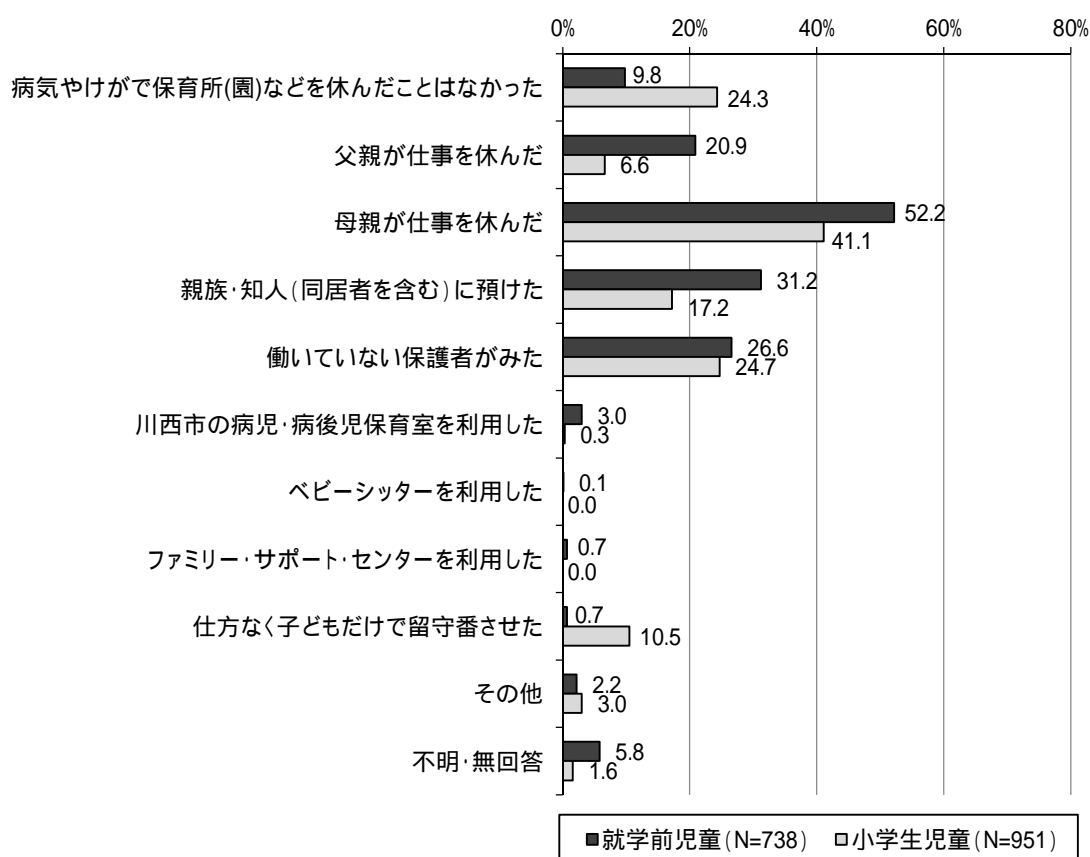
開始時間	就学前児童 (N=328)	
	件数	%
7時	32	9.8
8時	107	32.6
9時	155	47.3
10時	11	3.4
11時	0	0.0
12時	1	0.3
13時	2	0.6
14時	1	0.3
不明・無回答	19	5.8

終了時間	就学前児童 (N=328)	
	件数	%
12時	6	1.8
13時	4	1.2
14時	39	11.9
15時	67	20.4
16時	39	11.9
17時	71	21.6
18時	67	20.4
19時	13	4.0
20時	3	0.9
不明・無回答	19	5.8

6 病気の際の対応について（平日の教育・保育サービスを利用する方のみ）

（１）子どもが病気やけがで普段利用している教育・保育サービスが利用できなかった（小学生は学校を休まなければならなかった）場合の、この１年間の対処方法 複数回答
 （就学前児童調査...問8-1、小学生児童調査...問6-1）

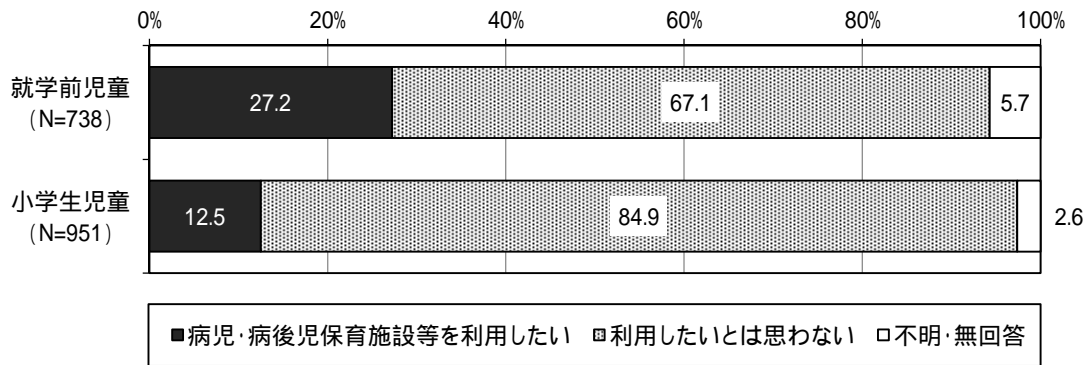
子どもが病気やけがで普段利用している教育・保育サービスが利用できなかった場合の、この１年間に行った対処方法についてみると、「母親が仕事を休んだ」が就学前児童で52.2%、小学生児童で41.1%と最も高くなっています。次いで、就学前児童では「親族・知人（同居者を含む）に預けた」が31.2%、小学生児童では「働いていない保護者がみた」が24.7%となっています。



就学前児童は、平日の定期的な教育・保育サービスを利用している方

(2) 子どもが病気やけがの際の対応として、「川西市の病児・病後児保育室」を利用したいと思うか 単数回答 [就学前児童調査...問8-2、小学生児童調査...問6-2]

川西市の病児・病後児保育室を利用したいと思うかについてみると、「利用したいとは思わない」が就学前児童で67.1%、小学生児童で84.9%と最も高くなっています。「病児・病後児保育施設等を利用したい」を選んだ方のうち、病児・病後児保育施設等を利用したい日数についてみると、就学前児童では「10日以上」、小学生児童では「5日」、「10日以上」が最も高くなっています。



* 病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要

病児・病後児保育施設等の利用希望日数 数量回答

《「病児・病後児保育施設等を利用したい」を選んだ方》

利用したい日数(年間)	就学前児童(N=201)		小学生(N=119)	
	件数	%	件数	%
1日	4	2.0	3	2.5
2日	5	2.5	13	10.9
3日	29	14.4	13	10.9
4日	3	1.5	1	0.8
5日	34	16.9	24	20.2
6日	2	1.0	1	0.8
7日	8	4.0	10	8.4
8日	0	0.0	0	0.0
9日	1	0.5	0	0.0
10日以上	66	32.8	24	20.2
不明・無回答	49	24.4	30	25.2

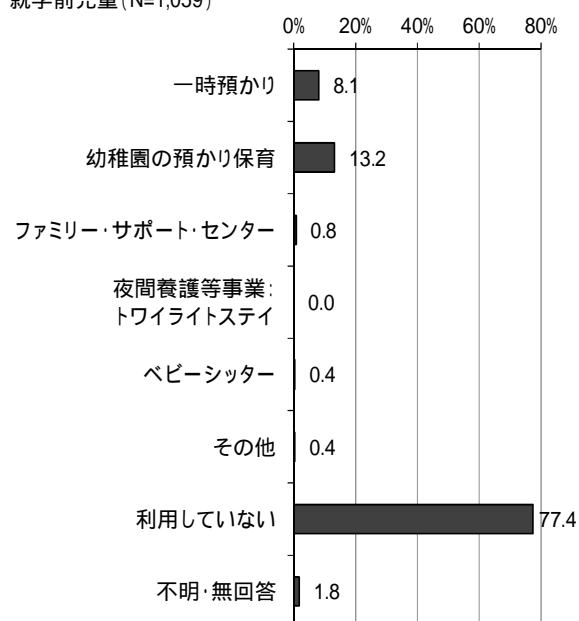
7 不定期の教育・保育サービスや宿泊を伴う一時預かり等の利用について

(1) 日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用しているサービスはあるか 複数回答

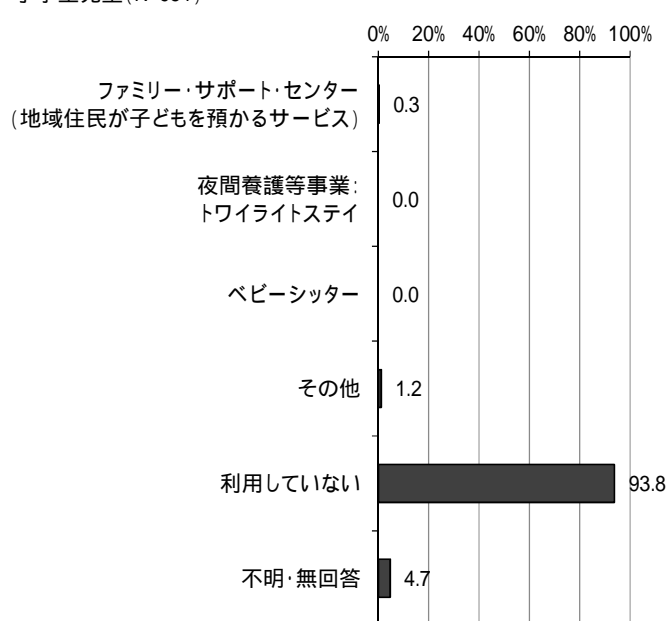
(就学前児童調査...問9-1、小学生児童調査...問7-1)

不定期の教育・保育サービスや宿泊を伴う一時預かり等の利用についてみると、「利用していない」が就学前児童で77.4%、小学生児童で93.8%と高くなっています。就学前児童で利用をしている方の中では、「幼稚園の預かり保育」が最も高く、13.2%となっています。また、就学前児童で利用者している方の1年間の利用日数では、いずれも「10日以上」が最も高くなっています。

就学前児童(N=1,059)

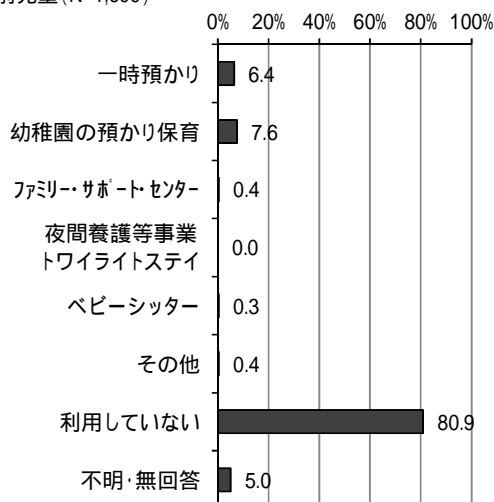


小学生児童(N=951)



【平成25年度調査結果との比較】 就学前児童のみ

就学前児童(N=1,609)



1年間の利用日数 数量回答 《「利用していない」以外を選んだ方》

[就学前児童] 1年間の 利用日数	一時 預 かり (N=86)		り幼 保 稚 育 園 の 預 か (N=140)		セサフ ンポ ア タ ミ ト リ (N=8)		シベ ッ タ ー (N=4)		そ の 他 (N=4)		[小学生児童] 1年間の 利用日数	セサフ ンポ ア タ ミ ト リ (N=3)		そ の 他 (N=11)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%		件数	%	件数	%
	1日	2	2.3	0	0.0	1	12.5	0	0.0	1		25.0	1	33.3	1
2日	1	1.2	1	0.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	9.1	
3日	5	5.8	1	0.7	1	12.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	9.1	
4日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	9.1	
5日	2	2.3	0	0.0	1	12.5	1	25.0	0	0.0	1	33.3	1	9.1	
6日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
7日	0	0.0	0	0.0	1	12.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
8日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
9日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
10日以上	5	5.8	6	4.3	4	50.0	3	75.0	3	75.0	0	0.0	4	36.4	
不明・無回答	71	82.6	132	94.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	33.3	2	18.2	

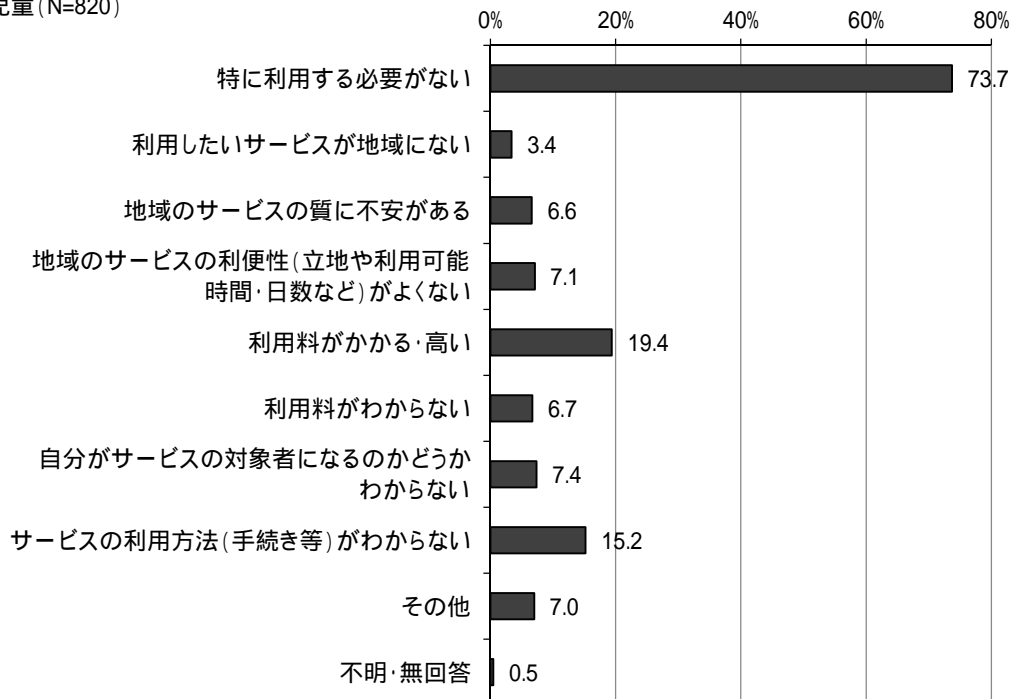
夜間養護等事業：トワライトステイ、小学生児童調査の「ベビーシッター」は回答がありませんでした。

(1)で「利用していない」と答えた方

(2) 現在利用していない理由 複数回答 [就学前児童調査...問9-2]

不定期の教育・保育サービスや宿泊を伴う一時預かり等を利用していない理由をみると、「特に利用する必要がない」が73.7%で最も高く、次いで、「利用料がかかる・高い」が19.4%、「サービスの利用方法(手続き等)がわからない」が15.3%となっています。

就学前児童(N=820)



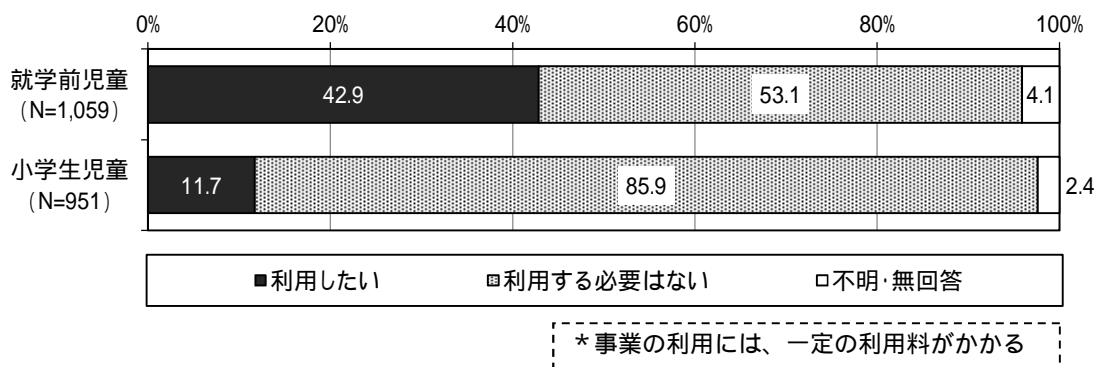
(3) 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、利用する希望があるサービスの有無

単数回答 (就学前児童調査...問9-3、就学児童調査...問7-2)

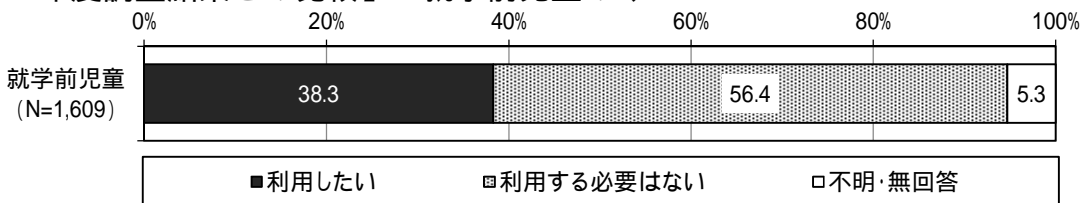
私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、利用する希望があるサービスの有無についてみると、就学前児童では「利用する必要はない」が53.1%、「利用したい」が42.9%となっていますが、小学生児童では「利用する必要はない」が85.9%と就学前児童よりも高くなっています。

「利用したい」を選んだ方の利用したい日数についてみると、「10日以上」が就学前児童で24.9%、小学生児童で52.3%と最も高くなっています。

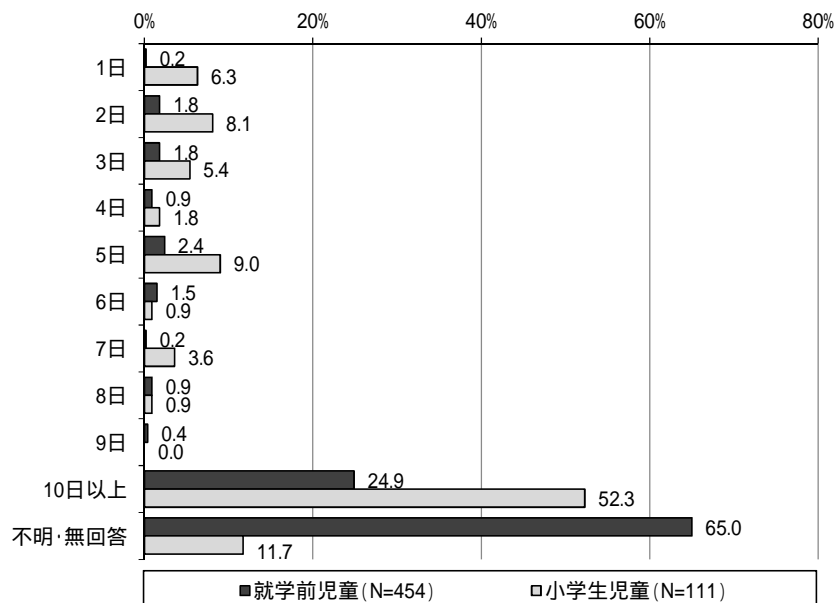
利用したい目的についてみると、就学前児童は「私用、リフレッシュ目的」が72.0%で最も高く、次いで、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など」が61.2%となっており、小学生児童は「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など」が65.8%で最も高く、次いで「私用、リフレッシュ目的」が50.5%となっており、利用したい年間日数についてはいずれも「10日以上」が高くなっています。



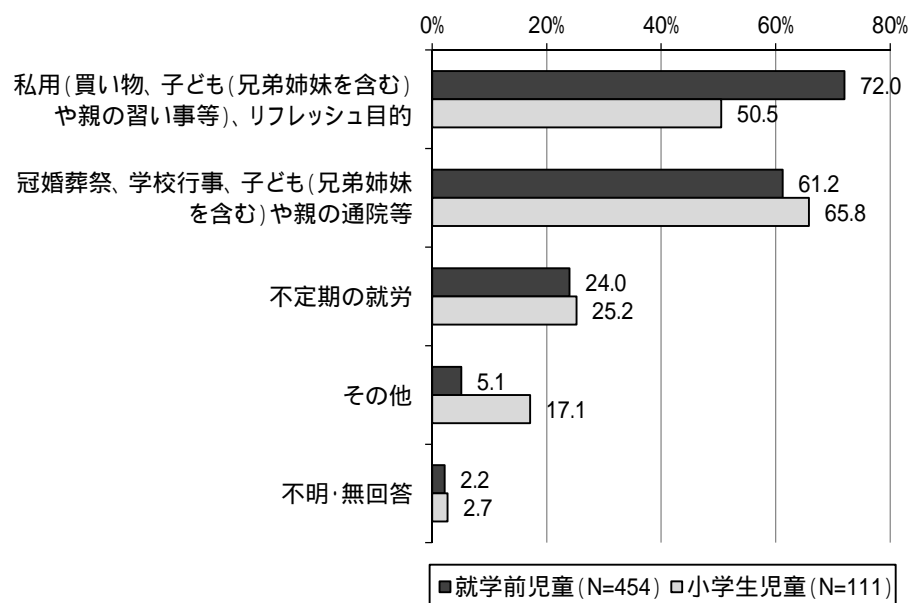
【平成25年度調査結果との比較】 就学前児童のみ



利用希望日数 (年間合計) 《「利用したい」を選んだ方》



利用目的 複数回答 《「利用したい」を選んだ方》



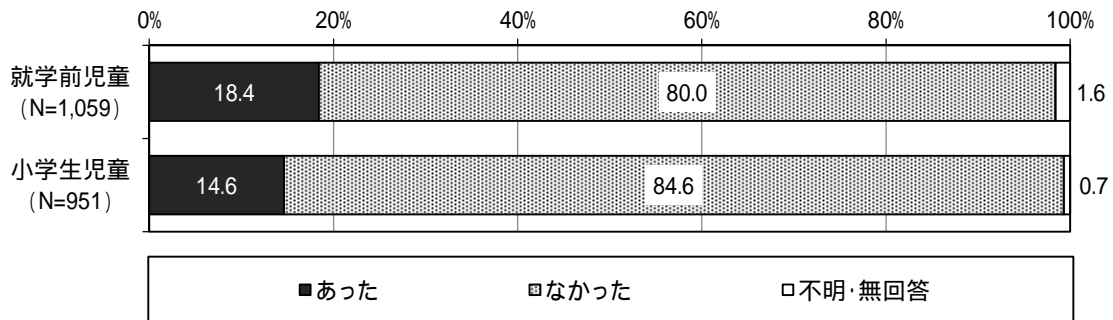
目的別の利用希望日数 数量回答 《「利用したい」を選んだ方》

[就学前児童] 1年間の 利用日数	私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的 (N=327)		冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等 (N=278)		不定期の就労 (N=109)		その他 (N=23)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	1日	10	3.1	13	4.7	3	2.8	2
2日	18	5.5	20	7.2	5	4.6	1	4.3
3日	19	5.8	43	15.5	7	6.4	2	8.7
4日	7	2.1	7	2.5	2	1.8	1	4.3
5日	46	14.1	55	19.8	16	14.7	2	8.7
6日	11	3.4	10	3.6	2	1.8	0	0.0
7日	5	1.5	5	1.8	2	1.8	1	4.3
8日	0	0.0	2	0.7	1	0.9	2	8.7
9日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10日以上	203	62.1	114	41.0	60	55.0	10	43.5
不明・無回答	8	2.4	9	3.2	11	10.1	2	8.7

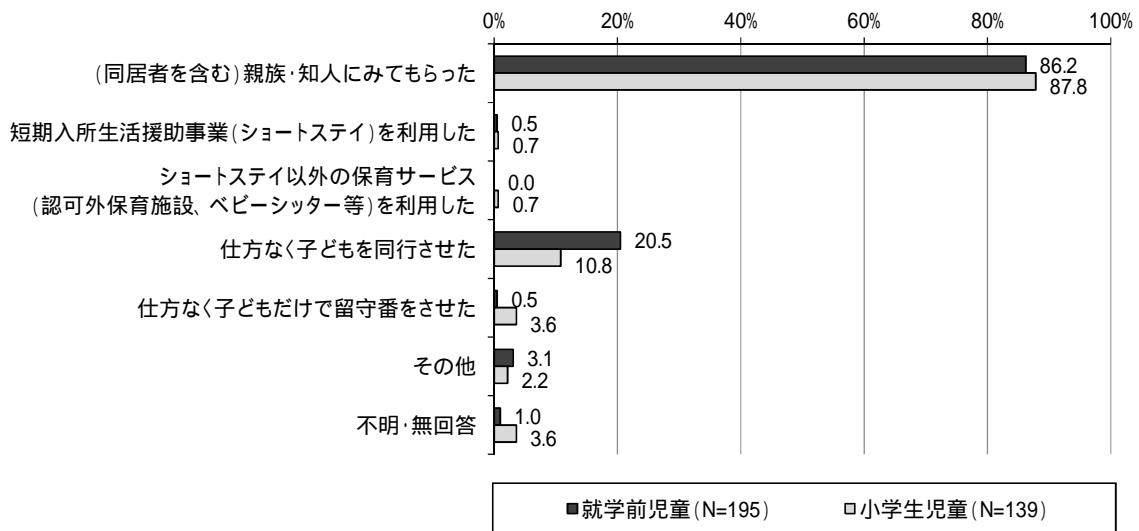
[小学生児童] 1年間の 利用日数	私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的 (N=56)		冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等 (N=73)		不定期の就労 (N=28)		その他 (N=19)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	1日	4	7.1	8	11.0	1	3.6	0
2日	6	10.7	8	11.0	1	3.6	1	5.3
3日	4	7.1	9	12.3	1	3.6	0	0.0
4日	1	1.8	2	2.7	1	3.6	2	10.5
5日	8	14.3	16	21.9	2	7.1	2	10.5
6日	0	0.0	2	2.7	0	0.0	0	0.0
7日	1	1.8	1	1.4	1	3.6	0	0.0
8日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10日以上	29	51.8	23	31.5	18	64.3	8	42.1
不明・無回答	3	5.4	4	5.5	3	10.7	6	31.6

(4) この1年間に、保護者の用事により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験 単数回答 (就学前児童調査...問9-4、小学生児童調査...問7-3)

保護者の用事により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験についてみると、「なかった」が就学前児童で80.0%、小学生児童で84.6%と高く、「あった」は就学前児童で18.4%、小学生児童で14.6%となっています。あった場合の対応としては、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が就学前児童で86.2%、小学生児童で87.8%と最も高く、次いで、「仕方なく子どもを同行させた」が就学前児童で20.5%、小学生児童で10.8%となっています。



1年間の対処方法 複数回答 (「あった」を選んだ方)



それぞれの日数 数量回答 (「あった」を選んだ方)

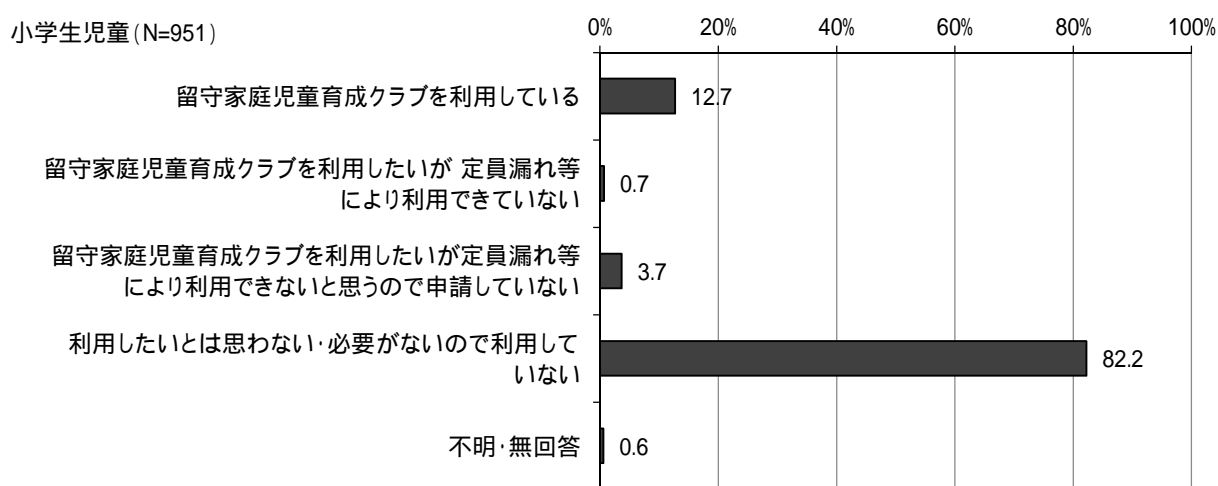
[就学前児童] 1年間の泊数	(同居者を含む)親族・知人にみてもらった (N=168)						短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (N=1)						以外の保育サービス(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した (N=0)						仕方なく子どもを同行させた (N=40)						仕方なく子どもだけで留守番をさせた (N=1)						その他 (N=6)							
	件数		%		件数		%		件数		%		件数		%		件数		%		件数		%		件数		%		件数		%							
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%								
1日	38	22.6	1	100.0	0	0.0	15	37.5	0	0.0	1	16.7	46	37.7	0	0.0	0	0.0	4	26.7	0	0.0	2	66.7	23	18.9	0	0.0	1	100.0	5	33.3	1	20.0	0	0.0		
2日	26	15.5	0	0.0	0	0.0	10	25.0	0	0.0	1	16.7	10	8.2	0	0.0	0	0.0	1	6.7	0	0.0	0	0.0	5	33.3	1	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
3日	15	8.9	0	0.0	0	0.0	5	12.5	0	0.0	1	16.7	5	4.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4日	11	6.5	0	0.0	0	0.0	2	5.0	0	0.0	0	0.0	10	8.2	0	0.0	0	0.0	1	6.7	0	0.0	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
5日	23	13.7	0	0.0	0	0.0	1	2.5	1	100.0	0	0.0	2	1.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
6日	6	3.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	2.5	1	100.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
7日	10	6.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
8日	2	1.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
9日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
10日以上	31	18.5	0	0.0	0	0.0	3	7.5	0	0.0	2	33.3	17	13.9	0	0.0	0	0.0	1	6.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	6	3.6	0	0.0	0	0.0	4	10.0	0	0.0	1	16.7	6	4.9	0	0.0	0	0.0	3	20.0	3	60.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		

8 小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 留守家庭児童育成クラブの利用の有無 単数回答 [小学生児童調査...問8-1]

留守家庭児童育成クラブの利用の有無についてみると、「利用したいとは思わない・必要がないので利用していない」が82.2%と最も高く、次いで、「留守家庭児童育成クラブを利用している」が12.7%となっています。

留守家庭児童育成クラブの週の利用日数は「5日」が49.6%と最も高く、次いで、「4日」が25.6%となっています。利用時間は下校時から「17時台」までが70.2%と最も高くなっています。



留守家庭児童育成クラブの利用日数・時間 数量回答

(「留守家庭児童育成クラブを利用している」を選んだ方)

利用日数

【小学生児童】 利用日数	留守家庭児童育成クラブ (N=121)	
	件数	%
1日	2	1.7
2日	5	4.1
3日	16	13.2
4日	31	25.6
5日	60	49.6
6日	4	3.3
7日	0	0.0
不明・無回答	3	2.5

利用時間

【小学生児童】 利用時間	留守家庭児童育成クラブ (N=121)	
	件数	%
16時台	9	7.4
17時台	85	70.2
18時台	23	19.0
不明・無回答	4	3.3

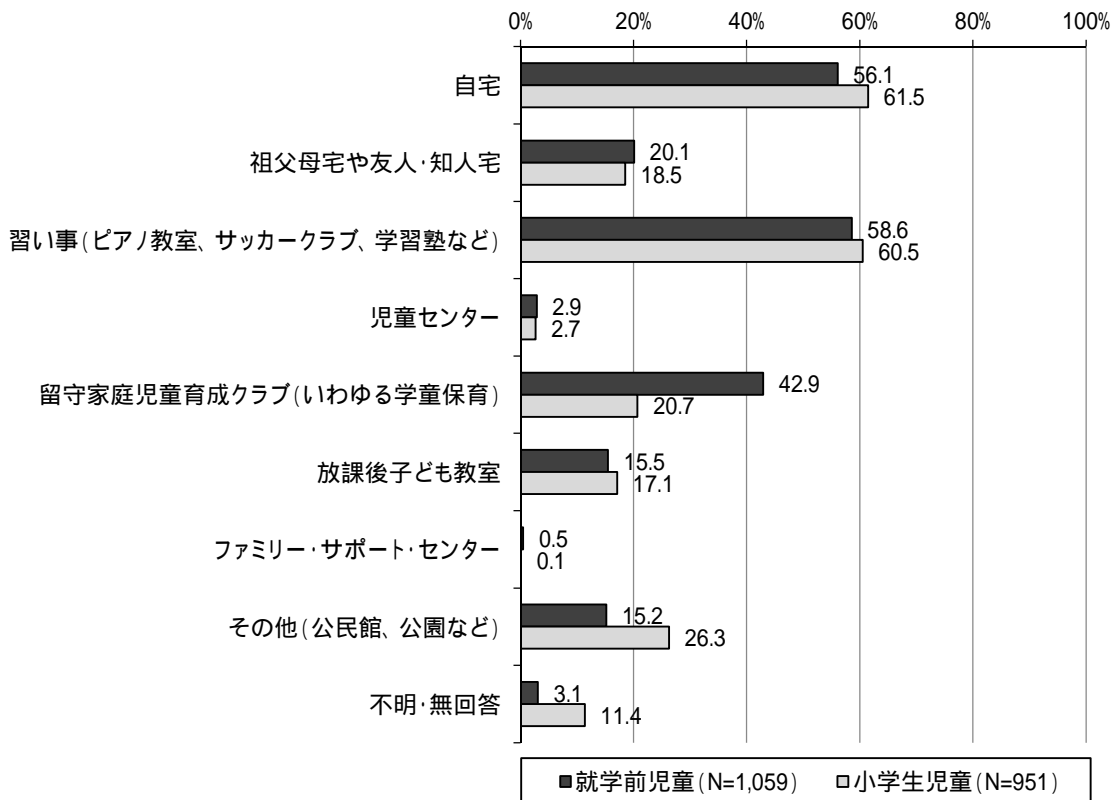
(2) 放課後の時間は子どもをどのような場所で過ごさせたいか 複数回答

[就学前児童調査...問10-1~10-2、小学生児童調査...問8-2~8-3]

小学校低学年(1~3年生)

小学校低学年の子どもを放課後の時間に過ごさせたい場所についてみると、就学前児童は、「習い事」(58.6%)、「自宅」(56.1%)、「留守家庭児童育成クラブ(いわゆる学童保育)」(42.9%)が高くなっています。小学生児童は、「自宅」(61.5%)、「習い事」(60.5%)、「その他(公民館、公園など)」(26.3%)が高くなっています。

過ごさせたい場所 複数回答



週あたりの利用希望日数 数量回答

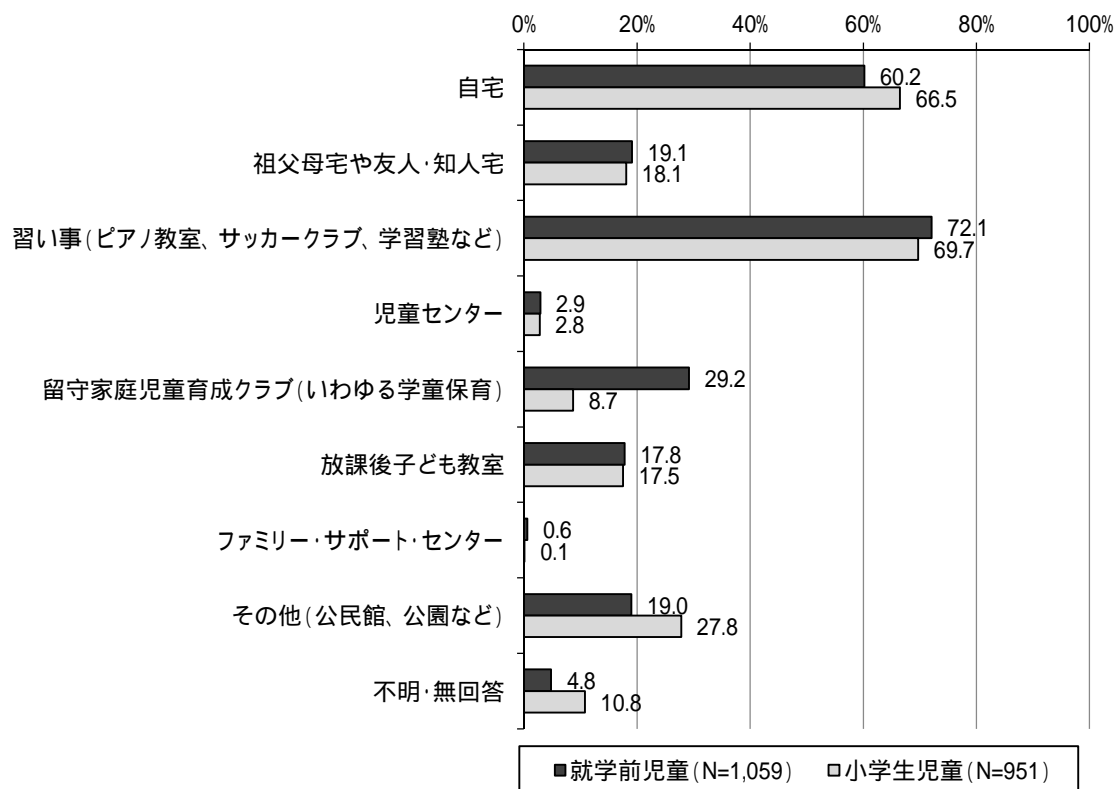
【就学前児童】 1～3年生のときの週あたりの利用希望日数	自宅 (N=594)		友人・母 知宅 人宅 (N=213)		学習塾 （ピ サ ッ ） (N=621)		児童 セ ン タ ー (N=31)		童（育 保い成 育わク ）ゆる るブ 学学 童		子放 ど課 も後 教室 (N=164)		セサフ ンポ タート ミ リ ー (N=5)		そ の 他 (N=161)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	1日	78	13.1	91	42.7	190	30.6	12	38.7	14	3.1	57	34.8	1	20.0	30
2日	131	22.1	60	28.2	291	46.9	5	16.1	41	9.0	38	23.2	0	0.0	56	34.8
3日	163	27.4	25	11.7	97	15.6	1	3.2	71	15.6	10	6.1	1	20.0	38	23.6
4日	64	10.8	3	1.4	18	2.9	1	3.2	51	11.2	7	4.3	1	20.0	9	5.6
5日	95	16.0	15	7.0	5	0.8	9	29.0	239	52.6	42	25.6	2	40.0	17	10.6
6日	7	1.2	1	0.5	0	0.0	0	0.0	26	5.7	2	1.2	0	0.0	0	0.0
7日	11	1.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	45	7.6	18	8.5	20	3.2	3	9.7	11	2.4	8	4.9	0	0.0	11	6.8

【小学生児童】 1～3年生のときの週あたりの利用希望日数	自宅 (N=585)		友人・母 知宅 人宅 (N=176)		学習塾 （ピ サ ッ ） (N=575)		児童 セ ン タ ー (N=26)		童（育 保い成 育わク ）ゆる るブ 学学 童		子放 ど課 も後 教室 (N=163)		セサフ ンポ タート ミ リ ー (N=1)		そ の 他 (N=250)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	1日	84	14.4	83	47.2	126	21.9	11	42.3	7	3.6	78	47.9	0	0.0	47
2日	146	25.0	50	28.4	274	47.7	11	42.3	20	10.2	48	29.4	0	0.0	78	31.2
3日	135	23.1	18	10.2	119	20.7	0	0.0	46	23.4	12	7.4	0	0.0	69	27.6
4日	63	10.8	2	1.1	24	4.2	1	3.8	30	15.2	3	1.8	0	0.0	18	7.2
5日	104	17.8	9	5.1	11	1.9	2	7.7	88	44.7	12	7.4	1	100.0	12	4.8
6日	5	0.9	1	0.6	0	0.0	0	0.0	2	1.0	0	0.0	0	0.0	2	0.8
7日	16	2.7	1	0.6	0	0.0	0	0.0	1	0.5	0	0.0	0	0.0	5	2.0
不明・無回答	32	5.5	12	6.8	21	3.7	1	3.8	3	1.5	10	6.1	0	0.0	19	7.6

小学校高学年（４～６年生）

小学校高学年の子どもを放課後の時間に過ごさせたい場所についてみると、就学前児童、小学生児童ともに、「習い事」が最も高く、それぞれ72.1%、69.7%となっており、次いで、「自宅」が60.2%、66.5%となっています。

過ごさせたい場所 複数回答



週あたりの利用希望日数 数量回答

【就学前児童】 4～6年生のときの週あたりの利用希望日数	自宅 (N=637)		友人・知人宅 (N=202)		学習塾等 (N=764)		児童センター (N=31)		児童（保育） (N=309)		留守家庭 (N=188)		ファミリー (N=6)		その他 (N=201)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	1日	116	18.2	74	36.6	103	13.5	12	38.7	8	2.6	65	34.6	1	16.7	44
2日	178	27.9	54	26.7	341	44.6	3	9.7	53	17.2	47	25.0	0	0.0	76	37.8
3日	139	21.8	36	17.8	223	29.2	4	12.9	69	22.3	24	12.8	1	16.7	30	14.9
4日	48	7.5	6	3.0	50	6.5	0	0.0	26	8.4	6	3.2	0	0.0	20	10.0
5日	93	14.6	19	9.4	21	2.7	8	25.8	121	39.2	36	19.1	3	50.0	16	8.0
6日	5	0.8	0	0.0	1	0.1	0	0.0	17	5.5	2	1.1	0	0.0	0	0.0
7日	9	1.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	49	7.7	13	6.4	25	3.3	4	12.9	14	4.5	8	4.3	1	16.7	15	7.5

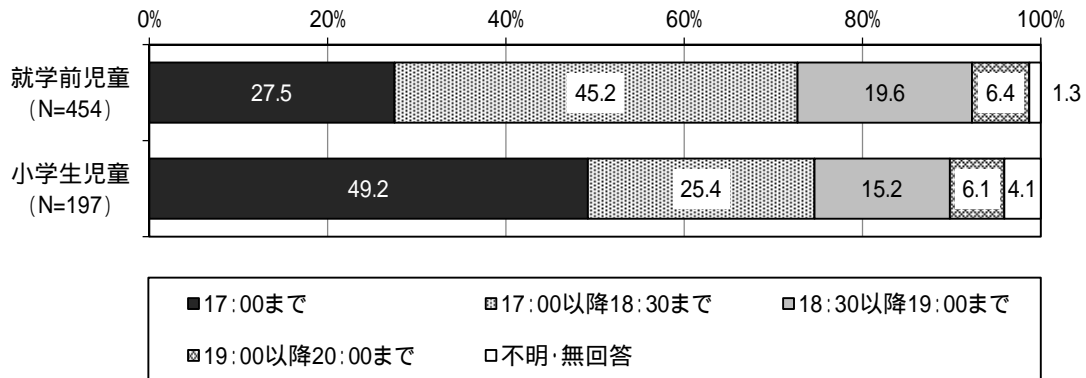
【小学生児童】 4～6年生のときの週あたりの利用希望日数	自宅 (N=632)		友人・知人宅 (N=172)		学習塾等 (N=663)		児童センター (N=27)		児童（保育） (N=83)		留守家庭 (N=166)		ファミリー (N=1)		その他 (N=264)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	1日	107	16.9	70	40.7	90	13.6	14	51.9	2	2.4	69	41.6	0	0.0	65
2日	177	28.0	60	34.9	261	39.4	8	29.6	14	16.9	66	39.8	0	0.0	92	34.8
3日	134	21.2	13	7.6	211	31.8	1	3.7	24	28.9	18	10.8	0	0.0	50	18.9
4日	55	8.7	6	3.5	53	8.0	1	3.7	8	9.6	1	0.6	0	0.0	25	9.5
5日	100	15.8	11	6.4	22	3.3	1	3.7	31	37.3	6	3.6	1	100.0	14	5.3
6日	9	1.4	0	0.0	2	0.3	0	0.0	2	2.4	0	0.0	0	0.0	3	1.1
7日	16	2.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.8
不明・無回答	34	5.4	12	7.0	24	3.6	2	7.4	2	2.4	6	3.6	0	0.0	13	4.9

(2)で「留守家庭児童育成クラブ」と答えた方

(3)留守家庭児童育成クラブの利用希望時間(下校時から何時まで) <単数回答>

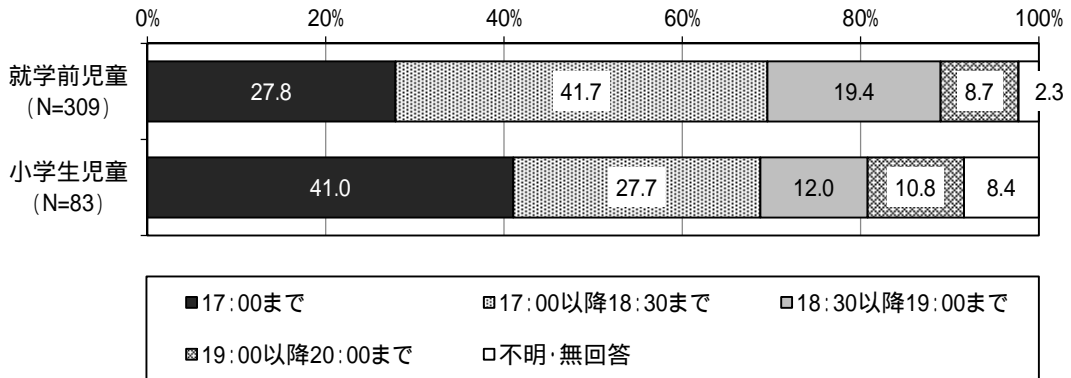
小学校低学年(1~3年生)

小学校低学年の留守家庭児童育成クラブの利用希望時間についてみると、就学前児童では「17:00以降18:30まで」が45.2%と最も高く、次いで、「17:00まで」が27.5%となっています。小学生児童では「17:00まで」が49.2%と最も高く、次いで、「17:00以降18:30まで」が25.4%となっています。



小学校高学年(4~6年生)

小学校高学年の留守家庭児童育成クラブの利用希望時間についてみると、就学前児童では「17:00以降18:30まで」が41.7%と最も高く、次いで、「17:00まで」が27.8%となっています。小学生児童では「17:00まで」が41.0%と最も高く、次いで、「17:00以降18:30まで」が27.7%となっています。



(2)で「留守家庭児童育成クラブ」と答えた方

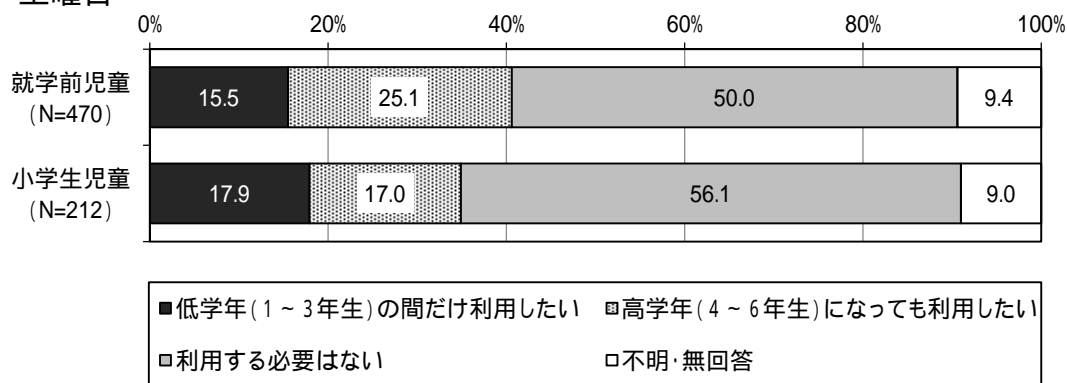
(4)土曜日と日曜日・祝日、長期の休みの留守家庭児童育成クラブの利用希望 単数回答

(就学前児童調査...問10-3、小学生児童調査...問8-4)

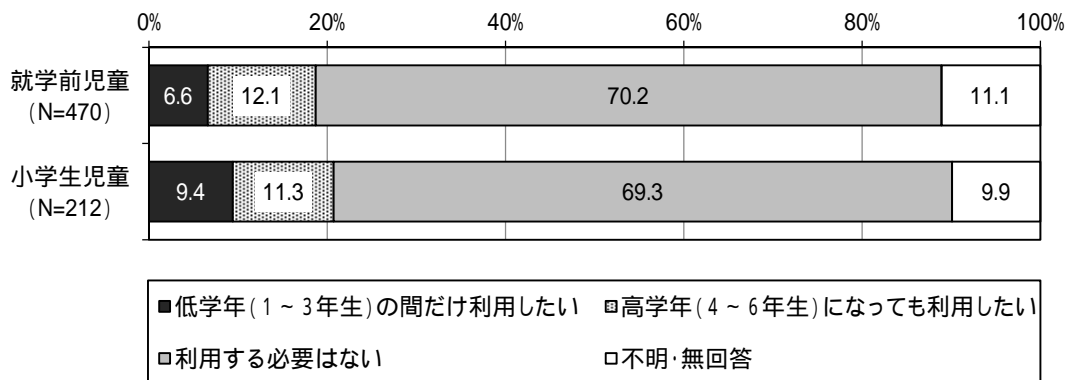
小学校での放課後の過ごし方として、「留守家庭児童育成クラブ(いわゆる学童保育)」を選んだ方のうち、土曜日、日曜日・祝日、長期の休み(夏・冬休み等)の利用希望についてみると、長期の休み(夏・冬休み等)の利用を希望する割合が高く、就学前児童では「低学年の間だけ利用したい」(21.3%)、「高学年になっても利用したい」(69.4%)を合わせて90.7%、小学生児童では「低学年の間だけ利用したい」(34.0%)、「高学年になっても利用したい」(49.5%)を合わせて83.5%となっています。

また土曜日は、就学前児童の保護者で利用を希望する割合が高くなっています。

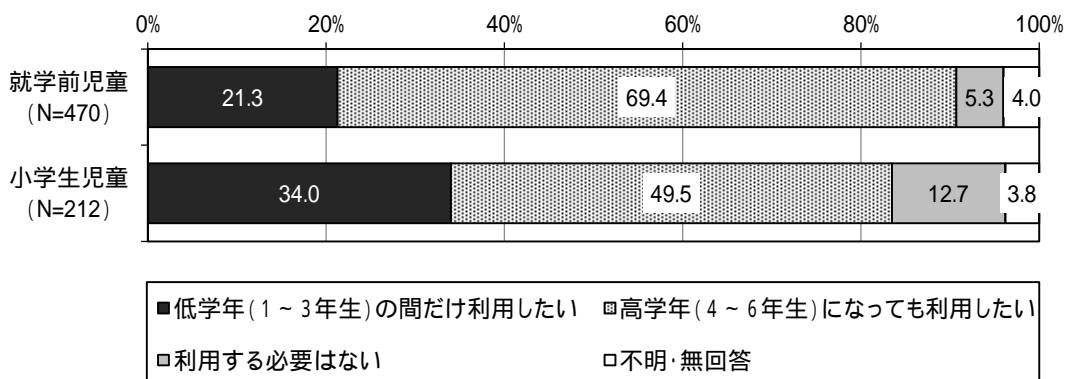
土曜日



日曜日・祝日



長期の休み(夏・冬休み等)



希望する利用時間帯<数量回答>

【就学前児童】 開始時間	土曜日		日曜日・祝日		長期の休み (夏・冬休み 等)	
	(N=191)		(N=88)		(N=427)	
	件数	%	件数	%	件数	%
7時台	33	17.3	14	15.9	78	18.3
8時台	108	56.5	53	60.2	255	59.7
9時台	36	18.8	13	14.8	76	17.8
10時台	1	0.5	1	1.1	2	0.5
11時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
12時台	0	0.0	2	2.3	2	0.5
13時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
14時台	1	0.5	0	0.0	1	0.2
15時台	2	1.0	1	1.1	1	0.2
16時台	0	0.0	0	0.0	1	0.2
17時台	3	1.6	1	1.1	2	0.5
不明・無回答	7	3.7	3	3.4	9	2.1

【就学前児童】 終了時間	土曜日		日曜日・祝日		長期の休み (夏・冬休み 等)	
	(N=191)		(N=88)		(N=427)	
	件数	%	件数	%	件数	%
12時台	3	1.6	0	0.0	1	0.2
13時台	2	1.0	0	0.0	0	0.0
14時台	2	1.0	0	0.0	0	0.0
15時台	5	2.6	3	3.4	7	1.6
16時台	1	0.5	0	0.0	4	0.9
17時台	49	25.7	21	23.9	162	37.9
18時台	91	47.6	39	44.3	155	36.3
19時台	24	12.6	17	19.3	76	17.8
20時台	10	5.2	6	6.8	15	3.5
21時台	1	0.5	1	1.1	0	0.0
不明・無回答	3	1.6	1	1.1	7	1.6

【小学生児童】 開始時間	土曜日		日曜日・祝日		長期の休み (夏・冬休み 等)	
	(N=74)		(N=44)		(N=177)	
	件数	%	件数	%	件数	%
7時台	11	14.9	6	13.6	24	13.6
8時台	46	62.2	26	59.1	119	67.2
9時台	14	18.9	9	20.5	28	15.8
10時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
11時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
12時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
13時台	0	0.0	1	2.3	0	0.0
14時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
16時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
17時台	0	0.0	0	0.0	1	0.6
不明・無回答	3	4.1	2	4.5	5	2.8

【小学生児童】 終了時間	土曜日		日曜日・祝日		長期の休み (夏・冬休み 等)	
	(N=74)		(N=44)		(N=177)	
	件数	%	件数	%	件数	%
12時台	1	1.4	1	2.3	0	0.0
13時台	1	1.4	0	0.0	0	0.0
14時台	0	0.0	0	0.0	2	1.1
15時台	6	8.1	3	6.8	1	0.6
16時台	2	2.7	1	2.3	6	3.4
17時台	29	39.2	15	34.1	89	50.3
18時台	17	23.0	10	22.7	39	22.0
19時台	11	14.9	8	18.2	24	13.6
20時台	2	2.7	2	4.5	8	4.5
21時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
22時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
23時台	1	1.4	1	2.3	1	0.6
24時台	1	1.4	1	2.3	1	0.6
25時台(AM1時)	0	0.0	0	0.0	1	0.6
不明・無回答	3	4.1	2	4.5	5	2.8

9 保護者の就労状況について

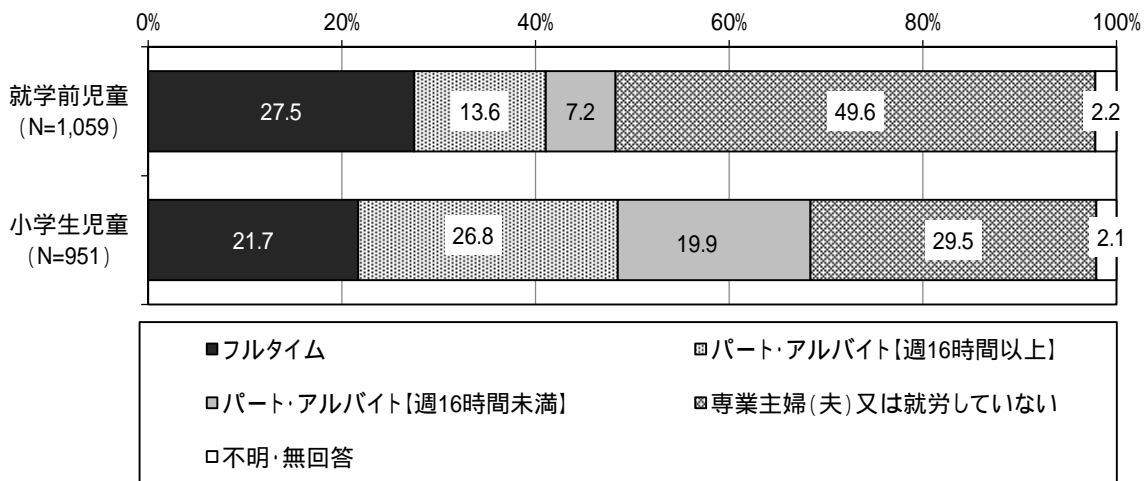
(1) 保護者の就労状況 単数回答 [就学前児童調査...問5-1、小学生児童調査...問4-1]

保護者の現在の就労状況についてみると、母親は「専業主婦又は就労していない」が就学前児童で49.6%、小学生児童で29.5%と高くなっています。

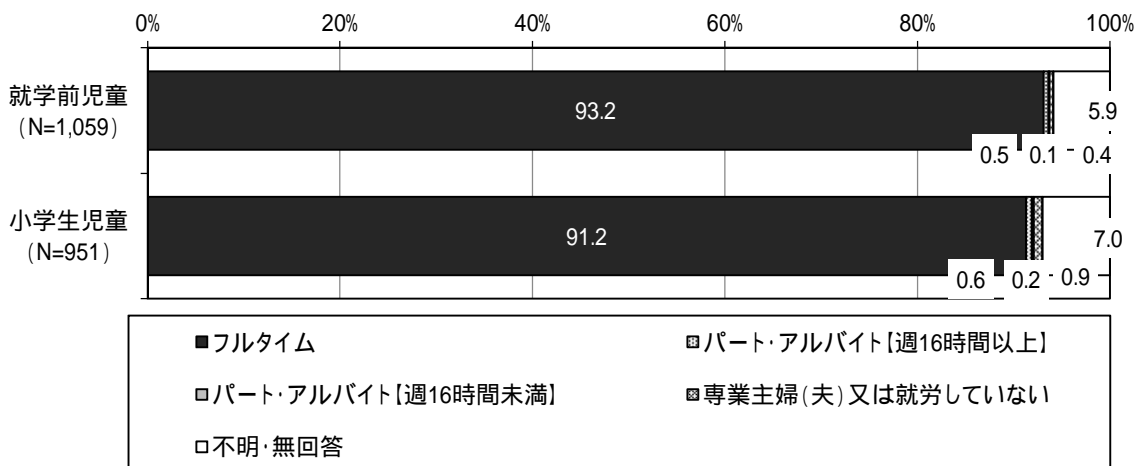
父親は「フルタイム」が就学前児童で93.2%、小学生児童で91.2%とともに高くなっています。

現在の就労状況 単数回答

母親



父親

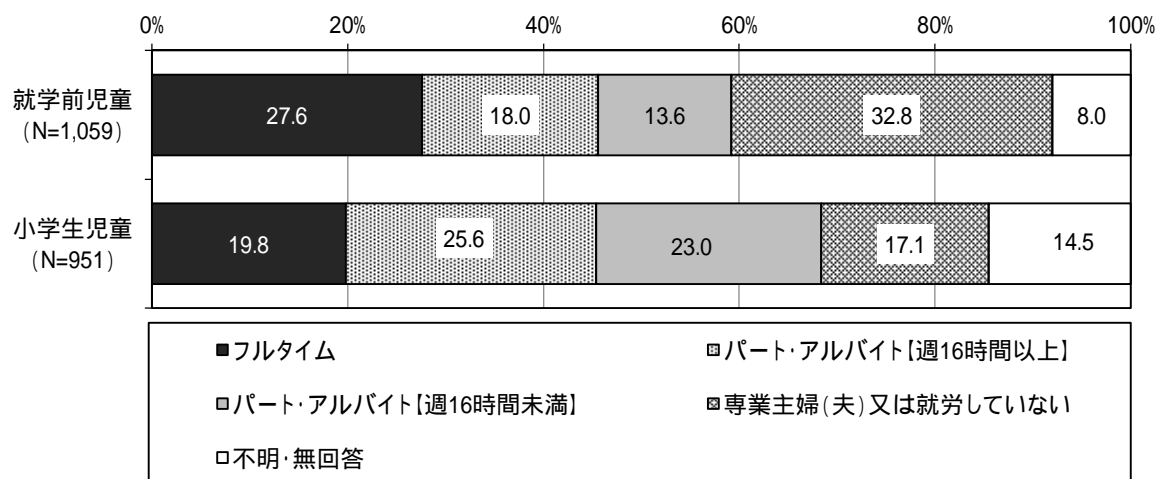


1年以内の就労希望 単数回答

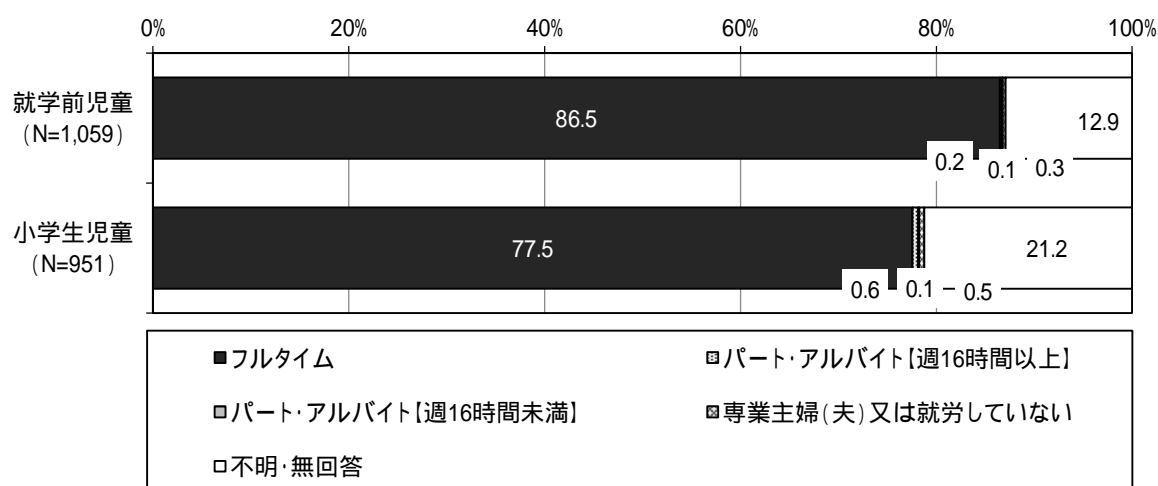
今後1年以内の就労希望についてみると、母親は就学前児童で「専業主婦又は就労していない」が32.8%、「フルタイム」が27.6%で高く、小学生児童で「パート・アルバイト【週16時間以上】」が25.6%、「パート・アルバイト【週16時間未満】」が23.0%で高くなっています。

父親は「フルタイム」が就学前児童で86.5%、小学生児童で77.5%と最も高くなっています。

母親



父親



(1)の「1年以内の就労の希望」で「専業主婦(夫)又は就業していない」を選んだ方

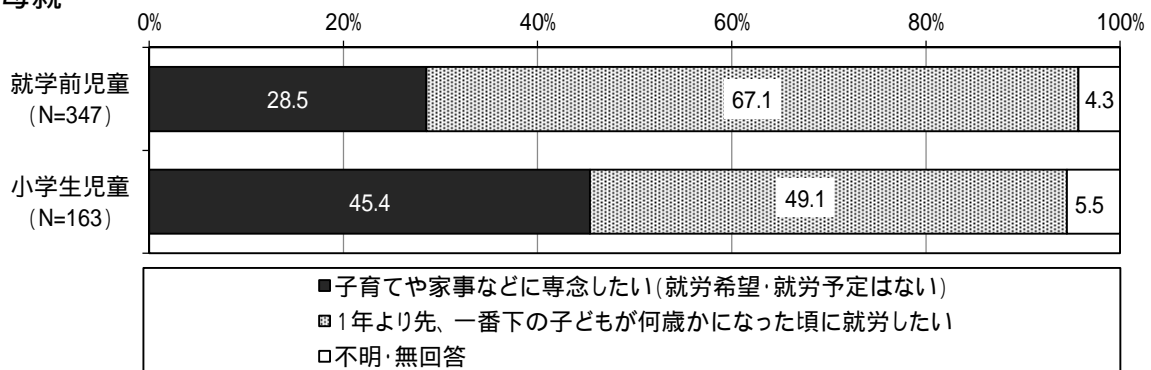
(2) 就労していない方の1年より先の就労希望 単数回答

(就学前児童調査...問5-2、小学生児童調査...問4-2)

1年より先の就労希望の有無についてみると、母親は「1年より先、一番下の子どもが何歳かになった頃に就労したい」が就学前児童で67.1%、小学生児童で49.1%とそれぞれ最も高くなっています。

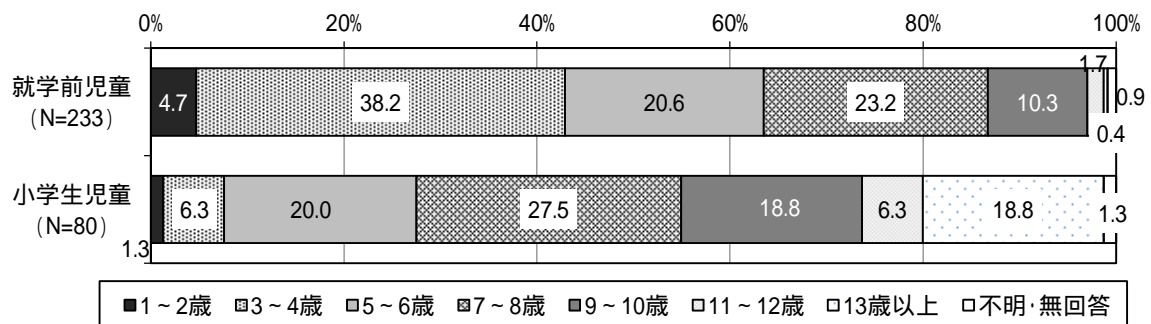
一番下の子どもが何歳になれば就労したいかについてみると、就学前児童は「3～4歳」が38.2%と最も高く、小学生児童では「7～8歳」が27.5%と最も高くなっています。

母親

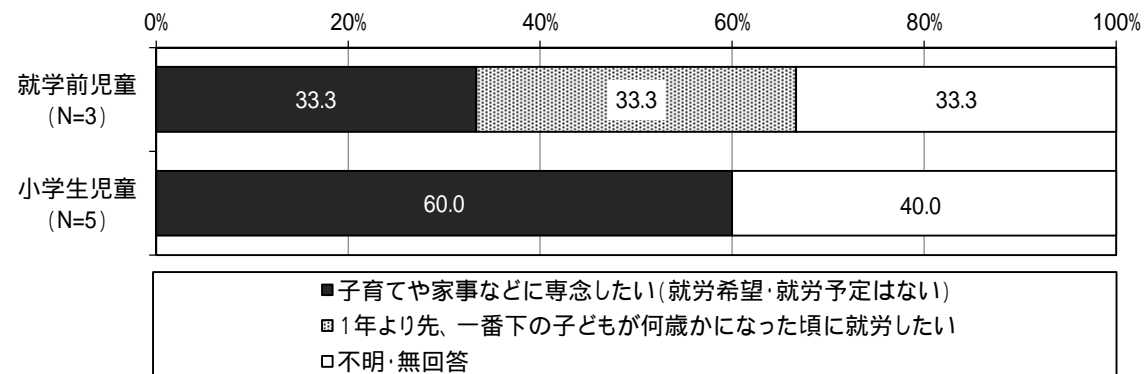


一番下の子どもが何歳になれば就労したいか<数量回答>

(「一番下の子どもが何歳かになった頃に就労したい」を選んだ方)



父親



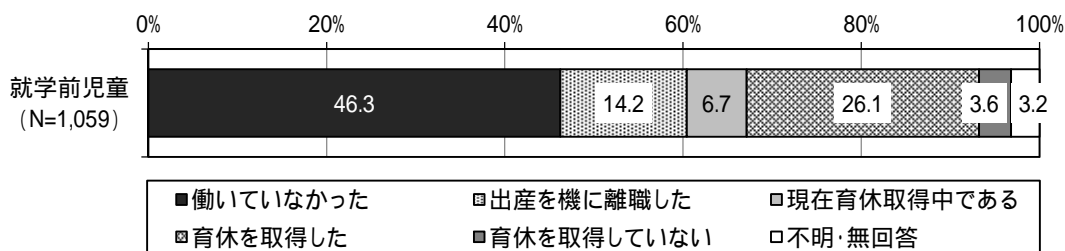
10 仕事と子育ての両立支援について（就学前児童）

（1）育児休業の取得状況 単数回答 [就学前児童調査...問 12-1]

子どもが生まれたときの育児休業の取得状況についてみると、母親は「働いていなかった」が46.3%と最も高く、次いで、「育休を取得した」が26.1%となっています。

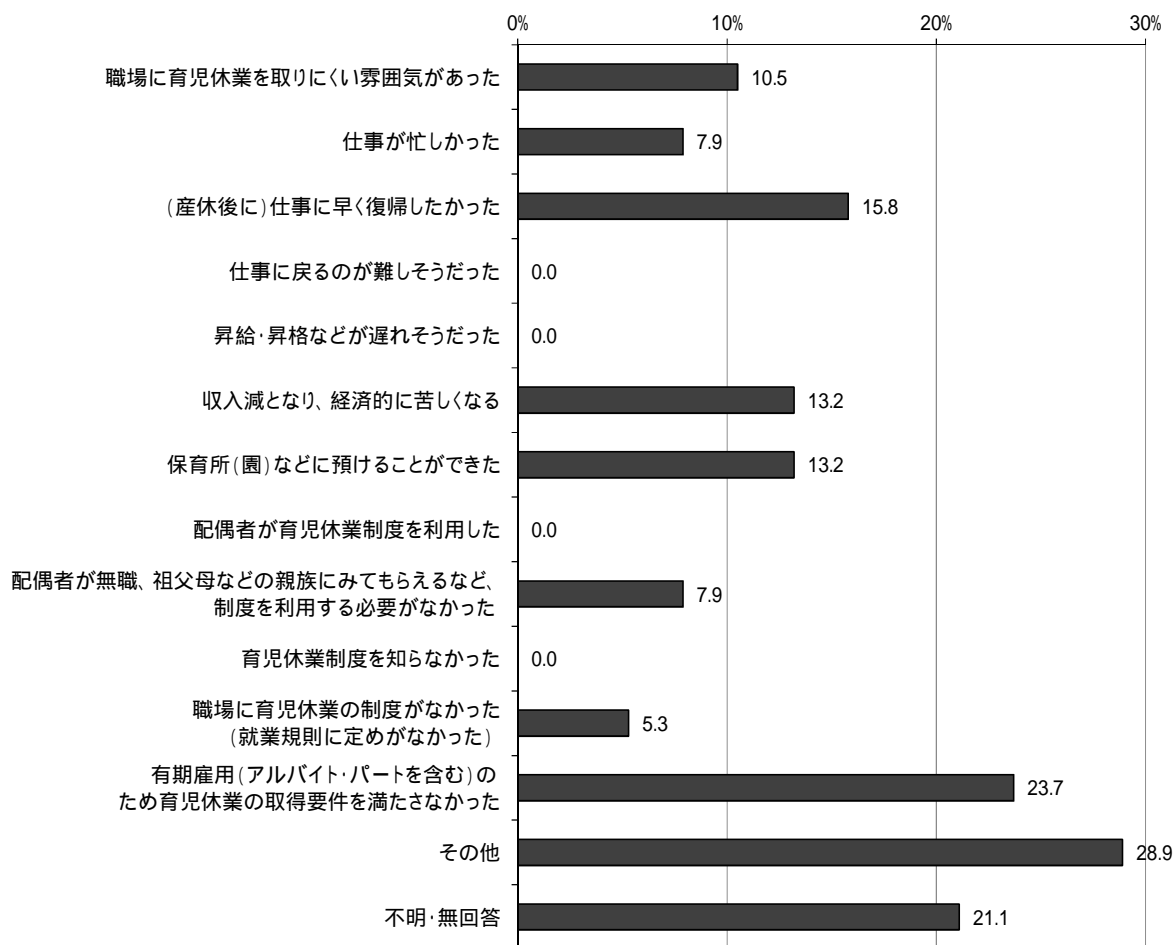
父親は「育休を取得していない」が83.7%と高くなっています。

母親

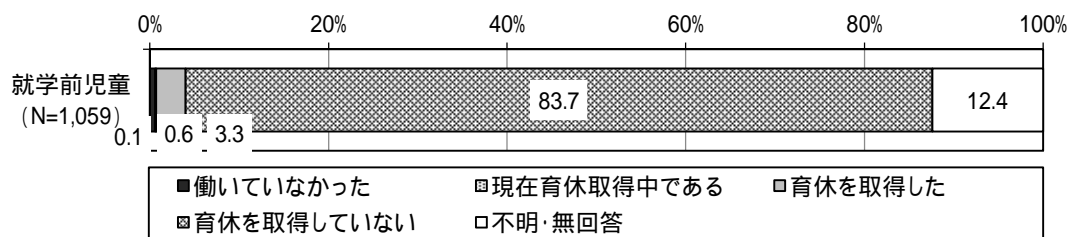


育休を取得していない理由 複数回答（「育休を取得していない」を選んだ方）

就学前児童 (N=38)

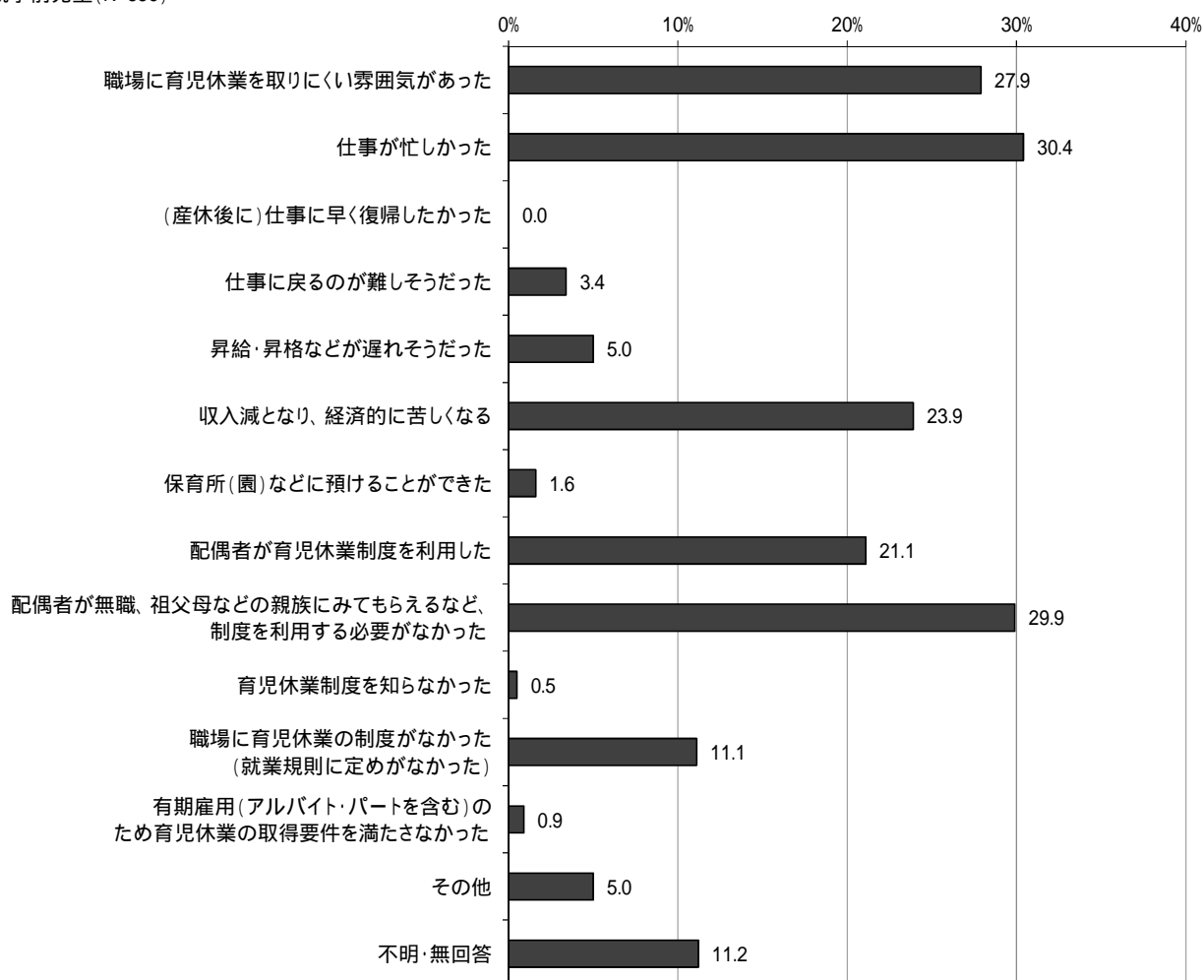


父親



育休を取得していない理由 複数回答 (「育休を取得していない」を選んだ方)

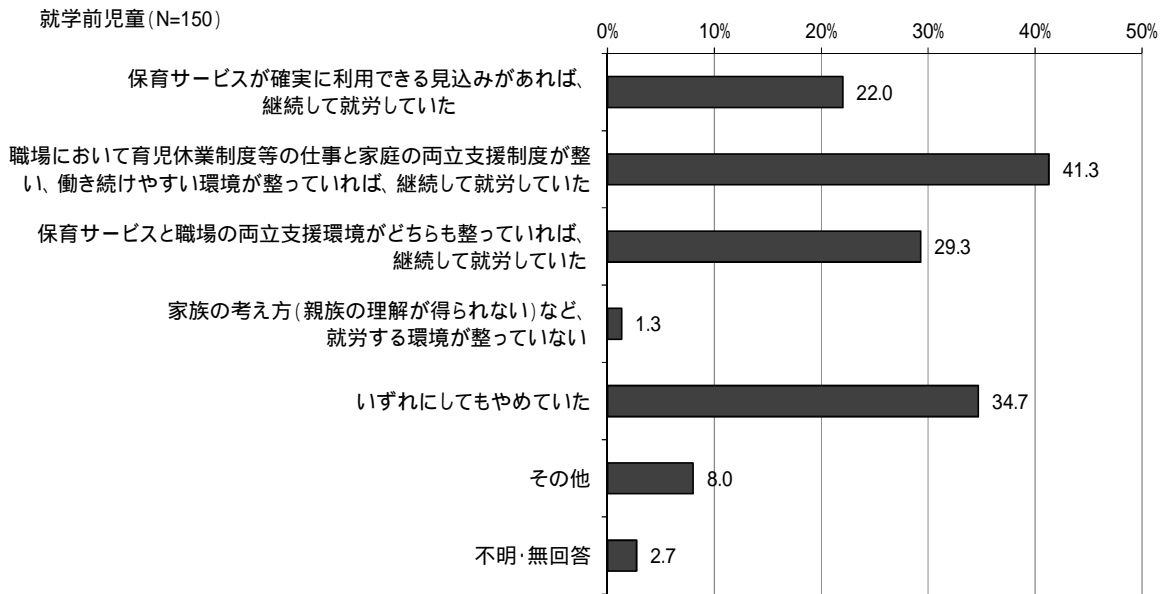
就学前児童(N=886)



(1)の 母親で「出産を機に離職した」を選んだ方

(2)仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていた場合の就労意向 複数回答 [就学前児童調査...問 12-2]

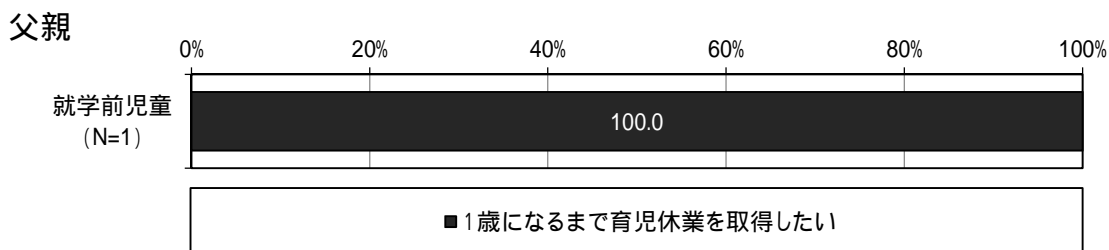
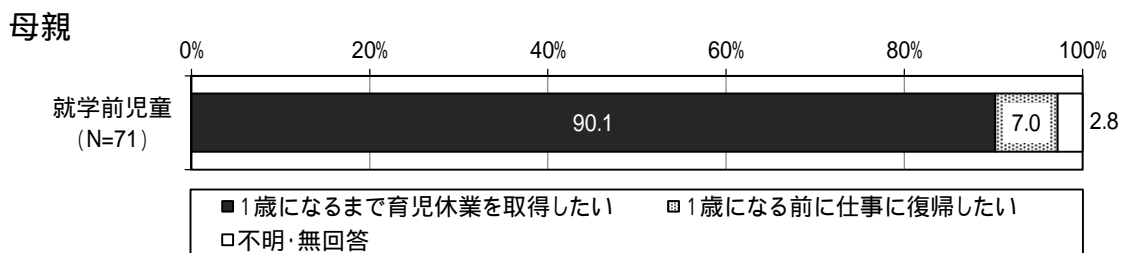
出産を機に離職した母親の仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていた場合の就労意向についてみると、「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」が41.3%と最も高く、次いで「いずれにしろやめていた」が34.7%となっています。



(1)で「現在育休取得中である」を選んだ方

(3)子どもが1歳になったとき、必ず利用できる保育があれば、1歳になるまで育児休業を取得するか 単数回答 [就学前児童調査...問 12-3]

現在育休取得中の母親で、子どもが1歳になった時に必ず利用できる保育があれば、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が90.1%と高くなっています。



(1)で「育休を取得した」を選んだ方

(4) 育児休業後の職場復帰の時期について 数量回答 [就学前児童調査...問 12-4]

育児休業後に職場に復帰した時の子どもの年齢についてみると、母親の“実際”は「1歳～1歳6ヶ月未満」が42.0%と最も高く、次いで「6ヶ月～1歳未満」が25.0%となっており、“希望”は「1歳6ヶ月～2歳未満」が18.1%で高くなっています。父親の“実際”は「6ヶ月未満」が60.0%と最も高く、次いで「6ヶ月～1歳未満」が8.6%となっており、“希望”は「2歳以上」が20.0%で高くなっています。

母親

職場復帰(実際)	子どもの年齢	
	(N=276)	
	件数	%
6ヶ月未満	11	4.0
6ヶ月～1歳未満	69	25.0
1歳～1歳6ヶ月未満	116	42.0
1歳6ヶ月～2歳未満	36	13.0
2歳以上	17	6.2
不明・無回答	27	9.8

職場復帰(希望)	時期	
	(N=276)	
	件数	%
6ヶ月未満	0	0.0
6ヶ月～1歳未満	0	0.0
1歳～1歳6ヶ月未満	23	8.3
1歳6ヶ月～2歳未満	50	18.1
2歳以上	12	4.3
不明・無回答	191	69.2

父親

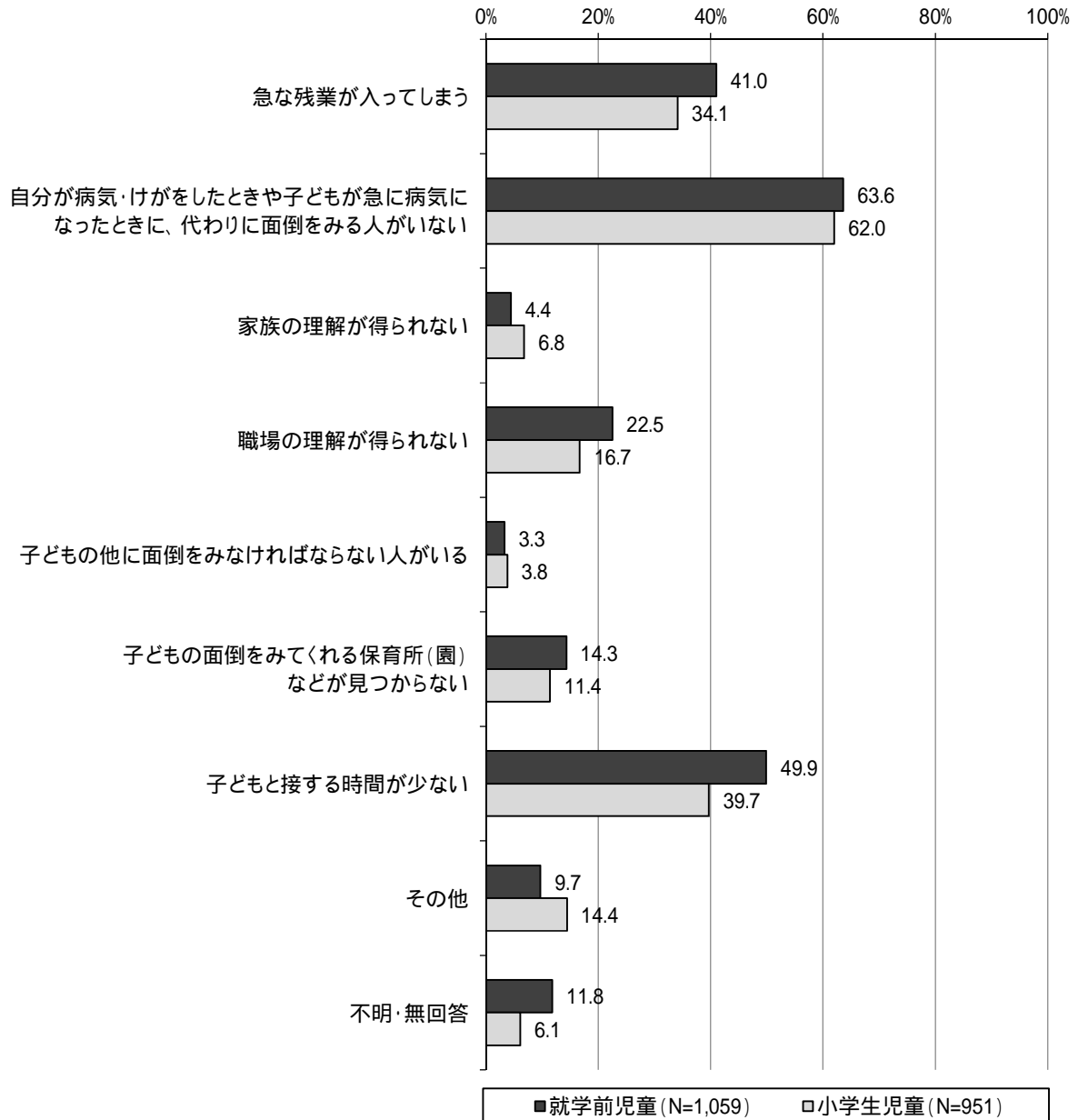
職場復帰(実際)	子どもの年齢	
	(N=35)	
	件数	%
6ヶ月未満	21	60.0
6ヶ月～1歳未満	3	8.6
1歳～1歳6ヶ月未満	1	2.9
1歳6ヶ月～2歳未満	0	0.0
2歳以上	0	0.0
不明・無回答	10	28.6

職場復帰(希望)	時期	
	(N=35)	
	件数	%
6ヶ月未満	0	0.0
6ヶ月～1歳未満	0	0.0
1歳～1歳6ヶ月未満	5	14.3
1歳6ヶ月～2歳未満	1	2.9
2歳以上	7	20.0
不明・無回答	22	62.9

(5) 仕事と子育てを両立するうえで大変なこと 複数回答

[就学前児童調査...問 12-5、小学生児童調査...問9-1]

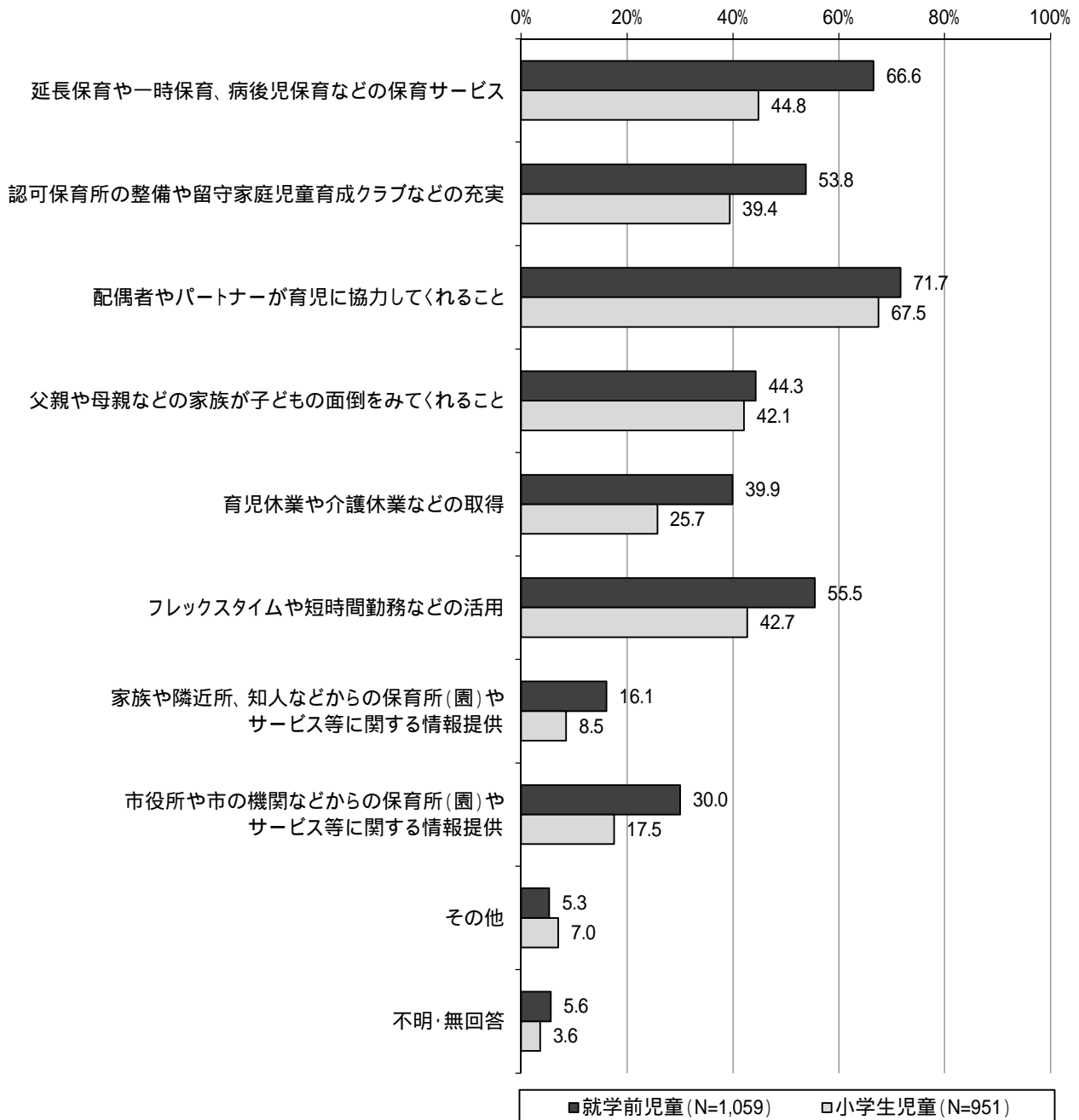
仕事と子育てを両立するうえで大変だと感じることをみると、「自分が病気・けがをしたときや子どもが急に病気になったときに、代わりに面倒をみる人がいない」が就学前児童で 63.6%、小学生児童で 62.0%と最も高く、次いで「子どもと接する時間が少ない」が就学前児童で 49.9%、小学生児童で 39.7%となっています。



(6) 仕事と子育てを両立するうえで必要なこと 複数回答

[就学前児童調査...問12-6、小学生児童調査...問9-2]

仕事と子育てを両立するうえで必要なことをみると、「配偶者やパートナーが育児に協力してくれること」が就学前児童で71.7%、小学生児童で67.5%と最も高く、次いで「延長保育や一時保育、病後児保育などの保育サービス」が就学前児童で66.6%、小学生児童で44.8%となっています。

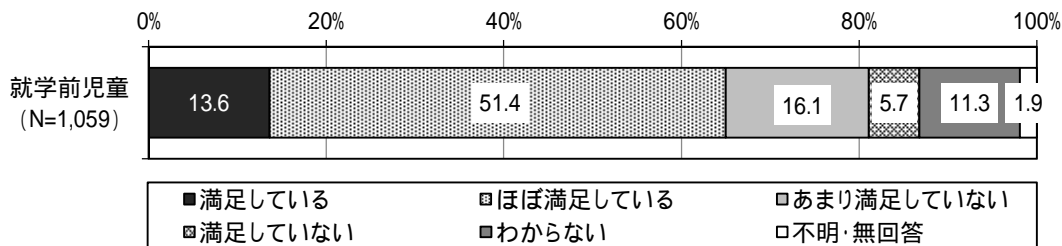


11 地域における子育て支援について

(1) 妊娠から出産、及び産後の母子保健や医療サービスの満足度 単数回答

(就学前児童調査...問 11-1・11-2)

妊娠から出産、及び産後の母子保健や医療サービスの満足度についてみると、「満足している」(13.6%)、「ほぼ満足している」(51.4%)を合わせると、満足している割合は65.0%、「あまり満足していない」(16.1%)、「満足していない」(5.7%)を合わせると、満足していない割合は21.8%となっています。

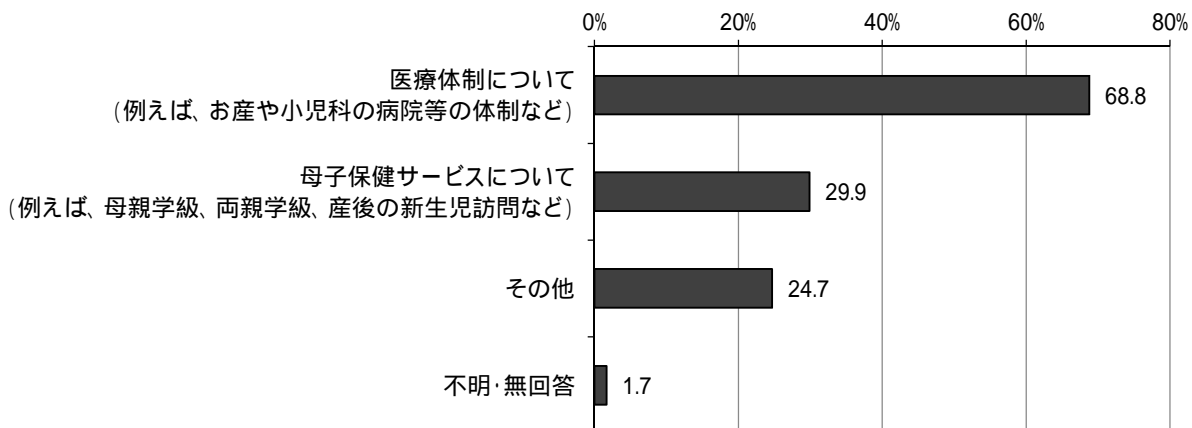


(1) で「あまり満足していない」または「満足していない」を選んだ方

(2) 満足していない分野 複数回答 (就学前児童調査...問 11-2)

満足していない分野についてみると、「医療体制について」が68.8%と最も高く、次いで、「母子保健サービスについて」が29.9%となっています。

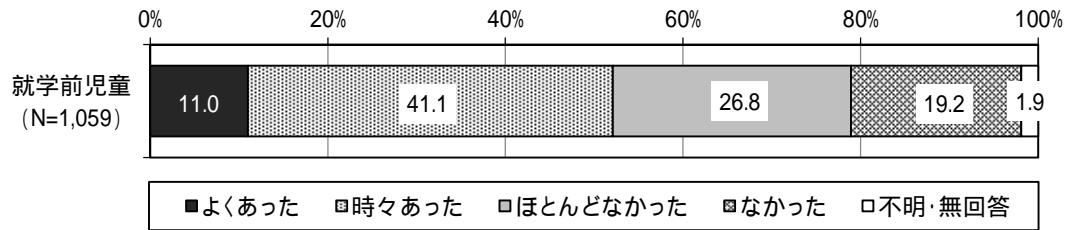
就学前児童(N=231)



(3) 妊娠中あるいは出産後に、母親が精神的に不安定になったこと 単数回答

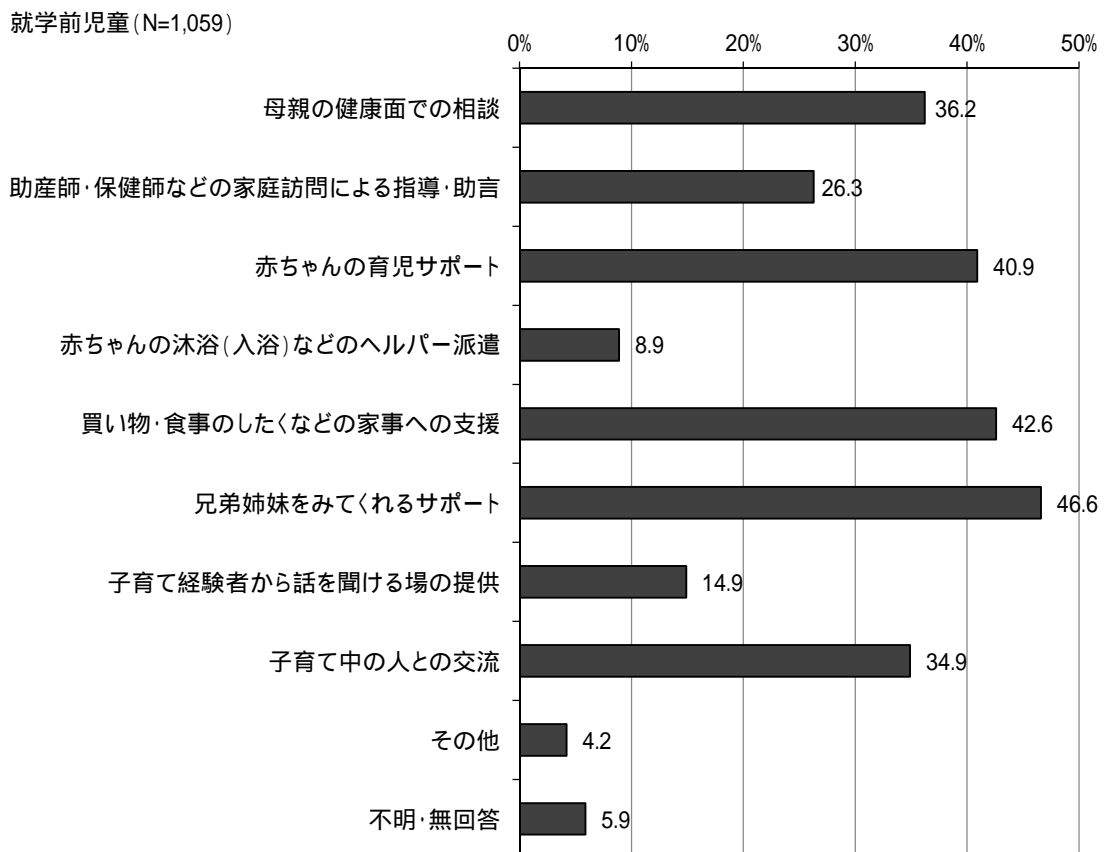
(就学前児童調査...問 11-3)

妊娠中あるいは出産後に、母親が精神的に不安定になったことについてみると、「よくあった」(11.0%)、「時々あった」(41.1%)を合わせると、不安定になったことがある割合は52.1%となっています。



(4) 妊娠中や出産後のサポートとして必要なサービス 複数回答 (就学前児童調査...問 11-4)

妊娠中や出産後のサポートとしてどのようなサービスが必要かについてみると、「兄弟姉妹をみてるサポート」が46.6%と最も高く、次いで「買い物・食事のしたくなどの家事への支援」が42.6%、「赤ちゃんの育児サポート」が40.9%となっています。

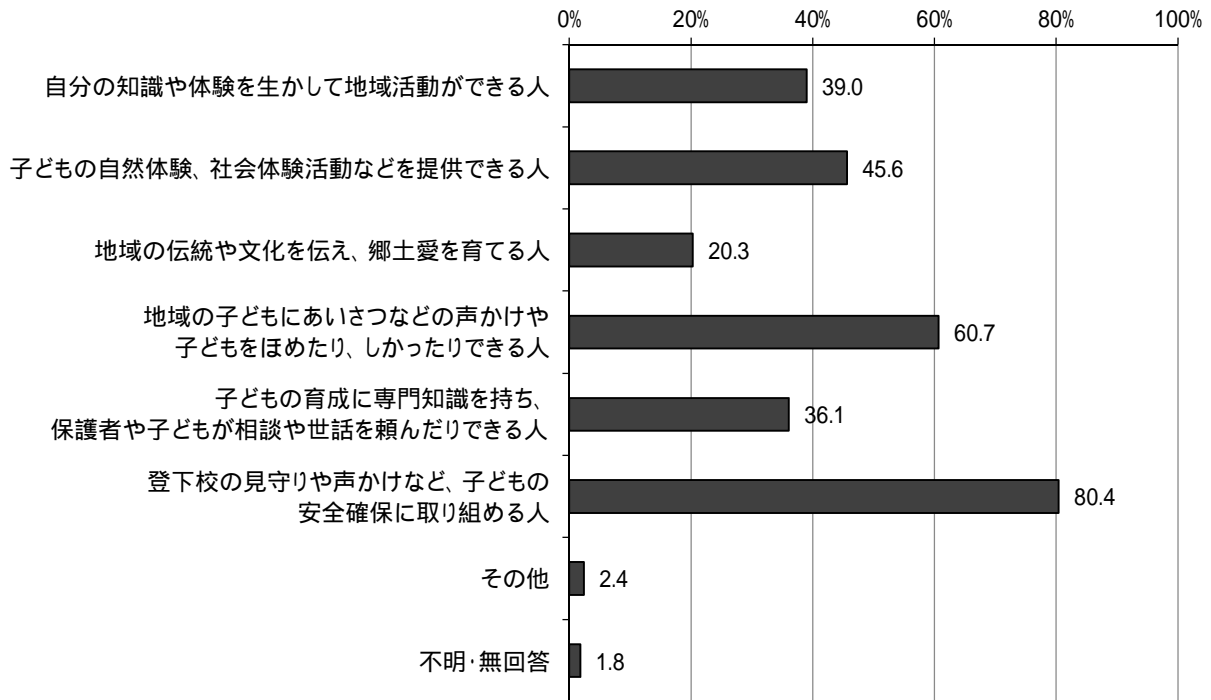


(5) 子どもの育成を支援するために、地域ではどのような人が必要か 複数回答

[小学生児童調査...問 10-1]

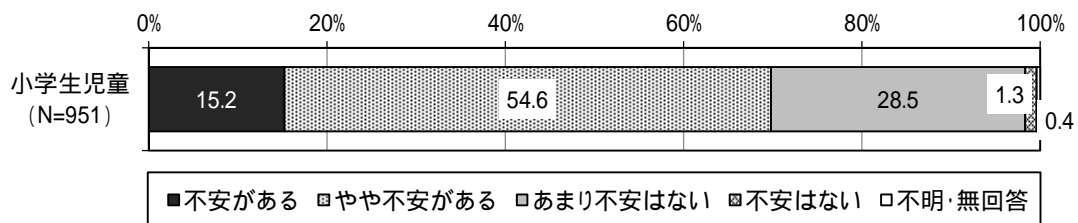
子どもの育成を支援するために地域で必要な人についてみると、「登下校の見守りや声かけなど、子どもの安全確保に取り組める人」が80.4%と最も高く、次いで「地域の子どもにあいさつなどの声かけや子どもをほめたり、しかったりできる人」が60.7%となっています。

小学生児童(N=951)



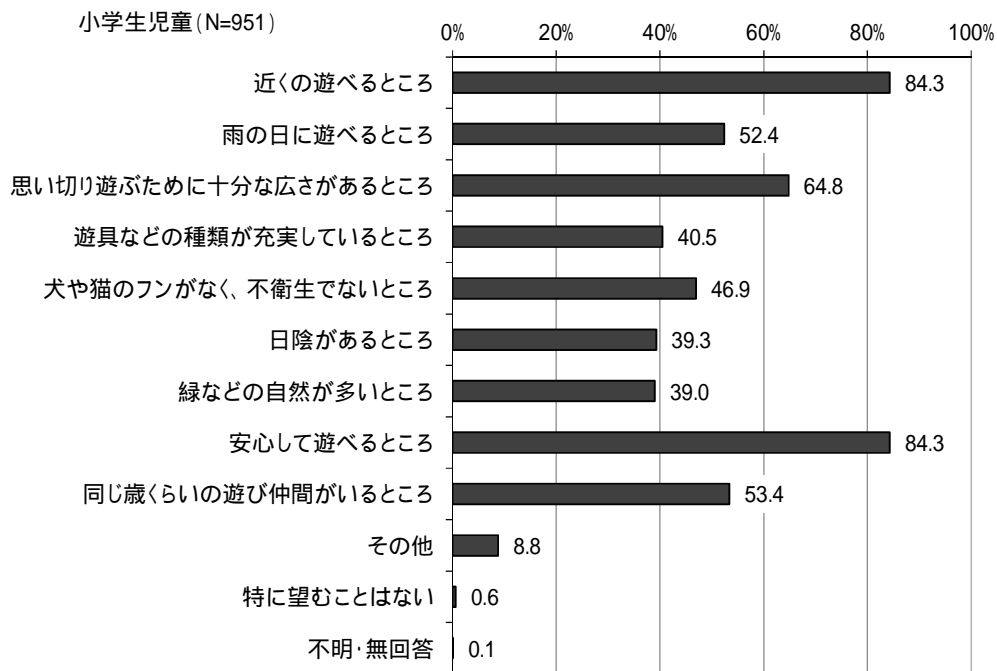
(6) 防犯や防災など地域の安全について 単数回答 [小学生児童調査...問 10-2]

防犯や防災など地域の安全について日ごろどのように感じているかについてみると、「不安がある」(15.2%)、「やや不安がある」(54.6%)を合わせると、不安がある割合は69.8%となっています。



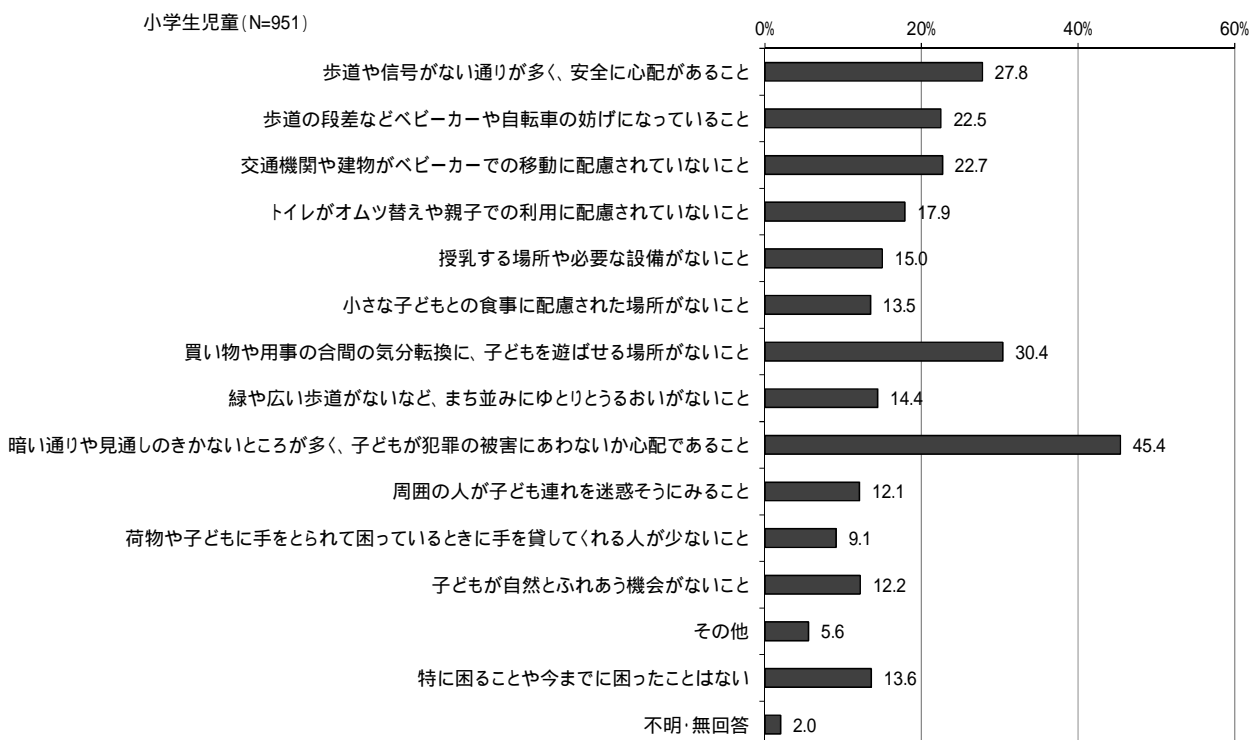
(7) 子どもの遊び場について 複数回答 (小学生児童調査...問 10-3)

子どもの遊び場について、望ましいと思うことについてみると、「近くの遊べるところ」、「安心して遊べるところ」が84.3%と最も高く、次いで「思い切り遊ぶために十分な広さがあるところ」が64.8%となっています。



(8) 子どもと外出の際の困りごとについて 複数回答 (小学生児童調査...問 10-4)

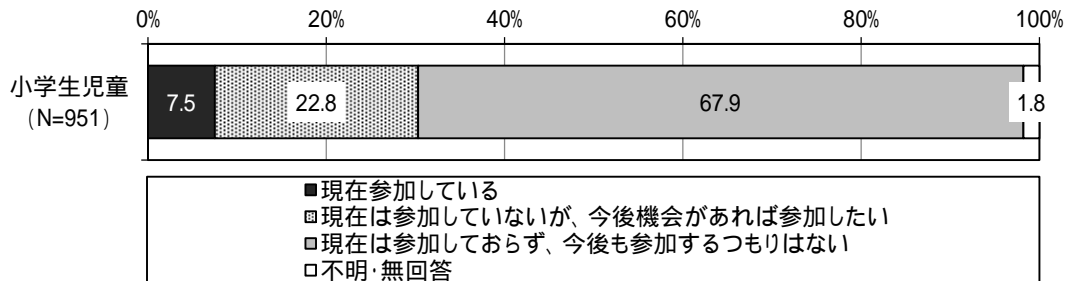
子どもとの外出の際に困ること、困ったことについてみると、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配であること」が45.4%と最も高く、次いで「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」が30.4%となっています。



(9) 子育てに関するサークルなどの自主的な活動への参加 単数回答

[小学生児童調査...問 10-5]

子育てに関するサークルなどへの自主的な活動への参加についてみると、「現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が67.9%と最も高く、「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」は22.8%となっています。

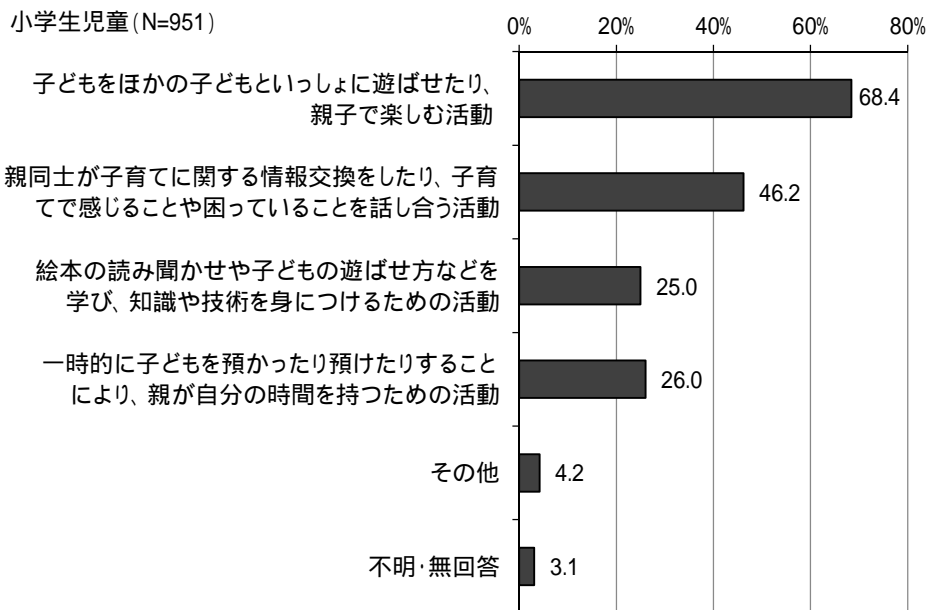


(9) で「現在参加している」または「今後機会があれば参加したい」を選んだ方

(10) 今後、実施したい自主活動、参加したい活動について 複数回答

[小学生児童調査...問 10-6]

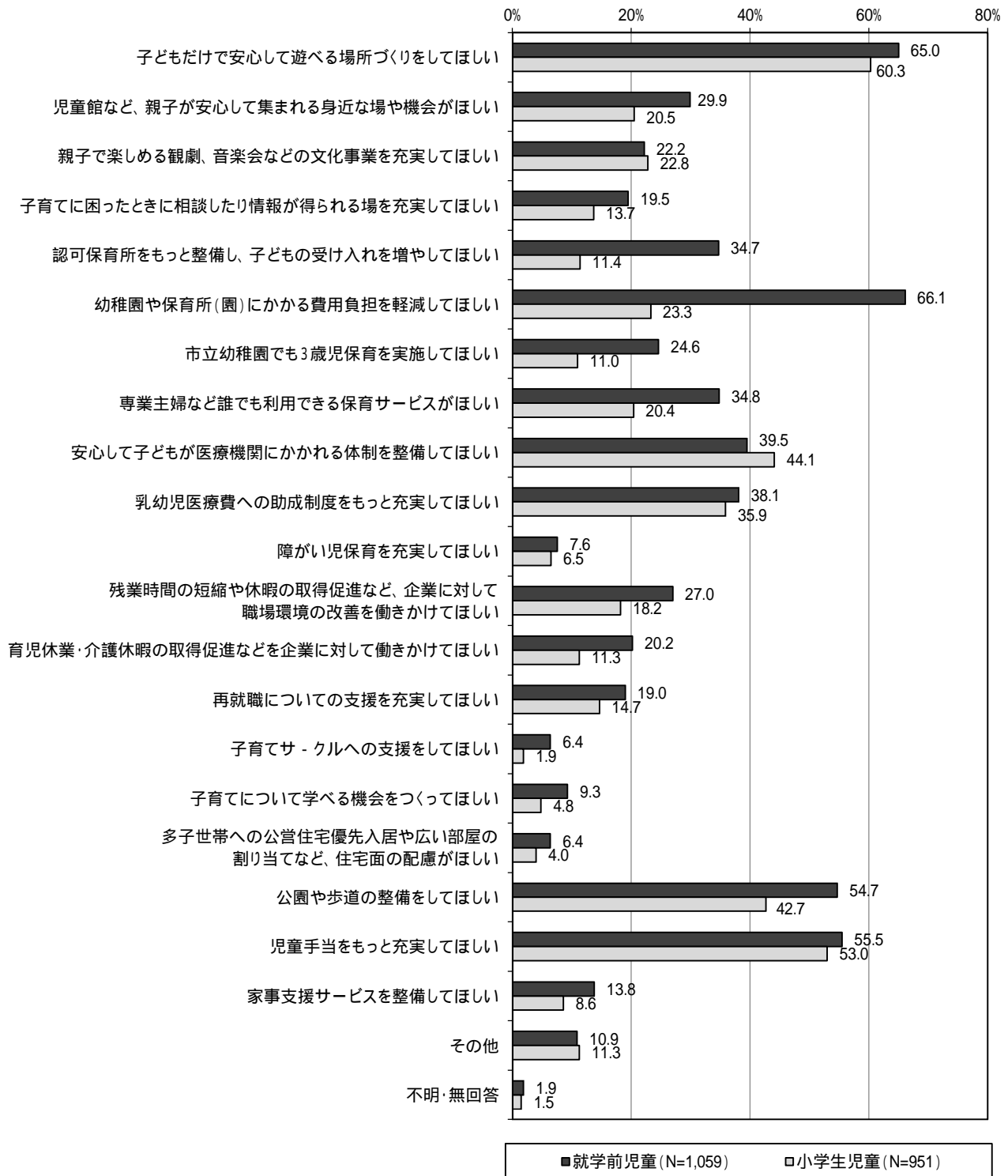
今後、実施したい自主活動、参加したい活動はどのようなものかについてみると、「子どもをほかの子どもといっしょに遊ばせたり、親子で楽しむ活動」が68.4%と最も高く、次いで、「親同士が子育てに関する情報交換をしたり、子育てで感じることや困っていることを話し合う活動」が46.2%となっています。



(11) 子育て支援について、川西市でもっと力をいれてほしいもの 複数回答

〔就学前児童調査...問 13-1、小学生児童調査...問 11-1〕

子育て支援について、川西市でもっと力をいれてほしいものについてみると、就学前児童では「幼稚園や保育所（園）にかかる費用負担を軽減してほしい」が66.1%と最も高く、次いで、「子どもだけで安心して遊べる場所づくりをしてほしい」が65.0%となっています。小学生児童では「子どもだけで安心して遊べる場所づくりをしてほしい」が60.3%と最も高く、次いで「児童手当をもっと充実してほしい」が53.0%となっています。

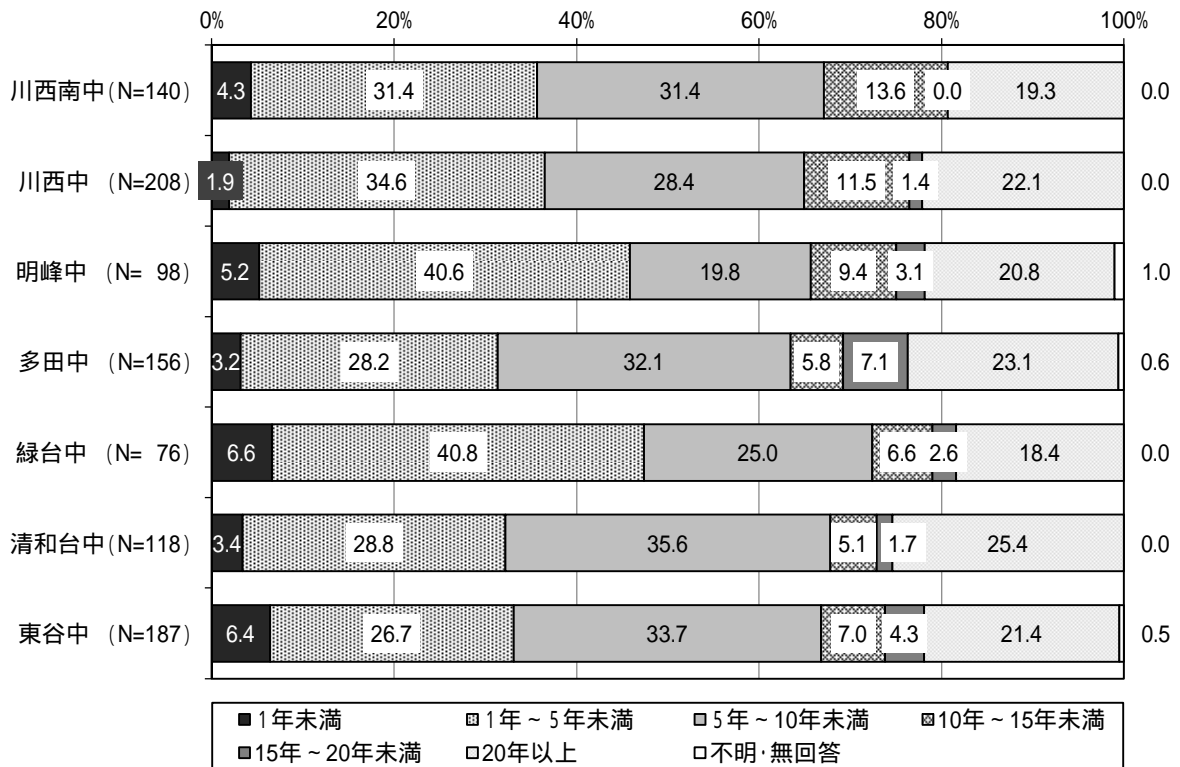


. 追加分析

就学前児童調査

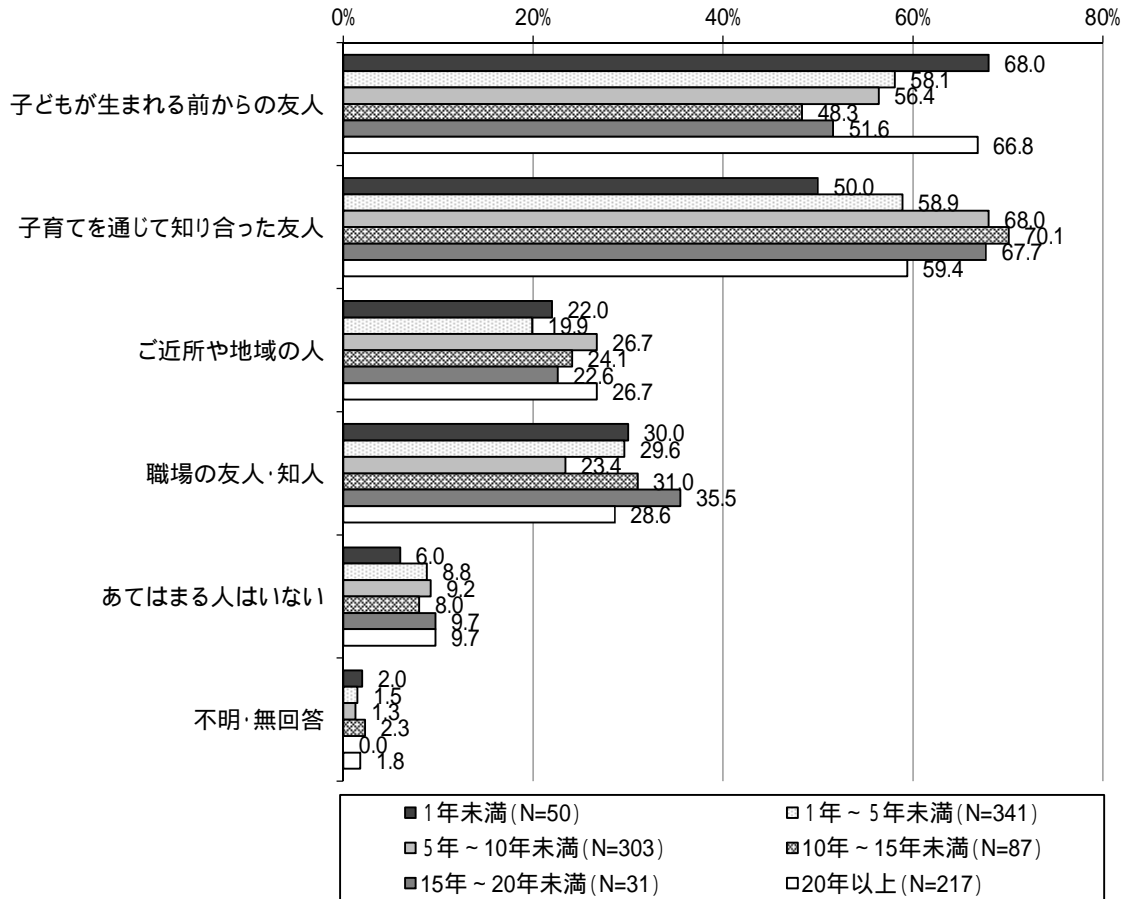
(1) 地区別にみる回答者の居住年数 [就学前児童調査...問1 - 3 × 問1 - 2]

明峰中学校区や緑台中学校区は、他地区と比較して、川西市での居住年数が短い方の割合が高くなっています。一方、多田中学校区や清和台中学校区は、居住年数が「20年以上」である方の割合が高くなっています。



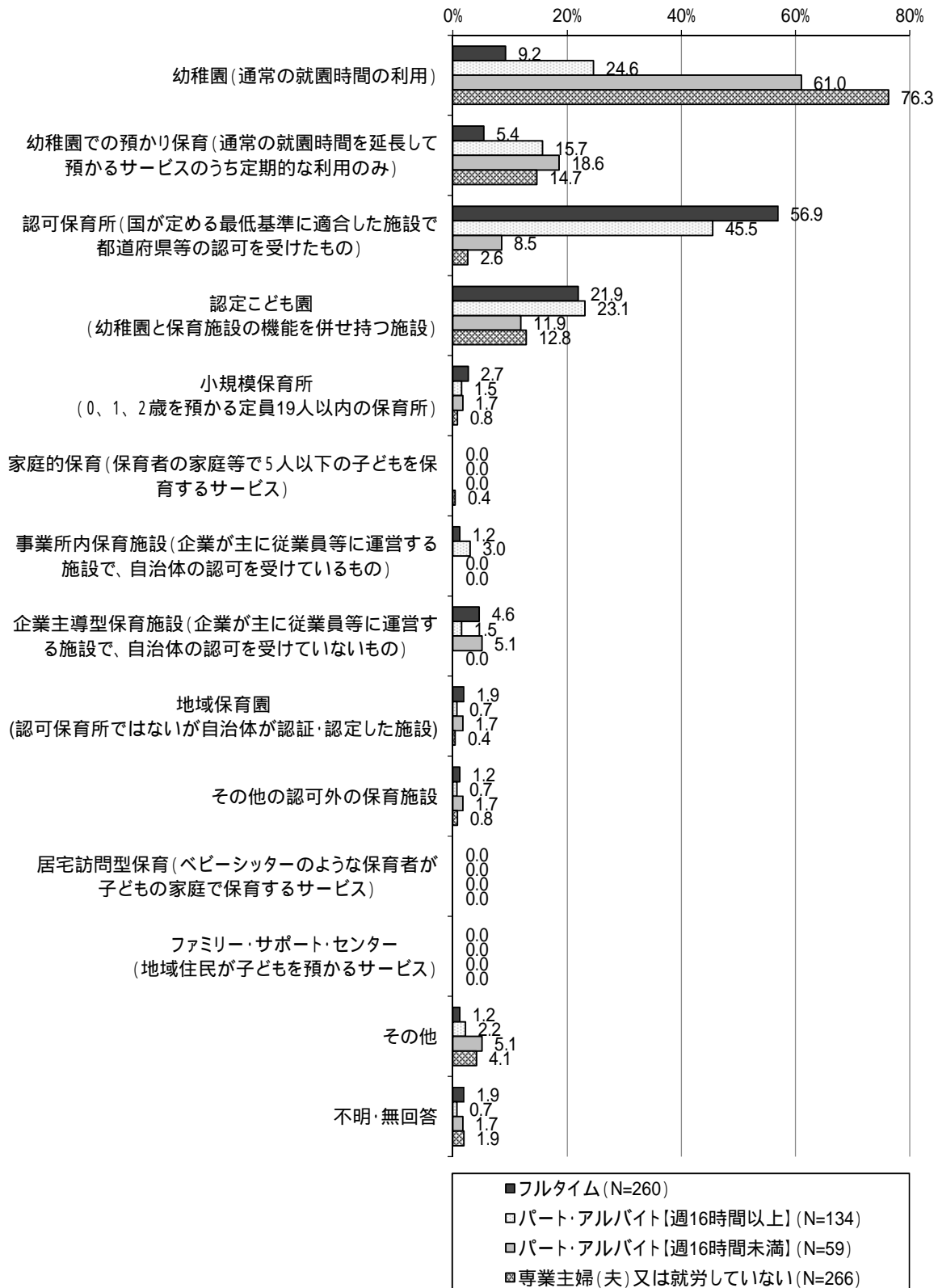
(2) 居住年数別にみる「子育てについて相談できる人」 [就学前児童調査...問3 - 5 × 問1 - 3]

居住年数が「1年未満」の方でも、「子どもが生まれる前からの友人」や「子育てを通じて知り合った友人」、「ご近所や地域の人」、「職場の友人・知人」など、子育てについて相談できる人がいると回答しています。一方で、居住年数が長い方でも、「あてはまる人はいない」と回答している方が一定数いることがわかります。



(3) 母親の就労状況別にみる教育・保育の利用状況 [就学前児童調査...問4 - 4 × 問5 - 1]

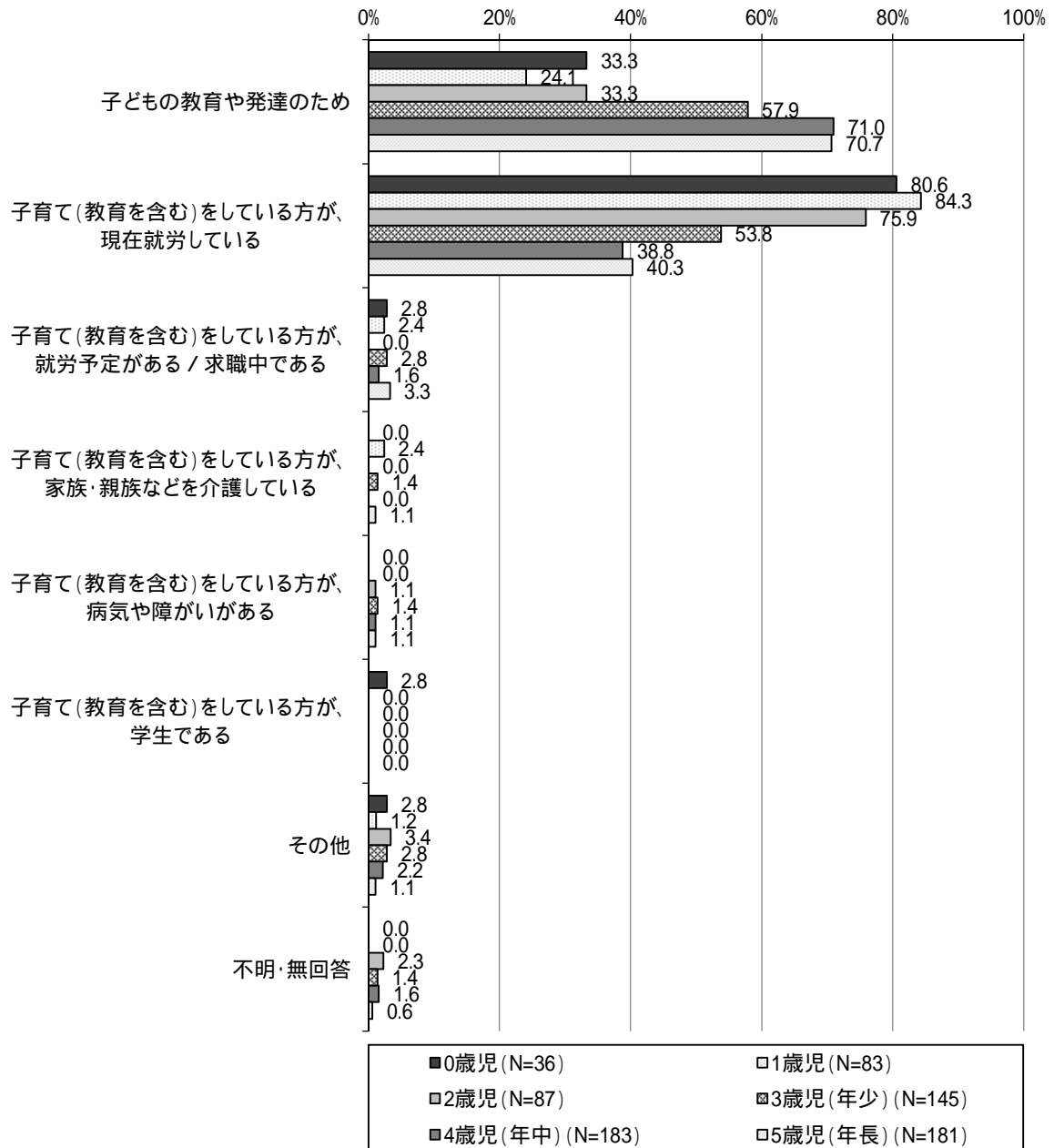
母親がフルタイム就労や長時間のパートタイム就労をしている方は認可保育所や認定こども園を利用している割合が高く、短時間のパートタイム就労や就労していない方は幼稚園を利用している割合が高くなっており、基本的には就労状況にそった利用状況の傾向がみられます。一方で、母親がフルタイムで就労している方のうち、約1割の方は、幼稚園を利用していることがわかります。



(4) 子どもの年齢(学年)別にみる教育・保育サービスを利用する理由

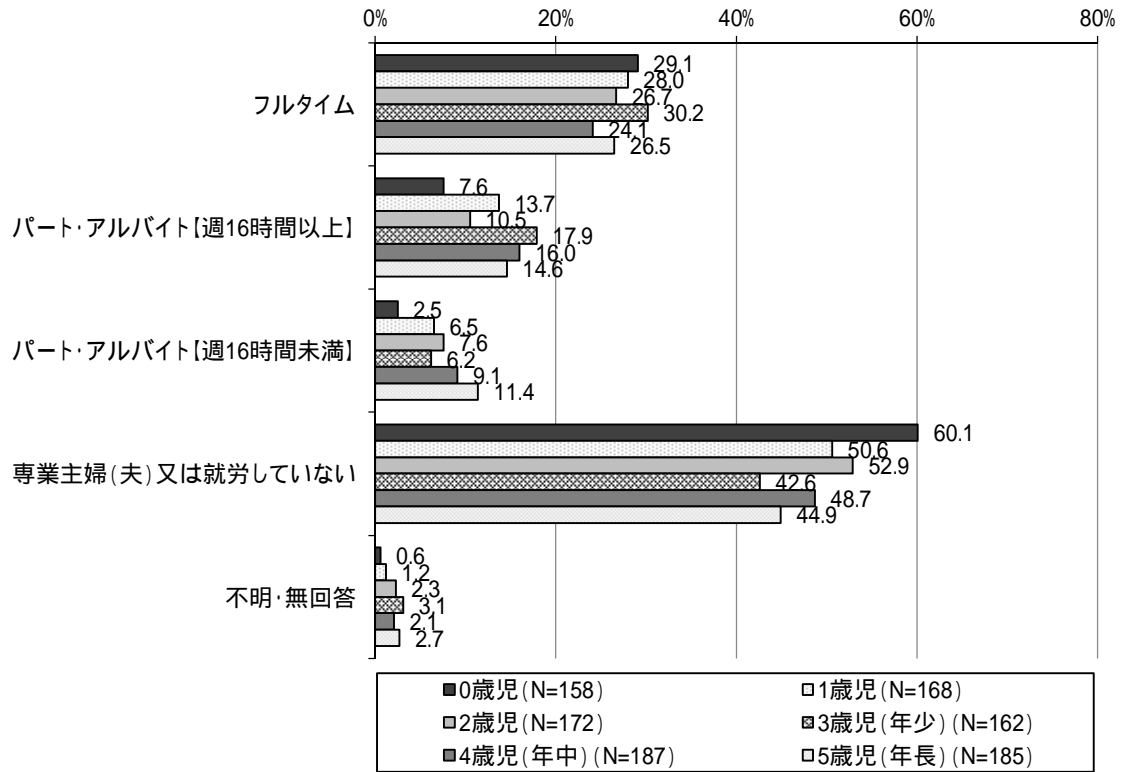
(就学前児童調査...問4-3×問2-1)

教育・保育サービスを利用する理由として、就労以外に、「子どもの教育や発達のため」を挙げる方の割合が高くなっています。0歳児のときであっても、約3割の方は、子どもの教育や発達を意識して、教育・保育サービスを利用していることがわかります。



(5) 子どもの年齢(学年)別にみる母親の就労状況 [就学前児童調査...問5 - 1 × 問2 - 1]

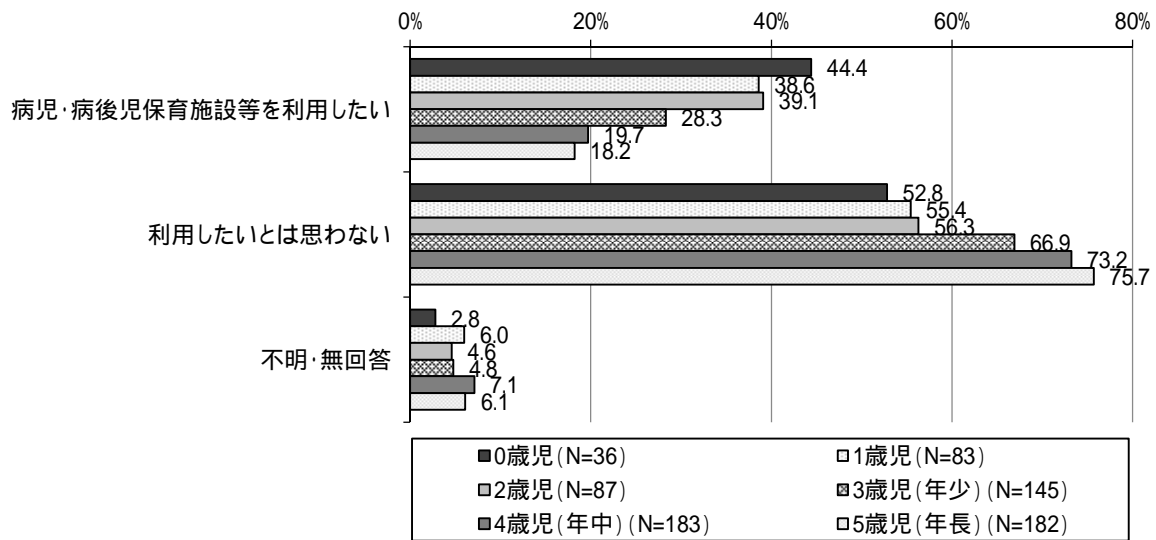
子どもの年齢(学年)別に母親の就労状況を見ると、子どもの年齢が高くなるほど「専業主婦又は就労していない」という割合が低くなり、パート・アルバイトが高くなっていることがわかります。「フルタイム」の割合については、子どもの年齢(学年)による変化はあまりみられません。



(6) 子どもの年齢 (学年) 別にみる病児・病後児保育施設の利用希望有無

[就学前児童調査...問8 - 2 × 問2 - 1]

子どもの年齢 (学年) が高くなるほど、「病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答する保護者の割合は低くなっています。



(7) 現在平日に利用しているサービス別にみる就学後の放課後の過ごし方の希望

[就学前児童調査...問10-1×問4-4]

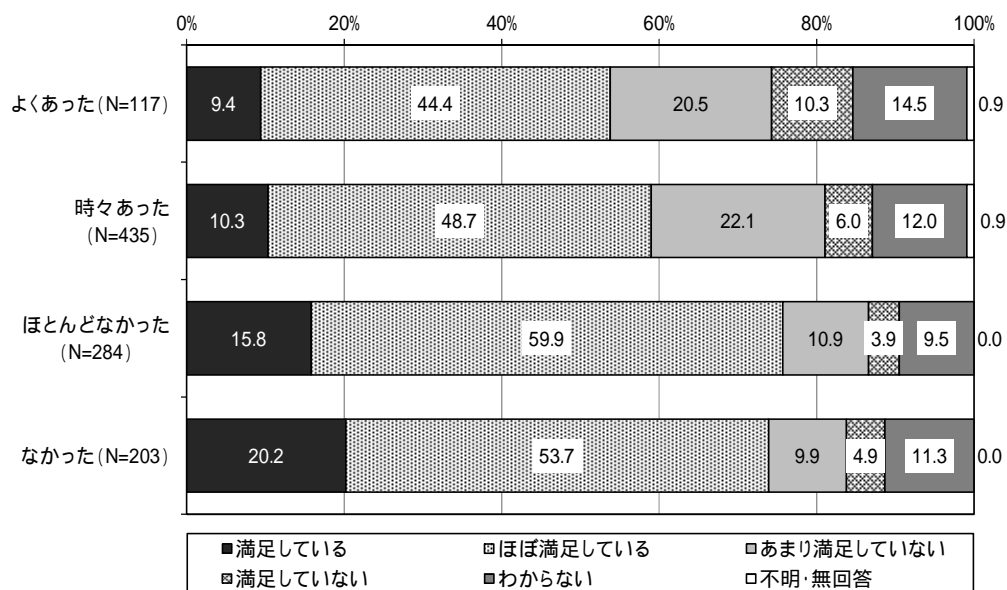
現在、幼稚園を利用している世帯は、就学後の放課後は「自宅」「習い事」で過ごさせたいという割合が高くなっています。現在、認可保育所を利用している世帯は、就学後の放課後は「留守家庭児童育成クラブ」で過ごさせたいという割合が高くなっています。認可保育所利用者のうち、約8割が、留守家庭児童クラブの利用ニーズがあることがわかります。

問10-1(2) (小学校4～6年生の間)放課後の時間を過ごさせたい場所 × 問4-4 定期的にご利用している教育・保育サービス (N=738)	幼稚園		保 幼 稚 園 での 預 かり		認 可 保 育 所		認 定 こ と も 園		小 規 模 保 育 所		家 庭 的 保 育		事 業 所 内 保 育 施 設		設 企 業 主 導 型 保 育 施 設		地 域 保 育 園		保 育 施 設 の 認 可 外 の	
	N=302		N=88		N=227		N=132		N=12		N=1		N=7		N=17		N=9		N=7	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
自宅	226	74.8	52	59.1	64	28.2	55	41.7	4	33.3	1	100.0	4	57.1	5	29.4	2	22.2	5	71.4
祖父母宅や友人・知人宅	69	22.8	13	14.8	39	17.2	16	12.1	2	16.7	0	0.0	1	14.3	3	17.6	0	0.0	1	14.3
習い事(ピアノ/教室、サッカークラブ、学習塾など)	218	72.2	54	61.4	83	36.6	65	49.2	4	33.3	1	100.0	1	14.3	4	23.5	5	55.6	7	100.0
児童センター	11	3.6	4	4.5	3	1.3	4	3.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
留守家庭児童育成クラブ(いわゆる学童保育)	57	18.9	30	34.1	182	80.2	75	56.8	6	50.0	0	0.0	2	28.6	11	64.7	7	77.8	4	57.1
放課後子ども教室	49	16.2	16	18.2	38	16.7	24	18.2	3	25.0	1	100.0	1	14.3	1	5.9	1	11.1	0	0.0
ファミリー・サポート・センター	2	0.7	0	0.0	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他(公民館、公園など)	70	23.2	19	21.6	9	4.0	11	8.3	2	16.7	0	0.0	1	14.3	2	11.8	1	11.1	1	14.3
不明・無回答	6	2.0	4	4.5	4	1.8	6	4.5	0	0.0	0	0.0	1	14.3	2	11.8	0	0.0	0	0.0

(8) 妊娠時・出産時の精神的な不安定さの有無別にみる母子保健・医療サービスへの満足度

[就学前児童調査...問11-1×問11-3]

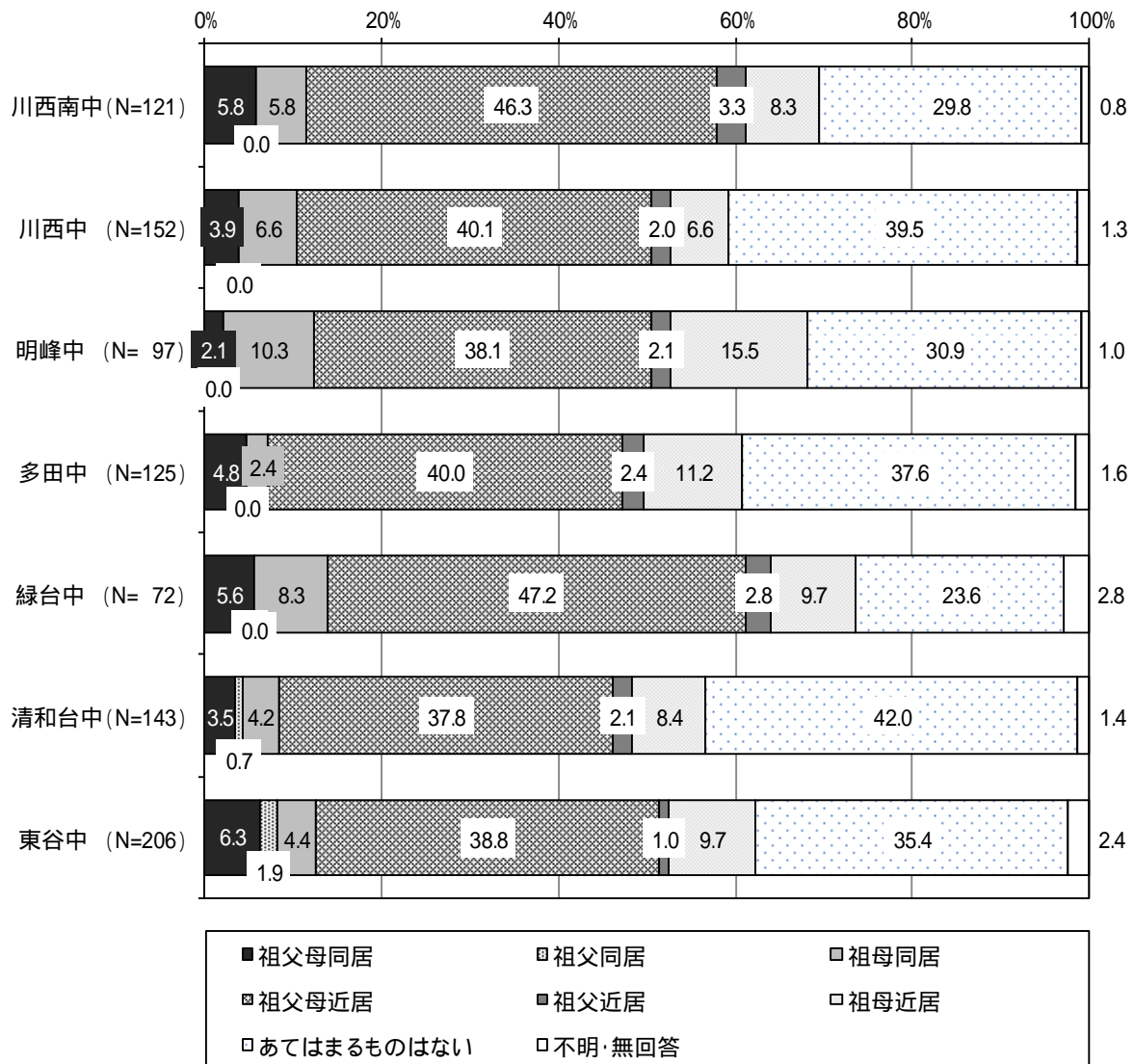
母親の妊娠時・出産時に精神的な不安定さがあったという方ほど、母子保健・医療サービスへの満足度が低い傾向がみられます。



小学生児童調査

(1) 地区別に見る祖父母の同居・近居の状況 [小学生児童調査...問3 - 1×問1 - 2]

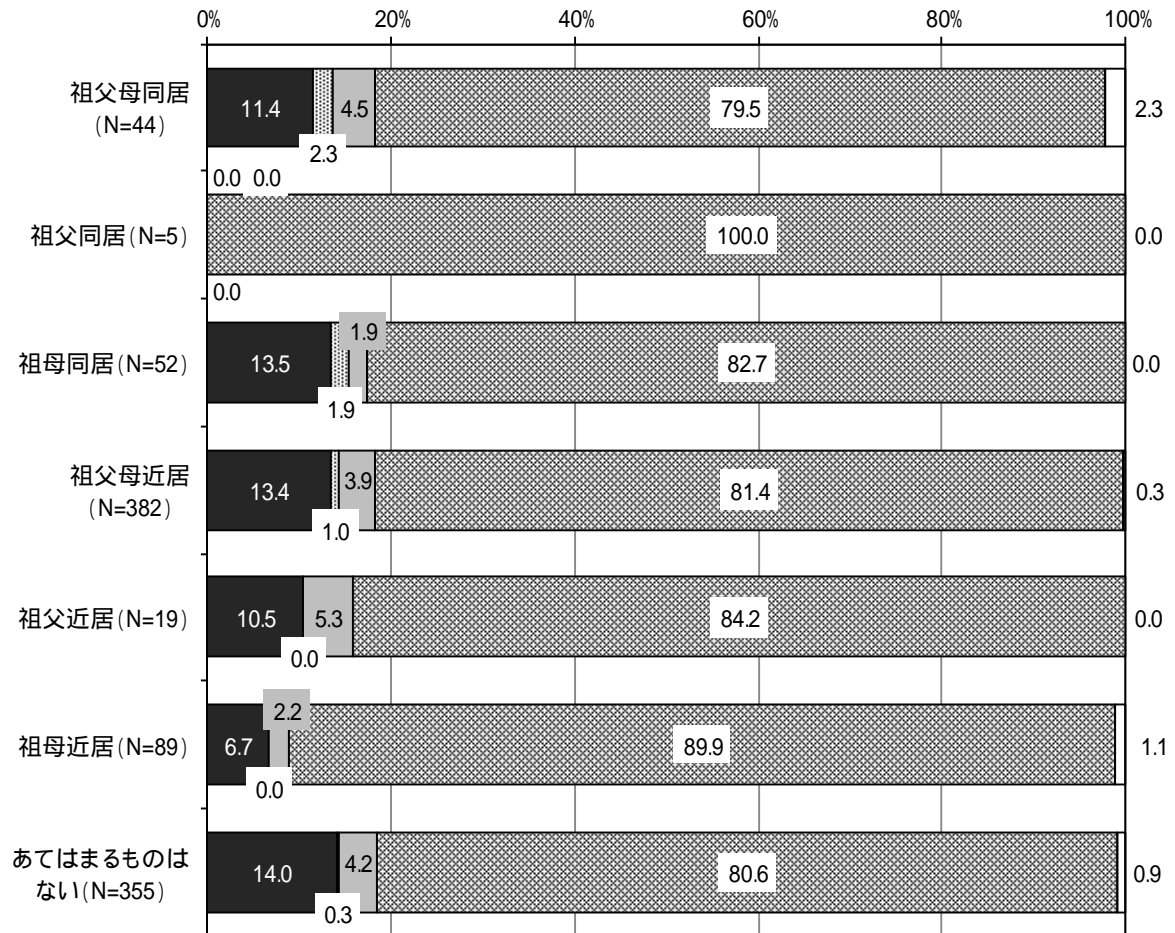
緑台中学校区は、他地区と比較して、祖父母やいずれかとの同居や近居をしている方の割合が高くなっています。一方、清和台中学校区は、「あてはまるものはない(祖父母やそのいずれとも同居・近居していない)」の割合が4割を超え、最も高くなっています。



(2) 祖父母の同居・近居の状況別にみる留守家庭児童育成クラブ(学童保育)の利用状況

(小学生児童調査...問8-1×問4-1)

「あてはまるものはない(祖父母やそのいずれとも同居・近居していない)」方は、留守家庭児童育成クラブ(学童保育)を利用している割合が高くなっています。

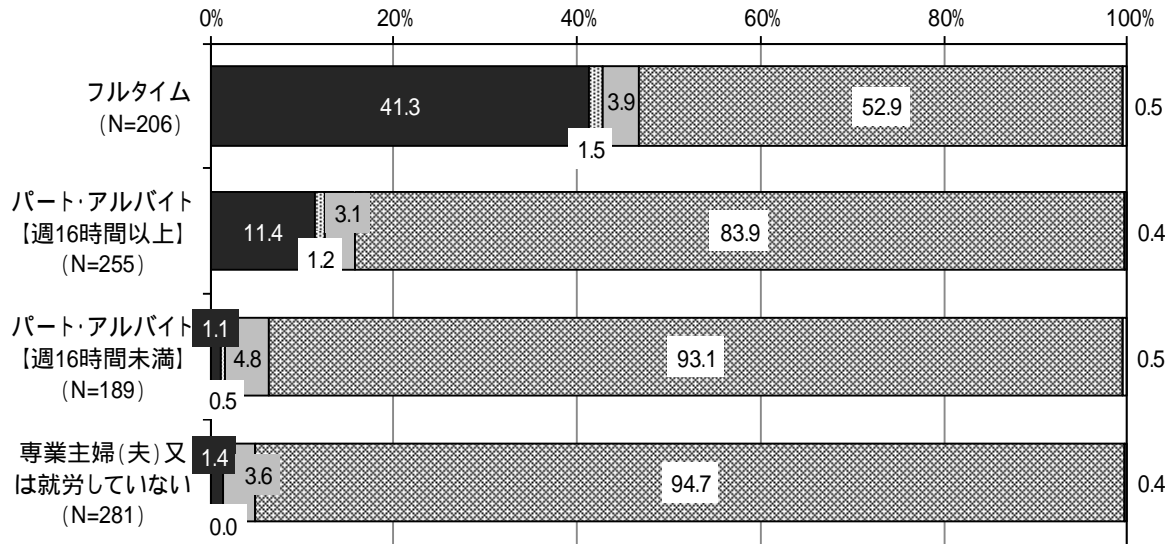


- 留守家庭児童育成クラブを利用している
- ▣ 留守家庭児童育成クラブを利用したいが定員漏れ等により利用できていない
- 留守家庭児童育成クラブを利用したいが定員漏れ等により利用できないと思うので申請していない
- ▣ 利用したいとは思わない・必要がないので利用していない
- 不明・無回答

(3) 母親の就労状況別にみる留守家庭児童育成クラブ(学童保育)の利用状況

(小学生児童調査...問8-1×問4-1)

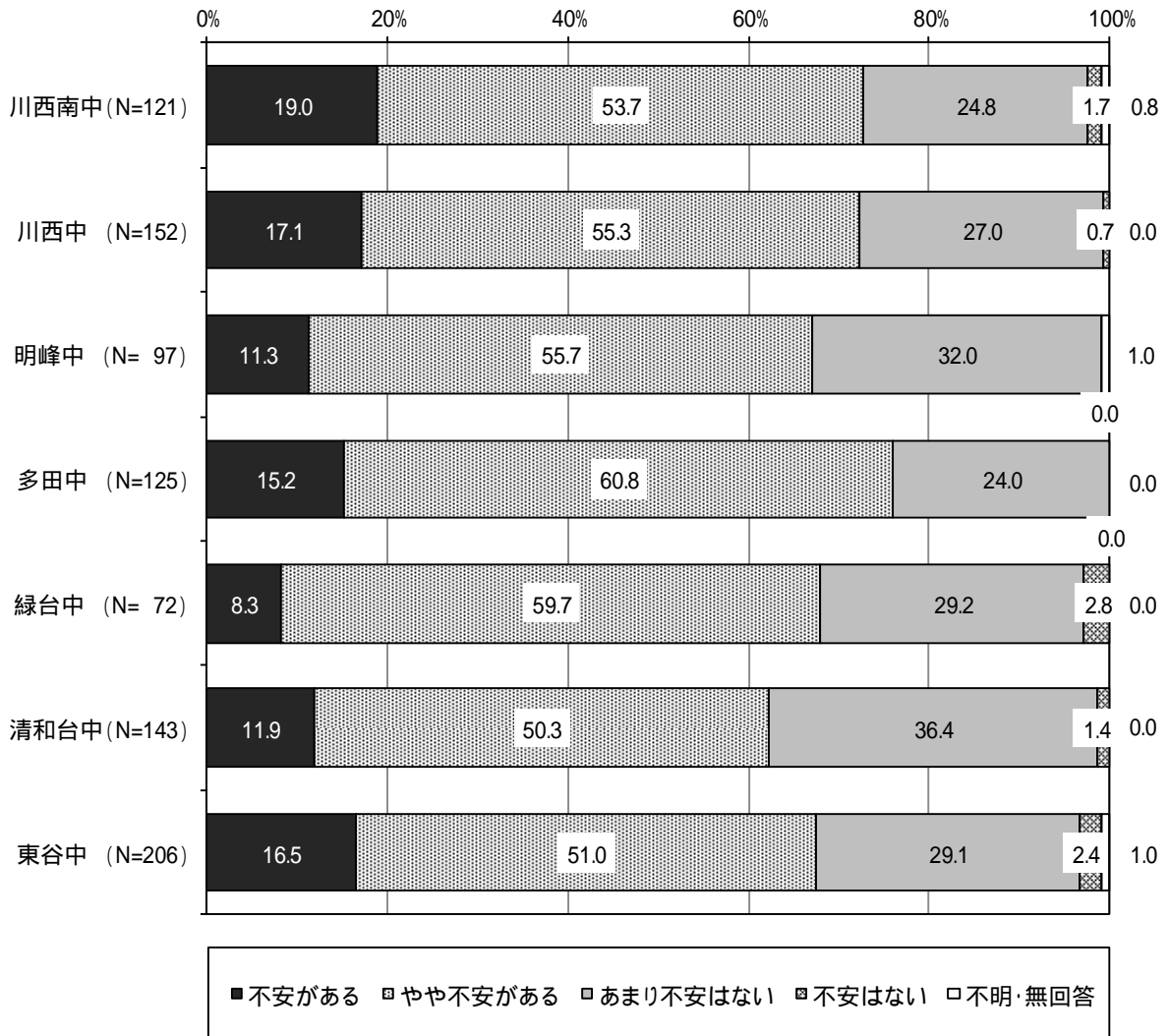
母親の就労状況が「フルタイム」の方は、留守家庭児童育成クラブ(学童保育)を利用している割合が高くなっています。一方で、「フルタイム」であっても、約半数の方は利用していないことがわかります。



- 留守家庭児童育成クラブを利用している
- ▣ 留守家庭児童育成クラブを利用したいが定員漏れ等により利用できていない
- 留守家庭児童育成クラブを利用したいが定員漏れ等により利用できないと思うので申請していない
- ▣ 利用したいとは思わない・必要がないので利用していない
- 不明・無回答

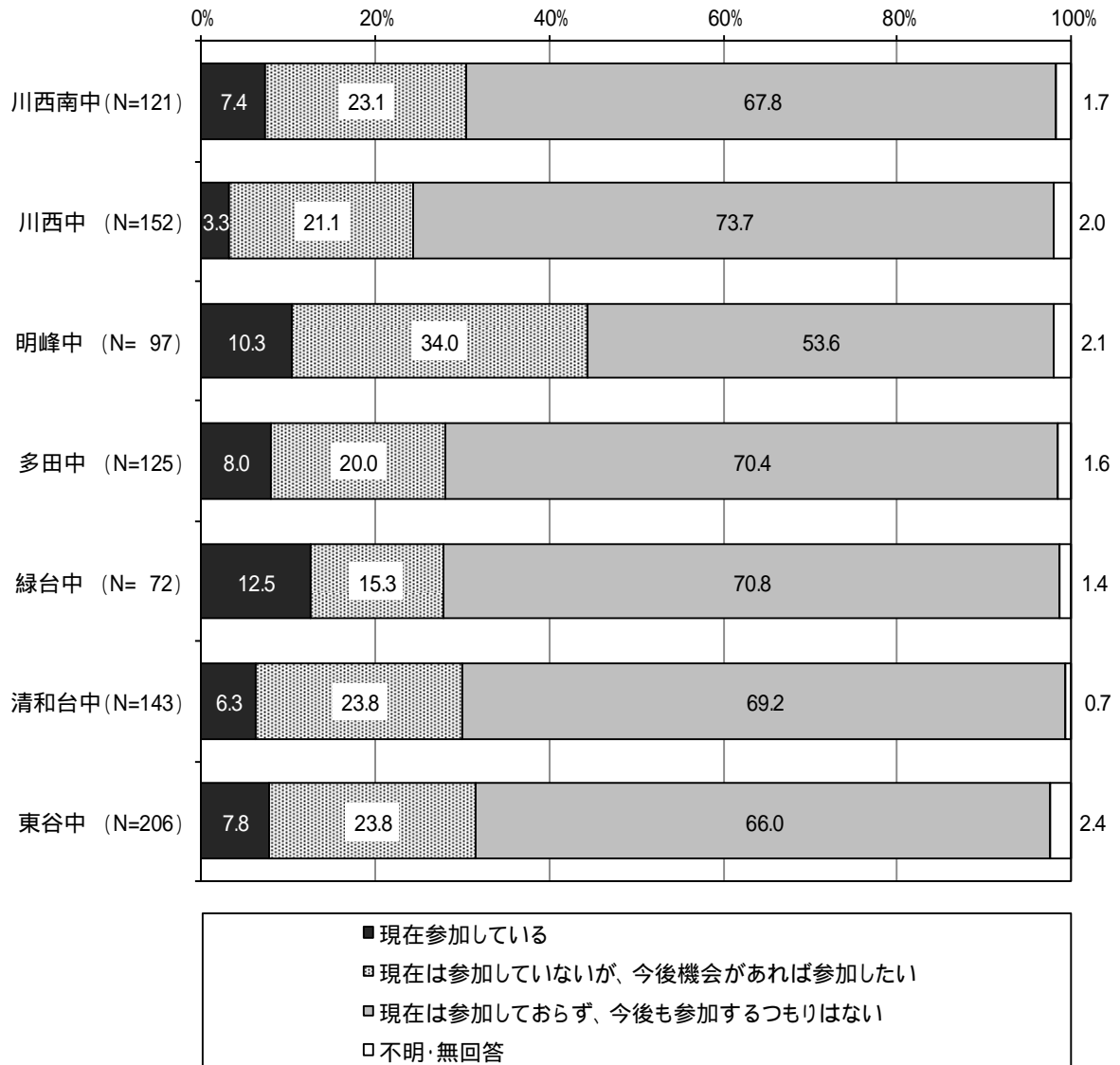
(4) 地区別にみる地域の安全についての感じ方 [小学生児童調査...問10-2×問1-2]

清和台中学校区と明峰中学校区では、地域の安全について「あまり不安はない」と回答した方の割合が比較的高くなっています。



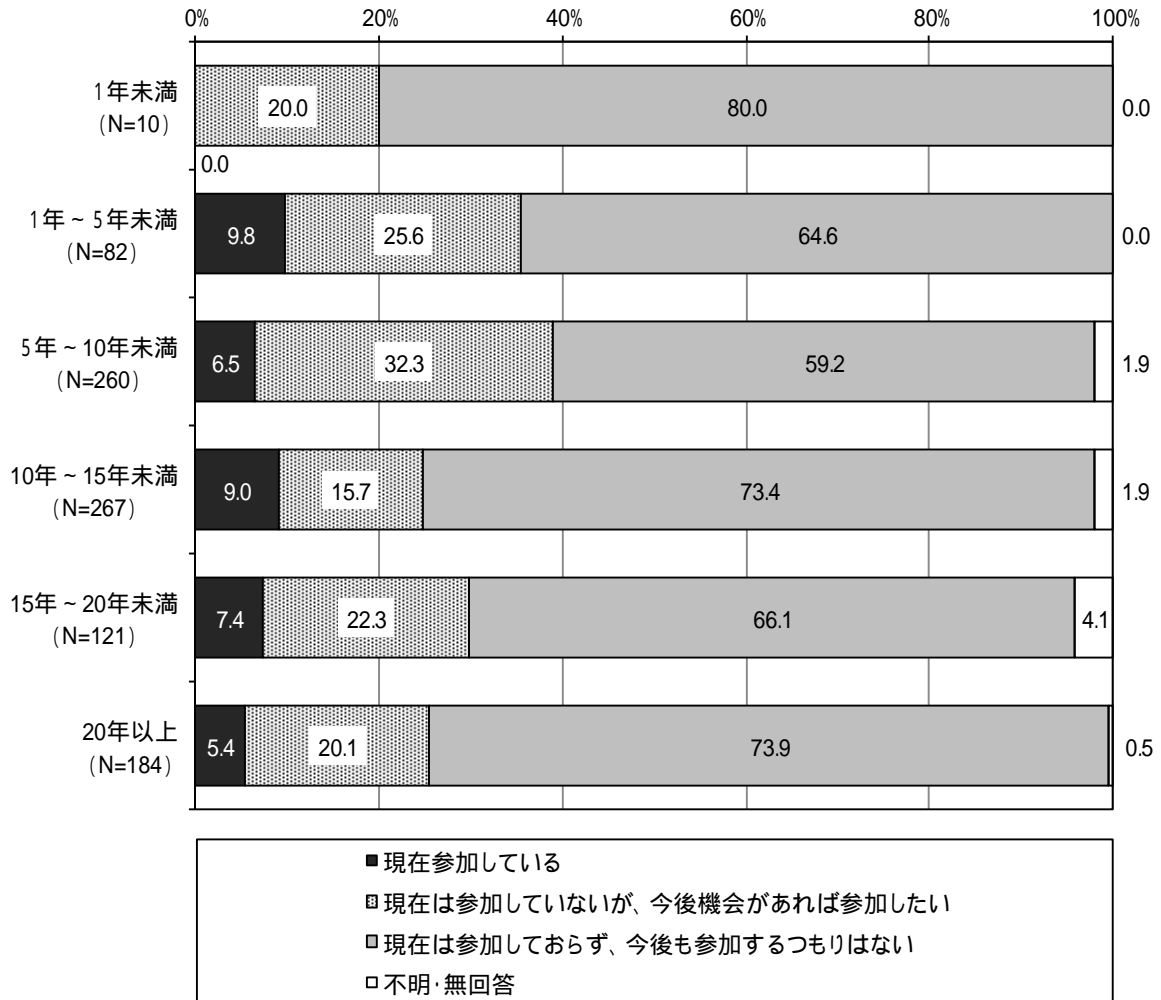
(5) 地区別にみる自主的な活動への参加 [小学生児童調査...問 10 - 5 × 問 1 - 3]

明峰中学校区において、子育てに関するサークルなどの自主的な活動に対する参加意欲のある方の割合が高くなっています。緑台中学校区においても、現在参加している方の割合が高いことがわかります。



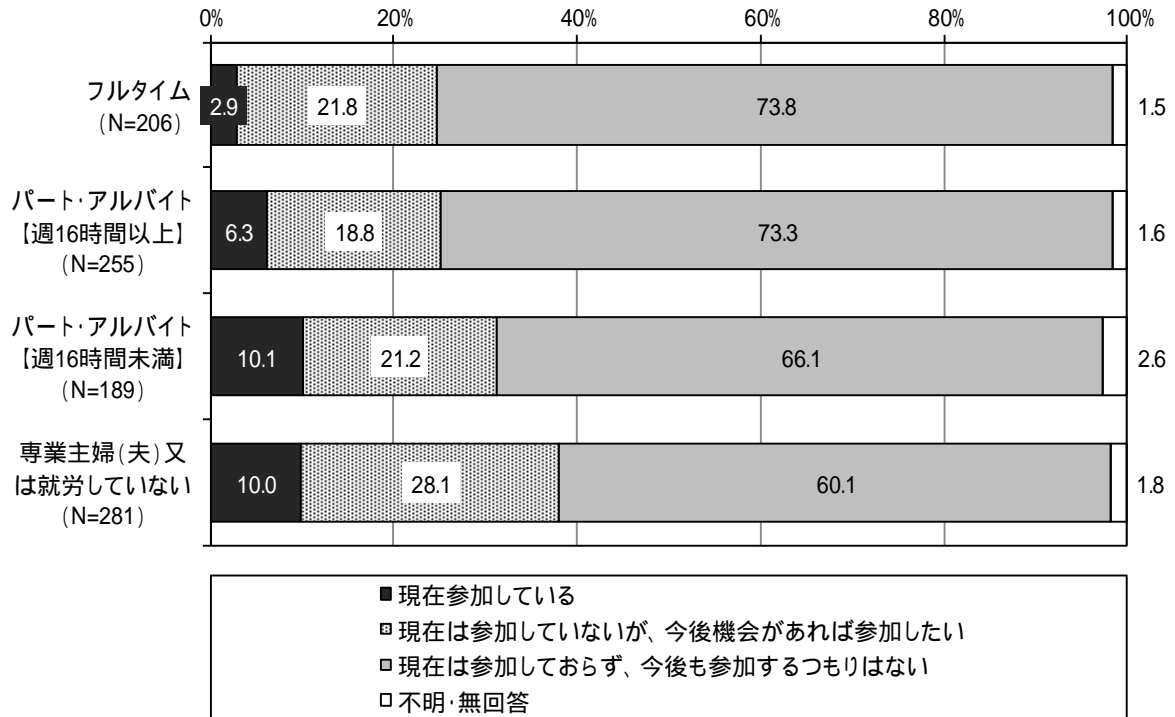
(6) 居住年数別にみる自主的な活動への参加 [小学生児童調査...問 10 - 5 × 問 1 - 3]

「5年～10年未満」の方は、子育てに関するサークルなどの自主的な活動に対する参加意欲がある方の割合は高いものの、多くの方が実際の参加に至っていないことが見受けられます。



(7) 母親の就労状況別にみる自主的な活動への参加 [小学生児童調査...問10-5×問4-1]

母親の就労時間が長いほど、子育てに関するサークルなどの自主的な活動に参加している方の割合が低いことがわかります。一方で、母親が「フルタイム」就労の方でも、参加意欲のある方が一定数みられます。



1. 趣旨

川西市では、次世代育成支援対策推進法及び子ども・子育て支援法に基づき、平成27年～平成31年度を計画期間とする第1期の「川西市子ども・子育て計画」を策定し、子育て支援施策を推進してきたが、当該計画が終期を迎えることから、改めて施策の方向性を定め、第2期川西市子ども・子育て計画として、策定する必要がある。

2. 川西市子ども・子育て計画の構成

川西市 子ども・子育て計画	次世代育成支援対策行動計画	根拠法 次世代育成支援対策推進法 主な目的 少子化対策・子育て支援
	子ども・子育て支援事業計画	根拠法 子ども・子育て支援法 主な目的 待機児童対策・子育て支援
	保育所整備計画 幼稚園教育振興計画	主な目的 市立教育・保育施設の課題への対応

3. 根拠法

1) 次世代育成支援対策行動計画

次世代育成支援対策推進法第8条

(抜粋)

第八条 市町村は、行動計画策定指針に即して、五年ごとに、当該市町村の事務及び事業に関し、五年を一期として、地域における子育ての支援、母性並びに乳児及び幼児の健康の確保及び増進、子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備、子どもを育成する家庭に適した良質な住宅及び良好な居住環境の確保、職業生活と家庭生活との両立の推進その他の次世代育成支援対策の実施に関する計画(以下「市町村行動計画」という。)を策定することができる。

2) 子ども・子育て支援事業計画

子ども・子育て支援法第61条

(抜粋)

第六十一条 市町村は、基本指針に即して、五年を一期とする教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保その他この法律に基づく業務の円滑な実施に関する計画(以下「市町村子ども・子育て支援事業計画」という。)を定めるものとする。

7 市町村は、市町村子ども・子育て支援事業計画を定め、又は変更しようとするときは、あらかじめ、第七十七条第一項の審議会その他の合議制の機関を設置している場合にあつてはその意見を、その他の場合にあつては子どもの保護者その他子ども・子育て支援に係る当事者の意見を聴かなければならない。

4. 第2期子ども・子育て計画の章立て

第1章 計画の策定にあたって

- ・計画策定の趣旨
- ・計画の位置づけと期間及び計画の策定体制

第2章 川西市の子ども・子育てを取り巻く現状・課題

- ・各種統計データから見る状況
- ・幼稚園・保育所等の状況
- ・子ども・子育て支援に関するアンケート調査の結果と分析
- ・各種データからみた課題

第3章 計画の基本的な考え方

- ・計画の基本理念、基本的な視点、基本目標及び計画の体系

第4章 施策の展開

- ・第1期川西市子ども・子育て計画の評価(次世代育成支援対策行動計画部分)
- ・基本目標を軸とした施策展開のための実施事業

第5章 事業計画

- ・第1期川西市子ども・子育て計画の評価(子ども・子育て支援事業計画部分)
- ・教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の提供区域の設定
- ・計画期間における人口推計
- ・量の見込みと提供体制の確保方策の基本的な考え方
- ・各事業の提供体制の確保方策
- ・教育・保育の一体的提供及び推進体制の確保

第6章 市立教育・保育施設のあり方

- ・市立教育・保育施設の現状
- ・市立教育・保育施設の課題
- ・市立教育・保育施設への基本的な対応方針

第7章 計画の推進体制

- ・計画の推進に向けて
- ・推進状況の定期的な検証と評価指標

資料編

参考資料

第2期川西市子ども・子育て計画策定スケジュール

資料4-2

年	月	時期	こども支援課	子ども・子育て会議
2019年	1月	上旬		
		中旬		
		下旬		
	2月	上旬		
		中旬		
		下旬		
	3月	上旬		平成30年度第2回子ども・子育て会議
		中旬		
		下旬		
	4月	上旬	ニーズ調査結果報告書発行	
		中旬	量の見込み・確保方策検討(5章)	
		下旬	市立教育・保育施設あり方検討(6章)	
	5月	上旬		平成31年度第1回子ども・子育て会議
		中旬		
		下旬		
	6月	上旬		平成31年度第2回子ども・子育て会議
		中旬		
		下旬		
	7月	上旬		平成31年度第3回子ども・子育て会議
		中旬		
		下旬		
	8月	上旬		平成31年度第4回子ども・子育て会議
		中旬		
		下旬		
9月	上旬		平成31年度第5回子ども・子育て会議	
	中旬			
	下旬	原案完成		
10月	上旬		平成31年度第6回子ども・子育て会議	
	中旬			
	下旬			
11月	上旬			
	中旬	教育委員会(原案審議)		
	下旬	市長決裁・議員協議会		
12月	上旬	パブリックコメント開始		
	中旬			
	下旬			
2020年	1月	上旬	パブリックコメント締切	
		中旬		
		下旬	PC市長決裁・議員協議会	
	2月	上旬	パブリックコメント結果公表	
		中旬	教育委員会(計画策定審議)	
		下旬	計画市長決裁	平成31年度第7回子ども・子育て会議
	3月	上旬		
		中旬		
		下旬		

No.	議題(予定)
	<ul style="list-style-type: none"> ニーズ調査結果報告書について 計画策定にかかるスケジュールについて
	<ul style="list-style-type: none"> 第1期計画の評価について 現状及び課題について(2章) 第2期計画の基本的な考え方について(3章)
	<ul style="list-style-type: none"> 計画第4章について
	<ul style="list-style-type: none"> 計画第5章及び第6章について
	<ul style="list-style-type: none"> 計画第5章及び第6章について
	<ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育て計画(素案)について
	<ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育て計画(素案)について
	<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントの結果について



平成30年度民間保育施設等整備・運営事業者募集にかかる選考結果及び
各事業者の付帯意見に対する検討結果について

資料5

事業者名	施設名 (仮称)	事業 予定地	中学 校区	定員 (人)	選考時の付帯意見	検討結果
学校法人 森友学園	エンゼル キッズ多田	東多田 3丁目4-3	多田	40	保育・運営に関する事 保育所保育指針に従い、保育所の保育の課題や各職員のキャリアパス等も見据えて、初任者から管理職員までの職位や職務内容等を踏まえた体系的な研修計画を作成すること。	初任者から管理職までの体系的な研修計画を作成いたします。
					施設・財務に関する事 提出された設計図書においては、市道260号から駐車場へ進入することとなっているが、現在の計画では送迎時等において路上駐車やそれに伴う往來の妨げの原因となる場合もあることから、西側に駐車場を設定できないか検討すること。	駐車場を西側に配置した場合、一番日当たりの良い場所を駐車場に充ててしまうことになり、採光の観点からみても保育環境に良くないと考えます。また、西側道路に関しては、道路南側に位置する共同住宅の為に整備された開発道路であるため、西側に駐車場を配置した場合、朝夕の子どもの送迎の際に、共同住宅住民とのトラブルが懸念されます。北側道路に関しては、交通量はそれほど多くなく、北側に駐車場を配置したとしても安全に支障をきたすほどではないと考えられます。
					設計上建物全体が南側に寄っており、南面の隣地に現状以上の高さの建築物が建てられた場合、十分に採光できない可能性がある。この点について、園庭の有効活用等も含め、総合的に検討すること。	今回計画の敷地と南側敷地の所有者は同じであり、当分の間、敷地南側に高層建物を建てる予定はないと聞いております。また、建築基準法上の採光に関しては南側境界線上に現状以上の建物が建ったとしても満足する事を確認しており、西側の窓からの採光も期待出来るので、南側に建物が建ったとしても採光に問題はないと考えております。
株式会社 アイグラン	あい保育園 川西火打	火打 1丁目地内	川西	70	保育・運営に関する事 各種マニュアルは詳細に作成されているが、施設運営にあたり市の指導が行われた場合は、マニュアルの修正等も含め、適切に対応すること。	今後、市の指導及び法改正など適宜修正や改訂を実施致します。
					施設・財務に関する事 実施設計にあたっては、砂場の位置や2階から園庭へアプローチ等、保育室と園庭の関係に配慮することに加え、保育定員に見合う手洗い場の数量について検討すること。また、ダムウェーターではなく、エレベーターを設置することが望ましい。	・砂場位置変更 ・2階から園庭へのアプローチについて、バルコニーから園庭へ階段を下す検討を致しましたが、園庭面積が最低基準を下回るため不可でした。1階西側出入口を活用することで、ルートを確認致しました。 ・ダムウェーターからエレベーターへ変更いたしました。
					施設の立地環境から、送迎時等に前面道路の車両の混雑が予想され、駐車場の設計に際し、運営開始後のトラブルを避けられるよう十分配慮すること。	駐車場の運用方法を検討して参ります。路上駐車や右折進入、退出による混雑を回避するため、園独自のルールを定め運用して参ります。
学校法人 鶴之荘学園	鶴之荘 保育園	小戸1丁目 136番	川西	40	保育・運営に関する事 保育所保育指針に従い、保育所の保育の課題や各職員のキャリアパス等も見据えて、初任者から管理職員までの職位や職務内容等を踏まえた体系的な研修計画を作成すること。	付帯意見に従い検討します。
					保育所保育指針に従って作成する食育計画を適切に遂行できるよう、調理関係委託事業者の選定に留意すること。	付帯意見に従い検討します。
					施設・財務に関する事 提出された設計図書では、建築物中央部に直階段を配置しているが、子ども達の安全の観点から、踊り場を設定することが望ましい。また、あわせて2階4・5歳児保育室への動線を再考すること。	階段に踊り場を設け、階段の2階部分に腰高さの扉を設置しました。また、保育室の出入口も階段出入口から離し安全を確認しました。

(仮称) 鶴之荘保育園の定員は選考時41人であったが、40人定員への変更の申し出があった